

広島県立美術館

研 究 紀 要

第12号

南薰造の中学・美校時代—1900年～1904年までの2冊の日記から ..... 藤崎 綾 1

2009

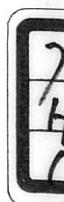


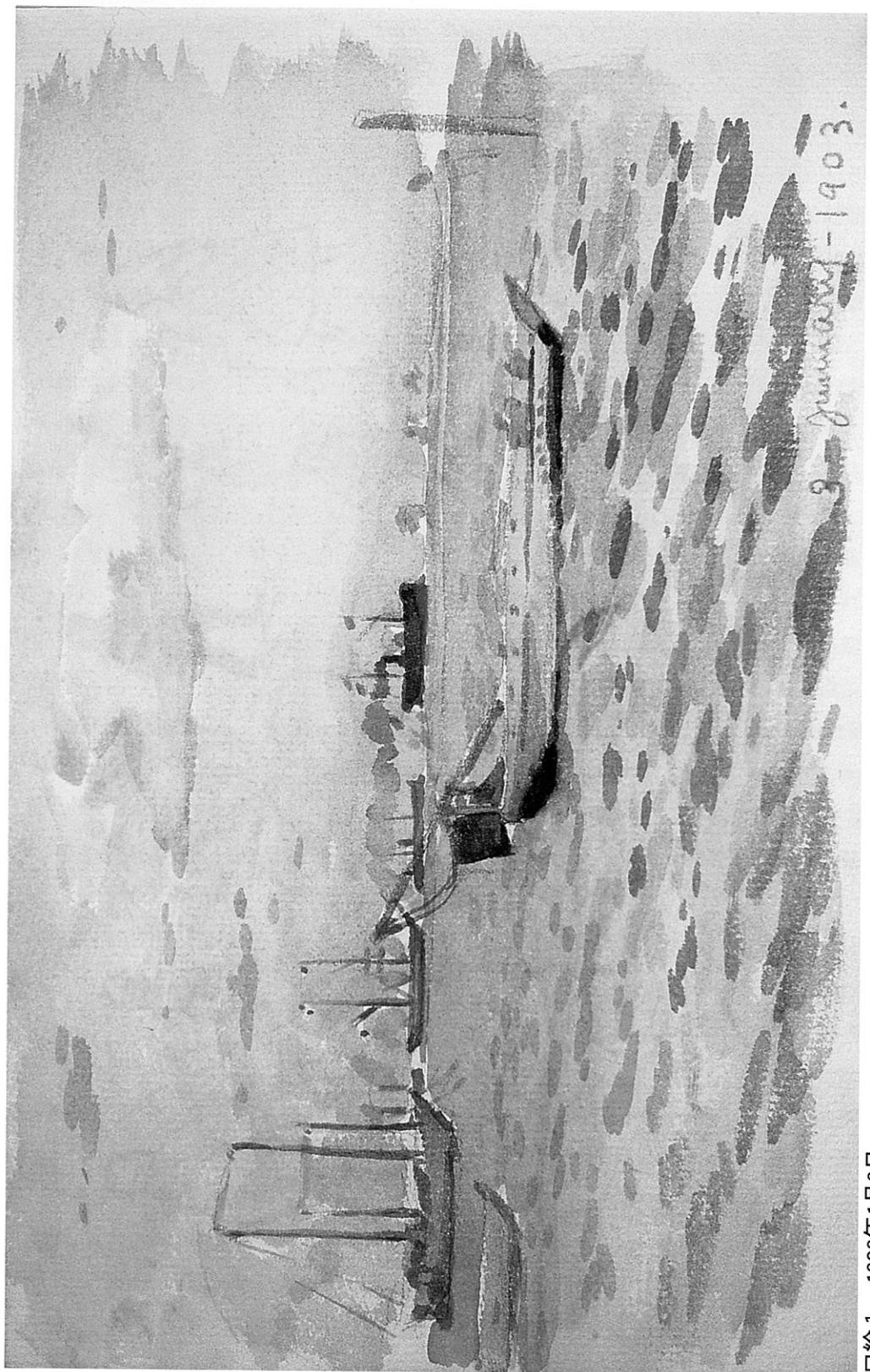
BULLETIN  
OF  
HIROSHIMA PREFECTURAL  
ART MUSEUM

No.12

2009

HIROSHIMA PREFECTURAL ART MUSEUM  
HIROSHIMA JAPAN





口絵 1 1903年1月3日



口絵 2 1903年10月20日朝

## 南薰造の中学・美校時代－1900年～1904年までの2冊の日記から

藤崎 綾

ここ数年、本県吳市安浦町出身で「日本の印象派」といわれる油彩画家・南薰造（1883・明治16～1950・昭和25）の日記を、御遺族に御協力を賜り紹介している<sup>1</sup>。本稿では、画業初期にあたる東京美術学校時代の日記（以下、「美校日記」と記述）のほぼ全文を紹介する。なお、美校日記に先行し、美校時代の最初期の記述を含む中学生時代の日記（同「中学日記」）が現存するが、紙数に限りもあることから、後の画業展開に関わる主要事について、以下に概略を記すにとどめる。

中学日記は、現在確認できる最初の日記である。1900(明治33)年1月1日から1902(明治35)年6月19日までを記したもので<sup>2</sup>、中学3年生の終わりから卒業後の上京を経て、仮入学生として美校に通う時期に相当する。縦20.5cm×横16.4cm、紙数250ページのノートに横書き。197ページを使い、日々の記録に加え、水彩や素描の挿画等を描く。当時の南は、広島市内の親類宅に居住して、広島県第一中学校（1901年、広島県立広島中学校と改称）に通っていた。当家の息子・廉平<sup>3</sup>は、若くして広島で洗礼を受け、上京後は植村正久に師事、南の受洗（1897年）に影響を及ぼしたとされる。中学日記に登場する頃は、広島に戻り日曜学校の校長などを務めていたが、1901年渡米<sup>4</sup>、当初の医学研究から神学校に転じ、牧師の道をめざすこととなる。身近な存在で敬愛する廉平の渡米は、南が留学を意識し、その具体像を結ぶ大きな契機となったと考えられる。廉平の渡米と同時期の1901年6月頃から、外国人牧師と思われる教会関係者を訪ね、英語や会話を習い始めている<sup>5</sup>。美校に進んだ数年後には、アメリカにいる廉平に渡米希望を伝え、承諾とともに諸注意など実際的な助言を受けている<sup>6</sup>。日露戦争勃発による廉平の帰国、何よりも父・啓造の反対により実現は見なかつたが、留学の意志を失うことなく、数年後の渡欧につなげている<sup>7</sup>。

そもそも、南が油彩画家を志した契機は、教会で初めて目にした油絵への感激だったという。画家志望や海外への意識は、キリスト教や油絵との出会いといった西欧文化の体験と摂取のなかで生まれ、定着していったと考えられ、紹介者として廉平の果たした役割には少なからぬものがあったといえる<sup>8</sup>。

確かな目的意識を持って学業に励み、休日には教会や写生に出かけ、また友情を育むなど充実した生活の一方、絵の道に反対する父との葛藤があったことも日記から読み取れる。卒業を間近に控えた1902年3月19日の記述からは、啓造が中学校長に対し、家業を継いで医師となるべく息子の説得を依頼したことがうかがえる。宮本校長は南に対し、医業を無理に勧めず、父親を納得させるようにと助言している。啓造との対話内容は日記にないが、4月5日には無事上京の途につき、翌日東京に着。17日には仮入学生として美校に初登校している。授業開始は21日、木炭画であった。「球ダノ角柱ダノハ画デツマランモノデアツタ」と述べ、程なく彫塑も試みるが、絵画研究を望んでいたためか入学目的とは異なると記している。この頃、廉平の師・植村正久を初訪問。30日には上京後の寓居から本郷区台町37番の大成館に転居。本格的に美校での生活を始めていく。

美校日記は、中学日記から約半年後、1903(明治36)年1月1日から書き起こし、翌年4月2日までを記す<sup>9</sup>。縦20.5cm×横13.0cm、紙数188ページのノートに横書き。日々の記録が122ページ、末尾の参考文献や鉛筆素描などを含め、165ページを使用する。表紙には横書きで「DIARY. K.Minami」、背には縦書きで「1903 (1)」と自書。制作や勉強に励む日常や、自然に対する親しみと肌理細やかな観察、画家としての意識の芽生えなどが記されている。室内や近郊でのスケッチや水彩制作を日常的に行いつつ、横浜（1903年1月3日～5日）や三里塚（1903年12月27日～1904年1月1日）へも写生旅行。西洋画科の生徒による展覧会で成果を発表<sup>10</sup>するほか、友人の五島健三<sup>11</sup>や陣内貞義らとともに、自作を持参して岡田三郎助や三宅克己を訪い、批評を請うこともあった<sup>12</sup>。多くの画学生の中にあって、時に実力不足も痛感するが<sup>13</sup>、懸賞图案への入選<sup>14</sup>や、美校の競技会における好成績<sup>15</sup>などにより、次第に自信を深めていったと思われる。とくに水彩画には自負を持ち、指導する旨新聞に投書、生徒を募っている<sup>16</sup>。『水彩画の栄』を中学時代に購入<sup>17</sup>、美校入学後も制作を重ね、油彩画に勝る習熟度で水彩作品を描いている<sup>18</sup>。画業の開始時期から親しみ、全国的な水彩の隆盛を支えた世代に属する南が、水彩を自己の専門領域と見て特別の愛着や展望を抱く<sup>19</sup>のは自然なことだったと思われる。一方、美校日記からは、水彩画家としての将来像とともに、美術家としての理想像も明確に持っていたことがわかる。自然にある色や形をひき写すのは単なる職人技に過ぎず、自然の持つ「神秘」や「意味」を表現した作品を為すことこそが美術家の要件とする<sup>20</sup>。画技に秀でるだけでは充分でなく、知識の吸収にも怠りなく努めなければ、後生に残るべき「美術家」とはなり得ない。「腕ノ確力ナ奴ハ頭ガ空虚。頭ガアル奴ハ手ガ從ハヌノガ常」ではあるが、自分は何とかして「手」と「頭」「ノ両方ヲ得タイ」<sup>21</sup>と高い志を記している。一方、作品に籠る意味や精神よりも、描写表現上の手際を重視する黒田清輝の価値基準には批判的で、黒田の意志が反映された美校の絵画傾向、また同年の白馬会出品作を含む日本の油彩画全体の現状にも否定的な評価を下している<sup>22</sup>。しかし、最も注目すべき記述は、自然を見つめる印象主義的視点だと思われる。自然是描き尽くされるということではなく、一筋の水流であれ黒い林であれ、「空気と光線トデ何枚ノ異ナ繪ニデモナルデアロウ」<sup>23</sup>と述べ、「西洋画ガ日本ニ來テカラ僅カシカタヽナイトハ云フモノヽ誰レトシテ之レニ注目シタモノモナイ」とも指摘する。行間からは、南の内部に自然に芽生えた意識だと読めるが、あるいは久米桂一郎編「十九世紀の佛國藝術」<sup>24</sup>が示唆を与えた可能性も考えられる。1900年のパリ万博報告書を抄録した同文は、印象派の意義の先見として、ラヴェルダンによる1845年のサロン展の批評を紹介。単純な輪郭線による対象の外形描写と固有色の否定を促し、「自然の富源は無窮にして時々刻々に其の面目を改むるの神秘を蓄ふる」ことに留意すべきだとする一文である。こうした論評に何らかの示唆を認めるとしても、南の指摘は、戸外へ出て光や空気に触れつつ制作する、自然と向きあう実体験によって裏付けられた見識であったこと、さらには白馬会系の作品と指導に接しつつ、そこには同様の視座を認めず、印象派絵画との明らかな相違を認識していることは極めて興味深い。印象派の絵画理論について、当時どの程度の情報を得ていたのかは不明だが、明確な理解、しかも実例に即して印象主義を認識することは、容易ではなかったと思われる。当時の南が目にしていたと確認できる唯一の日本の美術雑誌『美術新報』が初めて報じた印象派の詳報は、同じく久米によるパリ万博報告書の抄録であった。

久米は、「瞬時の現象を捉へ色彩の奇變を寫さんと熱衷」し、「アカデミイ派に反抗し、奮來の成法を破るの目的を以て極端の手段を取」と印象派を説明<sup>25</sup>。一方、外光派は、「主として外氣の透明なる光に包まれたる物體の隱微なる消息を漏さんことを着眼」、「穩當なる理論に基きて調和を圖らんとせり」と紹介する。外光派は、印象派から「衝動せられて起り、第二の革新を企てたるもの」であり、印象派の先駆的役割を果たした画家は外光派とは見なしていない。黒田、久米等の白馬会系外光主義者は、印象派の過剰や不足を修正することで調和を獲得した、極めて現代的な流派であるとの自負が感じられる。こうした久米の評価を反映するかのように、南の美校時代、同誌が図版で紹介した印象派の作品はわずかに数点。後に、住友家のコレクションで見たモネ作品について南が記した感想が、実作を知る人のものとは思われないのも<sup>26</sup>無理のことといえる。外光派という、印象派よりも完成され深化した主義を移入したとする画壇有力派の見識は、おそらく当時の一般的認識であり、海外美術情報の移入に停滞や偏りを引き起こしかねない<sup>27</sup>。印象派絵画の実際を知る状況にないままに、白馬会系の外光主義的作品に対する批判を持つに至った南は、当時のイギリス美術情報の比較的豊富な報道<sup>28</sup>を受けてそれに親しみ、次第にイギリス美術への関心を高めていったのではないだろうか<sup>29</sup>。南が情報を得ていたイギリスの『ステューディオ』誌が日本の画壇に与えた影響の大きさについては、フランス美術を画業や指導の基点とする黒田ですら言及、認めるところもある<sup>30</sup>。印象派についての知識や情報の不足が、ヨーロッパ留学の第一渡航先としてイギリスを選択する要因と見るのは早計にしても、同時代のフランス美術に対する高いとはいえない評価<sup>31</sup>には、印象派は含まれていないと見るのが妥当と思われる。自然に対する印象派的な見方や考え方には、大正期における構想画への接近や離別を越えて、美術家としての意識の芽生え以来、常に意識の根底にあり、制作動機の要でもあった。外光派的作風が時代の新風と目されていた当時、すでにこうした視点を保持していたことは、「日本の印象派」の先駆と位置づけられ得る証左といつてもよいであろう。

美校日記には、他にも以後の画業展開を示唆する点が多く見られる。水彩への愛着と研究意欲は、イギリス留学や帰国後の日本水彩画会における活動に直結、廉平やその師・植村正久との交流、キリスト教への信仰は、富士見町教会における大規模な初個展へとつながっている<sup>32</sup>。浪漫主義やアール・ヌーヴォー芸術の興隆も背景としつつ試みられた図案制作は、やがて『白樺』（ロダン号）をはじめとする美術・文芸雑誌の表紙絵や、壁画などの装飾デザインへと実を結んだ。また、自然観察に立脚する画家としての有り様と、「意味」ある絵を描く「美術家」になろうとする意思の並立は、「畫技と觀照」の両者を活かし、「外光描写と愛情ある詩感」でもって写し出した「單なる田園風景ではない」「牧歌的な感じを與へる人事を含んだ眺景」<sup>33</sup>として示されることになる。郷里・瀬戸内の風景を「自然と人生との調和した新しい田園詩の魅力」として表現、「この時代の青年層を最も魅力的に捉へ」ていくのである。

以下、日記原文を紹介するが、紙数の関係から、末尾の文献と素描、また本文の一部を省略した。発表を意図していないため、他者への否定的・差別的な表現等も見られるが、資料性に鑑みそのまま掲載することとした。なお、日記を補完するものとして、美校時代に用いたスケッチブックから一部を口絵及び末尾に紹介した。

## 【註】

- 1 「南薰造『インド日記』」(広島県立美術館研究紀要第7号・2004年)、「南薰造『従軍日記』」(同8号・2005年)、「南薰造『美校・航海日記』」(同11号・2008年)。
- 2 1900年7月23日～1901年5月25日まで長期の記録の中斷がある。
- 3 南廉平(1876-1926)。幼時広島に転居、「十六才で洗札を受け、引き続き両親を導き祖父は明治二九年に入信し、従弟薰造も明治三十年に受洗」に至るなど「若い頃からクリスチヤンとして周囲に感化を及ぼしていた」。1906年、伝道に専念すべく上京。松山教会、千駄ヶ谷教会、富士見町教会牧師などを務めている。：南勇『南家の記録』1887年 pp.1-4,16-17 なお、以後の廉平の略歴も同書を参照した。
- 4 渡米後の廉平の記述が最初に中学日記に表れるのは、1901年6月11日。「桑港ヨリ廉平兄ガ日米ナル新聞紙ヲ送ラル」とある。また6月18日には、「本日廉平兄ヨリ手紙來ル 兄ガニューヨークニ着シテ翌日出セシモノナリ 記スル時未ダニューヨークノ事ハ無ク唯ダ桑港ノ事状又旅行中ノ事ドモナリ」とあり、あわせてブルックリンの廉平の宿所が記されている。これらの記述から、廉平のアメリカ到着は1901年5月～6月頃と推定される。
- 5 英語学習を示す中学日記の記述として、「五時 会話ヲ學ブ為メ ダワテ氏ノ宅ニ行キシモ 氏ハ神戸ヘ旅行セシニヨリ帰ル」(1901年6月11日)、「プロカニ行キテ英語ノ事ヲ頼ミ帰ル 四時三十分プロカニ行ク 共ニ来シモノ我ト共ニ六人」(1901年10月9日)などがある。
- 6 美校日記1904年4月2日
- 7 「自分は洋行したいとは日頃の願であった。初めは米国へ行て労働するつもりであった。その後には考へが変わってどこかして欧州に居て絵の模寫でもして金を得て其れで研究したいと思った」：美校・航海日記1907年7月1日
- 8 1949年、南は廉平夫人に宛てた書簡の中で、「私に感化を与えた友や師」の題目のもと廉平について講話したと記している。数人の故人のうち廉平を第一に挙げ、「真面目、親切」等の性格とともに「欧米の学芸を伝え呉れし人」として紹介したという。：前掲『南家の記録』pp.14-15
- 9 1903年4月26日～同年11月2日まで長期の記録の中斷がある。
- 10 1902年入学の西洋画科生徒で結成した無名会は、1903年3月28日に第1回展を開会。毎月最終土曜日に小展覧会を開催している。：美校日記1903年3月28日・4月25日。以下、美校日記を参照した場合は、該当する年月日のみを註に記した。
- 11 五島健三(1883-1946)。富山県出身。白馬会展や文展、光風会展等で活躍
- 12 1903年1月11日、2月22日、4月5日、12月13日、1904年2月7日に岡田を訪問、1903年4月15日に三宅を訪問している。
- 13 1903年1月17日
- 14 1903年2月13日。美術新報1巻20号(1903年1月5日 p.8)の「圖案懸賞募集」によると、画報社は「圖案意匠獎勵の趣旨を以て、本年一月より、毎月一回宛圖案の懸賞募集を爲さんとす」として1月分の圖題「松竹梅」を募集。1巻22号(1903年2月5日 p.3)の「一月募集圖案審査報告」には、「去年募集したる圖案(松竹梅)の應募者は三十九人にして其圖案は六十六枚なりしが審査の結果は左の如し」とあり、一等・二等が各1人。三等が3人、四等が4人選出された。南は四等で、住所は「北豊島郡瀧ノ川村田端三六五渡邊方」。なお、四等の副賞は画報社の書籍券で、南はこれを利用し『巴里の美術學生』『畫聖ラファエル』を得たと思われる。：1903年3月7日
- 15 1903年3月27日。郊外写生の競技会で、南は五島健三とともに3位の好成績を収めた。
- 16 1903年11月21日。少なくとも二人から応募があり、一人を指導したことがわかる。：1903年11月26日
- 17 中学日記1901年6月23日
- 18 1904年2月7日
- 19 「水彩画ハ自分ノ獨舞台デアル。何ニ今マハモトヨリツマナヌモノデアルガ実際ハ現今デモ自分ノ感心スルモノハ多クナイ 三宅先生一人デアル。(中略) 鳴呼思ヘバ働く可キ事多ク其ノ範囲ハ広イ。動物、景色、コンポジションソレカラ肖像画。肖像画、水彩ノ肖像画ハ之レヲ画キ得ルモノ我国ニ一人モ無イトハ何トアワレナ事デハナイカ。自分ハ之レニモ occupation ヲ拵ゲルツモリデアル」：1903年12月13日
- 20 1903年11月28日
- 21 1903年11月25日
- 22 1903年11月28日
- 23 1903年12月6日
- 24 『美術新報』1巻16号(1902年11月5日)に(一)を掲載。印象派について引用した部分は、(八)(2巻1号・1903年3月20日)の掲載文である。

- 
- 25 久米桂一郎「佛國現代の美術（三）」『美術新報』1巻7号（1902年6月20日）p.4
- 26 「尚ほわれの最も意外に思ひたりしはモネの風景画のありし事なり。さまで大きからざる絵二つあり。一は其の色のや  
に色せるに驚けり モネの絵はいと華やかなる たとえば虹の色の如きものならんと思ひしに今ま之れを見る。思の外な  
りき 他の一はさこそと思はる空の色と家屋の壁との色の調和のいと面白ろし。紅の花つけたる木の暗らくまた其の下  
の地に印せる蔭はやに色していと快よし」：美校・航海日記1906年7月2日
- 27 同時期に美術新報が報じた印象派紹介に、「印象派の繪畫（其原由と發達）」がある。レュハーストによる『インターナショ  
ナル ステューディオ』掲載論文を翻訳したもので、鮮やかな色彩の使用や日本美術の摂取など印象派の革新的行動は  
認めながらも、その深淵はイギリス美術にあるとして、フランス美術に対するイギリス美術の優位を述べる論調である。  
I 生「印象派の繪畫（其原由と發達）（一）～（四）」『美術新報』2巻21号（1904年1月5日）～2巻23号（1904年2月5日）
- 28 イギリス美術の報道については、次の文献が詳しい。中村義一「美術雑誌のイギリス美術紹介」『近代日本美術の側面  
明治洋画とイギリス美術』造形社 1976年 pp.28-38
- 29 美校日記の末尾にある参考文献一覧（美校の所蔵図書の中から、南が書き写したもの）にあるフランス人画家の文献は  
ブッサンについての著作のみ。大半は、レノルズやターナー、ハント、ロセッティ、ミレイ、バーン・ジョーンズなど  
イギリス人画家の文献で、イタリア・ルネサンスの画家についても数冊を挙げている。なお、ステューディオ誌も記さ  
れている。
- 30 黒田清輝「東京勧業博覧会美術部概評」『太陽』1907年5月（『絵画の将来』中央公論美術出版 1983年 所収 p.81）
- 31 「現今ノ佛国画家ノ画クモノハドモ美シイハ美シイガ深遠ナ趣ムキガ無イ」：美校・航海日記1905年4月1日
- 32 1911年10月9日～14日開催。水彩を中心に油彩やペン画など約100点を展示。作品の頒布も行い、教会に対する援助活  
動としての性格も持っていた。なお、廉平は、この年に富士見町教会副牧師となっている。
- 33 森口多里『美術五十年史』尊書房 1943年 pp.270-271

## 「美校日記」

各記録の行頭にある年月日・曜日は、編者が附加した。本文中の□は判読不能の文字を、□内の文字は、判読の可能性のある文字を示す。「／」は原文の改行を表す。句読点は可能な限り原文に忠実に記したが、句点と読点の判断がつきにくい場合は文意より解釈した。また、内容の理解を助けるために、区切りを意図する空白を加えた箇所がある。一部に誤字・脱字も含まれるが、前後の文脈から理解できる場合が多いため、原則として原文のまま掲載した。なお、末尾に掲載したスケッチブックのうち、制作日が明らかなものは、図版の下段にこれを記した。

### 1903.1.1(木)

明治三十六年。—1903. / January. / 1. Thursday. 東京デ初メテノお正月デアル。国ノ方デハ／元日ニハ朝起ヲスルモノダガ東京デハ朝寝スル習慣／ト見エテ宿ノ婆サン中々起キナカツタ。目ガ覺メテ寝返リ／ヲ打テ見ルト雨戸ノ隙カラ光線ガサシコム 早ヤイヽ加／減ナ時ト見エル。何ンデモ外ノ方デ柏手ヲ打ツテ何／カ云テ居ル様デアツタガマタ他ノ方向デ謡ヲウナツテ／居ルノモ聞ヘル。コソコソ起キ出ルト婆サンモ／「東京ノ方デハ今朝八十時前ニ起キルガ」トカ云フク／起キタ。顔洗ヒニ出ル。実ニイヽ天氣ダ 風ハ無ク暖／カデ口水デ洗ツテ帰ル。常日ナラ室ヲ掃除シテ／呉レテ居ルノダガ今日ハ何トカデ掃キ出ス事ハ出来／ナイト云フテソレモシナイ。九時頃ニト蘇モ祝フト／云ヒツテ雑煮ト共ニ持ツテ来タ。アーヨソデお正月／ヲシタノハ初メテ食ベル雑煮ニモ遠慮シ無クチヤナ／ラナイ。昨日ノ約束ガアルノデ陣内君ヲ誘フタ。／ヤーお目出度フお目出度フデソレカラ本郷台町ニ／行ク アレハ読者樓へ僕ハ宗像君<sup>1</sup>ノ所ニ。十一／時頃陣内君モ來 三人共ニ出テ眞一君ハ眞砂／町デ分カレタ。之レカラ麻布ノ岡田先生ノ所ヘ行ク／ノダ 神田ヲ過ギ丸ノ内ニ入ツタ。サスガニ正月デ／車ヤ馬車ヤデビカくト行ツタリ戻ツタリ、實際／織ル様ダ。芝ノ公園デ五島君ニ遇ツタ アレモ先生／ノ宅ニ往タ相ダ。先生ノ内ニ往タガ先生ハ學校ヘ／出タソウダ。ソレカラ先生ノ内デハ忌中ダカラ年始ノ／お目度モ云ハレズ名刺ヲ残シテ返ツタ。ウン其ノ／前、芝ノ日高ニ往タノデアツタ。伯母ニハ始メテ／遇ツタノデアル 東京來テカラ八ヶ月ニモナツテ始メテ／遇フノダカラ一寸キマリガ悪カツタ。陣内君ト／別カレテ麹町ノ植村先生ノ宅ヲ訪フタ 此ノ／アタリデハアチコチノ門ノ中デ追ヒ羽子ヲヤツテ居ル／ノヲ多ク見タ。靖国神社ノ内デ汁粉二ハイデ／昼飲ノ代リ。ソレカラ牛込ノ夏目ニ往キスグ引／キ帰ツテ本郷ノ修道館ニ寄ル。渡辺君<sup>2</sup>ガ／居テ共ニ一高デタ食ヲ済マシ再ビ修道館／ニ往ク 色々ノヤツガヨツテ歌カルタヤトランプヲサワ／イデ居ル 七時頃時永君ト出テ帰ル。モ一六七／里モアルキヅメデ足ガイタク、遂ニ車デ田端マデ／帰ツタ。ソレカラ新聞読ムヨム元日ノ眠リニ／ツイタ。

### 1903.1.3(土)

3. Saturday 快晴 但シ風強ヨク吹ケリ 朝食／ヲ済マシテ陣内君ノ所ニ行キ十一時頃マデ話ス。実／ハ今日頃 海岸地方ニ旅立タント思ツテ居タガアマリ／風ガ強イ為メ如何カト思ツテ居タ。陣内君ノ所

カラ／帰途風モ何ンダカ和ギソウデアルカラ之レカラ出ント／思ヒ立チワラヂヲ買テ帰リ昼食ヲ済マシ十二／時 道具ハ頭陀袋ニオシ込ンデ出タ。萬世カラ／馬車デ新橋迄 ソレカラボツクト徒步デ 品川／デ寫生帖ニ一筆 三時三十分頃 其所ヲ立ツテ／鈴森ノ松ノ並木ヲクドリ遠ク晴レタ空ト海／ヲ眺メツヘ オーターカラーニアル奴ニヨク似テ居ル／ナート思ヒツヘ 大森ニツク。此所ニ意外ニモ／電汽車ヲ見出シタ。時ニ日ハ暮レテ町ヲ歩ミ／ツヘ宿屋ヲ拾シタガ中々見当ラナイ。遂二人ニ／教ヘテモラツテ何トカ云フ田舎料理屋兼／宿屋トモ云フ可キヘ入ツタ。デ下女ニ案内セラ／レテ庭ノ奥ニ入りソコデワラヂヲヌギ足ヲ洗ツ／テ障子ノ内ニ入レバ其所ニハ早ヤ一人ノ客ガ／アツタ。一寸見テ其ノ髪ヲ長クシテ横ニカキナデテ／居ル所ヲ見テ壯士役者ト思ツタ。ガソレハ眞違テ／居タ。彼ハ地方ヲ廻ル行商デアツタ。持テ来タ握飯／ヲ食ツテ風呂ニ入ル 七時頃ニ眠リニツイタ。

#### 1903.1.4(日)

4. Sunday. 六時三十分頃目ガ覺メタ。彼／地此地デ切りニ鐘ヲ打テ居ル。之レハ消防／夫ノ出初メデアルカラダ。宿ノ女 今日ハ百五十人バカリ／モ消防夫ガコヘニ来ルノダト云フ。三十錢ノ宿料／ヲ拂ツテコソくト其ノ所ヲ立ツ。昨日ノ様ナ天／氣ナラバヨイガ今日ハ曇ツテ甚ダ寒ムイ。之レカラ／羽田ニ行コウト思フノダ。穴守稻りノ前ヲ通り／例ノ鳥居ノトンネルヲクグツテ岸ニ立タ。此所デ／一枚寫生シタガ何ヲ云ツテモ北ノ海ヲ起テ來／ル寒イ風ニハタマラナイ。ヨシ等アツメテ火ヲ燃シタノ／モ中々面白カツタ。早船デ多摩川ヲ上ツテ／大師河原ニ着ク。茶屋ノ女等 軒端ニ立ツテ／お休み入らしやい、直きに出来ます、出来て／居ります、実ニヤカマシイ。此所カラ電車デ／川崎ノ六郷橋迄來タ。此レガ電車ヘハ／始メテバアル。之レカラマタおひろい野路ニ／出デ田甫ニ下リテ便当ヲヤラカシタ。鶴見トカ／云フ所モ過ギ何トカ云フ所（神奈川ノ手前） デ一／枚画イタ。神奈川ノ町ニ入ルト何所デモ何／所デモ往来デ追羽子ヲ盛ニヤツテ居ル。顔ニ／墨ニツケルノハマダヨイガ女等ガ尻ヲ羽子板デブツ／ノハ見トモヨイモノデハ無口。神奈川停車場ノ所／カラ海岸ノ通ニ出テ此所デポートヲ画ク間ニ日ハ／暮レテ沖ニ泊テ居ル汽船ヤ帆船ハ赤ヤ青ノ／火ヲピカピカサシ出シタ。デ停車場ノスチ向フ／ノ（此所ハ早ヤ横濱デアル） 実ニチツポケナ、エート／紀伊国屋音何トカ云フ恐ロシイ名ノ旅宿ニ／入ツタ。此所デモ他ノ一人ト同室ダ。先生シキリニ／此所新聞ニ出ル教科書事件ニツイテ氣焰ヲ／吐キ中々カタコト交リニヨクシヤベル。食モ済マシテ／散歩ニト出タ。可ナリニ賑ヤカナ横濱ノ町ヲ阪ヲ／上ツタリ下タリシテ停車場口來タ。ソレデ此所カラ／汽車三錢デ神奈川驛迄デ。帰ツテ眠ロウト／思ツテ行クト驚イタ 僕ノ夜具ハ線香ノ煙臭／イ 不動明王ノツイ下デ、眠ルノモ中々恐ロシ／イ事デアル。ヤガテ十二時頃デモアツタロウ 亭主モ店／ヲシマツテ僕ノ頭ノ傍ニ坐ツテ大音家内安全／ヲヤリダシタ。ソレハ未ダヨイガ燧石ヲ取りダシテ／カチカチ室ノ中ヲ廻リアルクニ至ツテハ実ニ笑ハズ／ニハ居ラレナイ。

#### 1903.1.5(月)

5. Monday. 今日ハ風モ無イ好天氣 海／岸カラ横濱ノ洋風ノ町ヲ通りヌケ本牧ノ方／ニ向フ。岬ノ濱デ一二枚ヤリ午食ヲヤツタ。／遙カ横濱ノ方カラ点々点々白帆ヲ上ゲテ南ニ向ツ／テ進ム船ハ青イ青

イ海原ト相映ジテ実ニ立派／ナモノデ濱ニ打チヨセテハ退ク 潮ノヒヤキモ／春ノ海ノ何トナクノドカニ聞ユルモノデアル。帰途／山ニ登ツテ三脚ニ腰ヲ据ヘタ。西洋人等チヨコク／トヤツテ来ル。日本大分傾イタカラ下ツテ町ニ出タ／（中略）西洋／人等モ馬車ヤ馬デ多ク往来シテ居タガ、ボロ／外套ニ草履ヲ穿チ カタカラナヽメニ頭陀袋ヲ／ブラ下ゲテ手ニハ三脚ヲ持テ居ル僕ノスガタ／ヲ見テ何ト思ツタロウ。停車場ニ行ク。／実ハ今夜モ大森ヤ何所カデ一泊ショウト思／ツタガモーチト飽イデ来テ帰リ度クナツタカラ／新橋迄ノ切符ヲ買フ。銀座デそば／屋ニ匿ミ急ギカキ込ンデ馬車ニ飛／ビ乗ル。上野カラマタ汽車 八時頃ニ着シ／タ。直キニ眠ル。

#### 1903.1.6(火)

6. Tuesday. 午前陣内君ヲ訪ヒ旅行／ノ話等シテ十一時頃帰ツタ。午後ハ來訪／ヲ受ク。夜共ニ神田ノ文房堂ニ往キ本郷／ニ廻ツテ帰ツタ。今日ハ朝カラ曇ツテアラレ／トミゾレガ降リ寒イ事甚ダシイ。

#### 1903.1.7(水)

7. Wednesday. 九時頃 陣内君 僕ガ未ダ／眠テ居ル所ヲ起コシ昨日ノ約束ニヨリ寫生ニ／王子アタニ往ク。天氣ハ晴レテ居ルガ風ノ強イ／タラ無イ 寫生等思ヒモ寄ラナイ有様デ鼻水／タラスく帰ツテ来タ。夜ハ共ニ本郷ノ古賀君／ヲ訪ヒ八時頃ニ帰ツタ。

#### 1903.1.8(木)

8. Thursday. 八時三十分ニ起キ出ヅ。學校／デハ式ガ有ル筈ダ。急ギ食ヲ終ヘテ學校ニ／カケツク。二階デ校長ガお話シ中デアツタ。／御眞影ニ礼シ勅語ヲ聞キ解散。本日／校友会月報ト作品集ヲ受取ル。午后／五島君来ル 夕方マデ話ス。米国ノ廉平兄／ニ新聞端書ヲ出ス。河井<sup>3</sup>ヨリ手紙来ル。／天氣甚ダ好シ。夜モ月清ク輝ラス。

#### 1903.1.10(土)

10. Saturday. 今日ハ學校ニモ出ナカツタ。／昨夜ハ雨ガシキリニ降テ居タヨウデアツタガ／今朝ハヨク晴レテ居タ。ガ後ニ曇ツテ来タ。／昼飯モソコくニ済マシテ本郷ノ切通ニ／父ヨリ云テ起コシタ雑誌ノ代ヲ拂テカラブラク／本屋等ヲ見テ歩ミ美術新報ヲ買テソレカラ／眞一君ヲ訪フ可ク菊阪ニ往タガ丁度留守／デアツタ。今日河井、宮本中学校長<sup>4</sup>、白井、藤井、／宗像 渡辺ノ諸氏カラ新年状ガ来タ。／ソレカラ渡辺省三君<sup>5</sup>カラ他ニ端書ガ一枚／来タノデ其ノ返事モシテ置イタ。明日ハ／早ヤクカラ岡田先生ノ所ニ行クツモリデ此／ノ間画イタスケツチ等ヲ正シテ眠ニツイタノ／ガ十時過グル頃デアル。

#### 1903.1.11(日)

11. Sunday. 午前五時半前ニ起サレ飯モ／食テ仕度シテ出タノハ上野ノ鐘ガ六時ヲ告ゲ／ル時デ丁度アツタ 此ノ頃ハ夜ガ長イノデ未ダ天ニ／ハ星ガ砂ヲ散ラシタ様。東ノ空ハ黄金ニ／輝ヤイテ今日ノ

天氣ノ好イノヲ知ラシテ居ル／クザクサト霜柱ヲ踏ミツヽ出タ。不忍池ノ／傍ヲ往ク。池ニハ薄氷ガガラスヲ浮ベタ様ニ／白イ鴨ハ未ダ頭ヲ羽ノ中ニツキ込ンデ夢／ヲ見テ居ル最中ダ。只ダ小サクテ活潑ナ／カイツブリダケハ幾羽毛幾羽毛小サノ声デ／鳴キツヽ水ヤ氷ヲモグツテ居ル。石ヲブツ／ツケツヽ過ギ去ツテ神田カラ丸ノ内ニ入タ／此所ニハ早ヤ人通ガ中々多い。寒イノデ／カケ足デ体ヲ温メタ。昨日ノ新聞ニ此度ノ／本所カラ離カクシテ廣尾病院ニ入レタ／者ガ眞症ペストナツタノデ再ビ之レヲ本／所ニ返タ 其ノ道口ハ此ノ比々谷ノ公園／近所カラ先生ノ内ヘ行ク自分ノ道スヂト／同ジト書イテアツタノデ何トナク体ガ／ビリビリスル様デ心地ガ非常ニ変デ／アツタ 口モ開カズニサツサツト芝公園ヲ／過ギ八時三十分頃先生ノ宅ニツイタ／先生ハ未ダ寢テ居タ様ナ風デアツタノデ／一寸出テ近所デ牛乳ヲ飲ミ新聞ヲ／見テ九時三十分再ビ訪フタ。早ヤ／五島君モ来テ居タ。此ノ間横濱辺／デノスケツチヲ見テモラツテ色々ト注意サレ／有益ナ評モシテモラツタ。十一時お隙セ／ントシテ居タラ下カラ今マ餅ガ焼ケルカラ／待テトノ事デソレナラト坐敷デ汁粉／ノ御馳走ニナツテ帰ツタ。五島君ニハ／途中デ分かれ僕 植村先生ノ宅ニ／向ツタ。丁度先生ノ内デハ青年会ガ開／カレテ居タ。終ツテ届書ニ印ヲシテモラツテ／三時頃出タ。神田ノ本屋ヲ覗見シ／不忍ニ出タ。自轉車ノ競走ガアツタノ／一番見テ帰ル。早ヤ火ヲツケル頃デアツタ。／佛語等見テ十時頃床ニ入ル。

### 1903.1.12(月)

12. Monday 霜ガ真白デ昨夜カラ甚だ／冷ヘタガソレデ日ガ出テカラ暖カナ好イ天氣デ／アツタ 學校ヲ終ツテカラ二三人ト博物館ニ／出力ケテ古イ油繪ヲ見タ 誰ノ作力知ラナイガ／何ンデモ近頃ノ画キ方トハ余程異テ居ル／帰途 陣内君ノ所ニ立チ寄ツテ辨当食ツテ／マタ油繪ノ板ガ出来テ居タノデ十枚ダケヲ／受取り共ニ自分ノ宿ニ来タ。共ニ夕方マデ話シ／タ。夕食ヲ終ヘテ同ジ田端ノ近カニ居ル撰科／一年ノ山本鼎君ヲ訪フテ二時間バカリモ話シテ／帰ル 十日アマリノ月ハサヘニサヘテ大地ハ冷ク氷／テ居ル。帰り佛語ヲ十二時迄調べテ眠ニ／ツイタ。

### 1903.1.14(水)

14. Wednesday 八時ニ起キ大急ギテ食／ヲ済マシテ出タ。十二時頃マデ學校ニ居テ帰／リ、ソレカラ水彩ノ室内寫生ヲヤリダシタ。夕食ヲ／食テ居タラ陣内君ガ来タ。九時頃迄話ス／今日學校カラ帰テ見タラ渡辺省三君カラ端書／ガ来テ居ル。見レバ早ヤ昨朝上京シテ湯／島ニ居ルトノ事 余リ突飛デ驚イタ。眠ニツ／イタノハ十一時デアツタ。

### 1903.1.15(木)

15. Thursday 今迄デ今日位冷イ寒イ／日ハ無カツタドロウ。八時三十分頃學校ニ行ク／途、麦畠カラ杉ノマ垣、又タワラブキ農家等／白口ク雪カノ様ニ実ニ美シク眺メラレタ 今日ハ／一日曇天ノ寒空デ雪模様ガシテ居タ、室／ノストーブヘ思イ切ツテ沢山ノ石炭ヲ入レテ／側ヲ眞赤ニ焼イタ。傍ニ画テ居ル正宗君<sup>6</sup>ハ顔／ヲリンゴノ様ニ赤カウシテ暑イクト云テ居タノ／モ実ニ可笑カツタ。食堂ヘ走リ込ンデ歯ヲカチく／云ハシテ食テカラ体操場ヘ出タ。力ヲ入レテ体／操ヲヤツタガ手ノ先ヤ足ハヤハ

### 1903.1.21(水)

21. Wednesday. 昨日迄ノ雨天ノ模様ハ／全クオトモ無ク晴レ晴レテ朝ハ霜ガ白ロク／降テ居タ。學校デ美術講話ヲ読ム 午后／五時頃陣内君ガ来テ夏ノ休暇ノ旅行等ノ事／ヲ話シ八時ニナツテ帰ツタ。

### 1903.1.22(木)

22. Thursday. 腹具合ノ悪イタメ七時ニナラヌ内ニ／目ガ覺メタ。昨日頃カラ体ガ何トナクダルクテ勉／強等モシタク無カツタガ今朝ハ腹ガシキリニグーグー／鳴ツテ便所ニモ行カレタ。學校カラ帰ツタノ／ハ一時過ギテ其レカラ前ノ木ヲ寫生シタ。今日ノ／天氣ノウラヽカナ事ト云ツタラ全ク春ノ様デポカく／暖カク何トモ云ハレン好イ心地ガシタ。夕食ヲ終／ヘテ裏ノ方ヲ散歩シテ八時頃ニ床ニ入ツタ。／例ノ如ク新聞ヤ、ミゼラブルヲ讀ム。

### 1903.1.23(金)

23. Friday. 八時三十分頃學校ニ出ル 昼食ヲ／終ヘテ永田君<sup>8</sup>ト動物園ニ行ク 天氣ガ好イノデ／見物人ガ多イ 馬ヲ寫生シテ居ルト後方カラ立見サレテ／困ル。三時三十分迄居テ帰ツテ来タ。五島君ガ今／マ君ノ所ニ行タト途中デ云フノデソレデハモ一度來ナイカ／ト、共ニ帰ツテ一時間バカリモ話シテ居タ。今日米国ノ／廉平兄ヨリ雑誌lady's pictorialガ内海ヨリ／廻送サレテ居タ。夜ニナツテ懸賞圖案ヲ考ヘ／タリ昼ノ寫生ヲナホシタリシテ十一時ニ床ニ入ツタ。

### 1903.1.24(土)

24. 別ニカク程ノ事モナイ。學校カラ帰ツテ／圖案ヲ畫キ出シ七時頃ニ出来上ツタ。後 陣内／君ヲ訪フタガ居ナカツタ。昼 山本君ガ来タ。

### 1903.1.25(日)

25. Sunday. 九時前ニ起キ上ツタ所ヘ陣内君ガ／油繪箱ヲ提ゲテヤツテ来タ 十時前共ニ出タ。途中デ／別カレテ僕ハ神田ニ行キ植村先生ノ宅ニ行コウト／思ツタガ時ガ悪イノデ帰ツテ来タ。夜 陣内君ヲ訪フ／九時迄居テ帰ル。天氣ガ変ツテ天ハ曇ツテ暗イト云／タラ鼻ヲツマヽレテモ知レナイ。十一時眠ル。

### 1903.1.27(火)

27. Tuesday. 雨ガ降ル路ハ悪シデ一時間バ／カリカヽツテ漸ヤク十時頃ニ學校ニ往タ 教室ヘ／今入ツタト云フ時ニ小使ガ面会人ガ有リマスト云テ来タ／カラ誰カト出テ見ルト眞一君ダツタ。金ヲ借シテ呉レト云フ。ソ／レナラ明日迄ニコシラヘテ置クカラト云ツテ別カレタ。米／國カラ手紙ガ来テ居タ。

リ冷イロロロロダ／宿ニ帰ツテカラ昨日カラ画テ居ル室内寫生ニ手ヲ／附ケタ 土曜日迄位ニ画キ上  
ゲルツモリダ。夕食／ヲ済マシテ省三君ヲ訪ヅレント出タ。湯島ノ宿ヲ探／シテ遇ツタ。例ノ長イ白  
青イノハ相変ラズデアル 又タ／話等ノ何トナク小供ラシイ所モ二年前ノ省三君ト／少シモ変ツテハ  
居無イ。色々ト學校ノ事繪ノ事／画家ノ事ヲ話シテ八時三十分頃 辞シ帰ル／帰リハ汽車ニスル筈デア  
ツタガ十時迄待／タナクテハナラナイノデ又タ儻約ニモナルト云フノデ／歩テ帰ル。途中一錢ノ焼芋  
ヲ皮ヲムイデハ／フーフーカブリツク其ノウマサ。ガ此頃ハ出来ルダケ／儻約ヲシテ居ルノデ此ンナ  
事ヲヤル。ガヤツパリ分力／ラナイ事ニ多ク金ヲ使テ居ル。帰ツテジキニ蒲團ニ／モグリ込ミ日記ヲ  
書イタリ新聞ヲ讀ンダリ……。

### 1903.1.16(金)

16. Friday. 朝學校ニ出ル前 徵兵猶豫／願ヲ書イテ送リ附ケテ置イタ。學校カラ帰ツテヤハリ／昨日  
カラ続ケテ室内寫生ヲヤツタ。夕食ヲ終ヘテ／湯屋ニ行キツイデニ陣内君ノ所デ九時迄／遊び帰ル。  
今日ハ藪入デアツタカラ町等ニ小供ガ／好イ着物ヲ着テ羽子ヲツイタリたこヲ上ゲタリ／シテ居タ  
ノヲ見タ。ガ天氣ハ悪ルク雪カ雨カ今／ニモ降テ来相デアツタ 三時頃地震ガ微カニ／ユレタ。十二時  
頃眠ル。

### 1903.1.17(土)

17. Saturday 木炭画ヲ今日デ書キ上ゲン／ト思ツテ朝早ヤク學校ニ出テ直チニ取りカヽリ殆／ンド  
休マズニ能ク働イタ。黒田先生モ來タ。平井／君<sup>7</sup>ガ水彩デ汽船ヲ画イテ居タガ水ノ色等実ニ／ウマク  
出来テ居タ。嗚呼他ノ者ハ皆ナ旨イガ僕／中々出来ナイ。コンナ事デハツマラナイガト思ツタガ／何  
ニ、倦マズタユマズヤツテ居タラ最後ノ勝利ハ／決シテ得ラレル。ソ一始メカラウマカツタナラ後ニ  
ハ／却テ早ヤク止マルカモ知レナイノダ。ヤレヤル可シ／徐々ニ進ンデ行クノガ最モ成功ノ要法デ／  
アル。コンナ事ヲ思イツヽ例ノカケ足デ谷中カラ／日暮里ヲ走テ帰リ一時頃昼食ヲ食ツテ直キニ／続  
イテヤツテ居ル玉葱ヤクワイノ寫生ニ取りカヽ／ツテ日暮前 室ガ何トナク薄暗クナツタ頃／遂ニ画  
キ上ゲタ。ア好ク出来タ。四日モカヽ／ツテ熱心ニヤツタノダ。美ノ神ハ決テ捨テマ／セズ進メ励  
メト常ニ導テ居ラレル。熱心／ニ絶ヘズヤツテ居タナラ必ズ成ル時ガアルノダ。／額ニ入レテ室ニ懸  
ケタ。実ニ立派ナモノダ。／二三日前カラ天氣が変デアツタガ今日ノ／十二時過ギカラ雨ガ降り出シ  
夜ニナツテモ／中々止マズ風ガ加ハツテバラく屋根ヲ／打ツシヅクノ音ガヤカマシイ。寒イカラ雪ニ  
ナルカモ知レナイ。

### 1903.1.20(火)

20. Tuesday. 八時五分前ニ起キ出デ九／時前學校ニ行ク。朝ハ雨ガ降テ居タガ午後／ニハ上ツテ天氣  
ニナリ相デアル。三時頃湯ニ行キ／帰テ見ルト渡辺省三君ガ来テ居タ。五時頃迄／居テ帰ツタ。夜ハ  
外ガ真暗デ路モ悪イカラ／運動ニモ出ラレズ佛語等ヲ見 八時三十分頃ニ／寝間ニ入ツタ。レーミゼラ  
ブルヤ新聞等ヲ讀ン／デ眠ツタ。

### 1903.1.29(木)

29. Thursday. 七時三十分ニ起キ出デ今日ハ少シ／早ヤク學校ニ出タ。帰リ途ニ陣内君ノ宿ニ寄ル。／帰リ油繪ヲ畫ク。食ヲ終ヘテ青木氏ヲ／訪フタガ居ナカツタノデ帰ツタ。今日ハ曇リ勝／チナガラ天氣デアツタ。永イ間雨デアツタノデ氣／ガ清々トスルヨウデアル。

### 1903.1.30(金)

30. Friday. 今日ハ孝明天皇祭デ學校ハ／休ミナノデアル 加之モ太陽ハママユク障子ヲ／射テ小鳥ノ鳴声モ床ノ間カラ聞カレタ。八時／三十分頃ニ起キ出テ霜柱ヲ踏ンデ顔ヲ洗ヒ／ニ出タ。朝食ヲ終ヘテ之レカラ何處カヘ寫生／ニ出ント繪箱ヲ掃除シテ居夕所ヘ陣内君ガ／箱ヲ引キカツイデヤツテ來タ。ソレカラ例ノ様ニ／話シ出シ十二時前ニ帰ツタ。昼食ヲ済マスト／直キニ出タ。日暮里ノ或ル農家ノ物置キヲ／四時頃迄ヤツテ帰ル。今朝、広島ノ中／學校カラ田中熊造君ノ端書ガ來タ。中／學校ヲ終ヘタラ直キニ上京シテ正則英語學校／ニ入ツツモリトノ事ガ書イテアル。佛語ヤ／英語等ヲ見テ八時三十分頃ニ寝床ニ入ツ／タ。

### 1903.1.31(土)

31. Saturday. 學校ニハ早ヤクカラ出タガ土／曜ノ事デ別ニナス程ノ事モ無イ。今朝カラ雨カ／雪カド降リ相ニ曇テ居タガ十二時前カラ雪ガ風／ニツレテマウク降テ來ル。中々止ミソウニモ無イノ／デ面白ガツテ窓カラ眺メテ居タ。横ニ降リ／ツケラルゝ雪ヲ胸ニ受ケテ帰ツタ。帰テ水彩画等ヲ／畫イテ居ル内ニ庭ノ木ノ葉ヤ外ノ家根等ガ白／ロクナツテ來タ。四時頃ニナツタ頃ハ早、何所モ／眞白デアル。夕食ヲ食ツテ陣内君ノ所ニ出カケタ。／ソレカラ二人デ町ニ出タガ其ノ時ニハ余程積ンデ／歩ムニ中々困難デアツタ。谷中ノ墓地ノ中ヲ／通ツテ陣内君ノ宿ニ帰ツタ時ニハ外套等ハ／雪ダラケ。話シタリ菓子ヲ食ツタリシテ九時ニモ／ナツテモ未ダ降リ止マナイカラ今夜ハ留メテモラウ／事ニシタ。眠ル前ニ屋根ヲ計ツテ見タラ三寸バカリ／デアツタ。話スく暖カク眠リニツイタ。

### 1903.2.1(日)

February. / 1. Sunday. 七時前ニ目ガ覺メ起キ出ヅ。戸／ヲアケテ見レバ小粒ノ雨ガ降リツヽアル。デ、／雪モ余程トケテ居ルヨウダ。ヤ一切角樂ンデ／居タニ雨デハ失望ダト云ヒツツマタ戸ヲシメル。／ソレカラ雨モ降ランヨウニナツテ別カレテ出タ。谷／中ノ墓地デ昨夜下駄ノ歯ヲ落シタカラ／見ニ行タガ分カラズ帰ル。実ニ雪ノ景色ハ美シ／イモノダ。何度見テモ珍ラシク感ジル。畑ノ眞白／イノヲ通シテ動坂ノ方ノ大キナ枯木等実ニ立派ダ。／帰ツテ見タラ未ダ宿ニハ起キテ居ナカツタ。九時／頃ニ朝飯ヲ終ヘテ之レカラ麹町ニ往コウト／停車場ニ下ル。下谷ヤ神田アタリデハ町／ニ人ガ沢山出テ雪ヲ除ケテ居ルノガ中々ニギ／ヤカデアツタ。九段ノ上デハ雪ノ為メカ電話／線切断サレテ居ルノヲ大ク見タ。教会ニ／十時三十分頃着ク。午后ハ植村先生ノ内／デ青年会ニ集マル 二時カラ帰途ニツイタ。／途中本郷デ紙ダノ雜記ダノヲ買ツテ帰ル。／今日モ昼間ハ殆ンド雪ガホツクト降テ／居タガ三時頃カラ雲モ晴レ青空ガ／見ヘ出シタ。

### 1903.2.2(月)

2. Monday. 學校ニ往ク前ニ靴下ヤ手袋ヲ洗ツタ。本日ノ天氣ノ好イ事 天ノ色美シキ事 目ヲ覺マス  
ノ様デアツタ。學校カラ帰ツテ内デ少シクヤツテ三時頃/汽車デ王子ノ郵便局ニ行ク 帰リハ歩ダ 田  
端ノ/池ノ所ヲ上ル時ニ水ノ上ニ小波ガ面白ロクユツテ/寫生ドモスレバト思ツテフト見ルト誰レカ  
寫生ヲ/水辺デヤツテイル ヨク見ルト五島君デアツタ。雪/ハ未ダ全ク解ケズ天氣ハヨイトモ水ノ  
傍ノ風寒キ/所デ鼻水ヲ落ス/ヤツテ居ル 彼ニハ実ニ感心/ヲセズニハ居ラレナンダ。田端デ菓子ヲ  
買テ帰ル。/宿ニモ宿料ヲ拂ヒ菓子ヲヤツタ。宿ニ入ツテハ/佛語ヲ調べテ十一時頃ニナツタ 外ニハ  
ポチくト/屋根ノ雪ノ解ケテ流ルノデアロウ 静カニ。

### 1903.2.4(水)

4. Wednesday. 昨日ノ天氣ニ引キ換ヘ/今日ノ天氣ノ好キ事、雲一片無キ空ニ揚ツタ/太陽ハ眞白口  
キ雪ヲキラクト輝ヤカシ何トモ/云ハレヌ好キ眺メデアツタ。學校カラ一時頃/帰ツテ来テ三脚サゲ  
テ田端ニ下リ田ノ傍ニ三/脚ヲスエテ画キ出シタガ雪ヲ含ム風ガ北カラ/吹キツケルノデ一時間バ  
カリデ手ガ覺ヘヌ様ニ/ナツテヨシタ。ソレカラ風呂ニ入ツテ帰ツタ。夕食シテ/米国ヘ送ル可キ新  
聞紙ノ包ヲ以テ陣内君ヲ/誘ツテ神田ノ方ニ出タ。文房堂デワツトマンヲ/買ヒ本屋ヲヒヤカシテ帰  
ツテ来タ。今日ハ節分ナノデ/町ヲアルイテ居テ “福ハ内” ヲ聞イタノモニ三度デハ/無カツタ。動坂  
ヲ下ツテ雪ノ中ニ一條ノ道ヲ/アヤウク沿ツテ帰ル 六七日ノ月ハ寒ムク高ク輝ヤイデ/居ル。

### 1903.2.5(木)

5 Thursday “七時三十分デスガ” ト起コサレテ/冷タイ水デ顔ヲ洗ツタ。降リ積ンダ雪ハ未ダ/中々  
ニ解ケナイ。ソレガ氷リツイテ居ルノデ動モスレ/バ下駄ヲスペラシテ足ヲイタメツ/學校ニ行ク/  
ノデアル。二時前マデ學校ニ居テ帰ッタ。室内/デ蜜柑ヲ寫生シ出シタ。夜ハ実ニ寒ムク本ヲ/読ン  
デ居テカタ等ガ冷ヘル事甚ダシイ 十時三/十分ニ臥戸ニモグリ込ンダ 今日學校ヘ五円/五十錢バカ  
リヒキモガレタ。

### 1903.2.6(金)

6. Friday. 残雪ニキラクト太陽ハ輝イテ/寒サハーシホ身ニシミ渡ルノデアル。九時前ニ學校/ニツ  
イタ 學校ハ九時ニ始マルノデアルガ皆中々/ヤツテ来ナイ。ソレデ此頃デハ大抵僕ガ早ヤイ内/ニ札  
ヲ懸ル様デアル。ストーブモ今マ漸ヤクタキツ/ケタ所デ少シモ暖ハナイ。十一時頃マデ木炭ヲヤル。  
/今週ハ二枚画キ上ゲタノデ愉快ニ文庫ニト/出力ケタ。丁度 nations picture ダノ academy ダノ  
/ガ来テ居ルノデ面白ロク見タ。特ニ nations picture/ノ美シイ事、欲シクテ耐ヘラレナイ。ガ金  
ガ無イト云フノ/ハ例ノ如シダ。而シ夏休暇迄ニハドーカ苦面シテ/求メ度イモノダ。美術新報ヲ買  
ヒニ往タガ/未ダ出来ナイ。圖案ノ当撰者ノ名ガ掲示シテ/アル筈ナノデ何トナクソロ<sup>9</sup>スル 之レモ  
始メデアル/カラデアロー。帰ツテ蜜柑ノ寫生ニ取りカヘツタ。/忠海ノ弟ヨリ端書ガ来タ。夜ニ入  
ツテカラハ/何時モノ通リニ英文等ヲ讀ミ十時頃ニ床ニ/入ツタ。

### 1903.2.7(土)

7. Saturday. 學校カラ帰ツテ昨日ヨリノヲ／ヤツテシマツタ。食ヲ終ヘテ湯ニ往キ陣内君ヲ／訪フ 九時三十分頃マデ快談シテ明日岡田／先生ノ宅ニ往キ又タ三宅先生ヲモ始メテ訪ホト結束／シテ帰ツタ。

### 1903.2.8(日)

8. Sunday. 先生ノ内ニ行クツモリデ目ハ／五時頃ニ覺メテ明クルナルノヲ床ノ間デ待ツテ／居タ。スルト外ノ方デボツくト雨ノ音ガ聞ヘ／ル。ヤーコレハダメダト失望シテ七時頃ニ起キ出ヅ／ミゾレガ降リ出シタガ直チニ本雨トナツタ 傘ヲ／モタヌ自分ハ到底出ル事ハ出来無イ。午后十二時／頃ニ陣内ガ来タ 砂糖ヲ嘗メツヽ四時頃／マデ語ツタ。夜ニ入ツテカラ雨モ降リ止ンダ／様 八時過ギ床ニ入ツテ書ヲ読ム。

### 1903.2.9(月)

9. Monday. 起キ出ヅレバ寒ムキ北風ハ裏ノ柏ヲ／折リハセヌカト云フ程吹イテ居ル。ガ天気ハ非常ニ好／クテ太陽モキラヽト登ツテ居ル。學校ノ教場デハ／此ノ一週間 豫備バカリデ他ハ郊外寫生デアル／カラ広イ室デ淋シイ事ダ。朝カラカラダガ勞カレタ／様デ画クノモ物ウキヨウナ心地ガスル。十二時頃／帰ツタ。先日カラ陣内君ガ内職デモ始メヨウトノ事／デ僕モ手傳ハウカ等云ヒテ居タガ今日ハ一ツ／本所ニ往テ様子ヲ見ヨウト一時頃風ガ吹ク／ノモカマワズ両国橋ヘト向ツタ。往ツタガ実ニ／お話シニナラナイデ早速カヘツタ。遠イ所迄 半日／ヲ棒ニフツテ勞ビレモウケトハ合ツタ事デハ無イ。／入谷カラ根岸ニヌケテ帰ル。余リ寒イノデ燒芋ヲ／買ツテ日暮里ヘ上ル阪デヤツツケタ。帰ツテ直／キニ夕飯。ソレカラ新聞ヤ校友会月報ヤ又タ／英書ヲ讀ンデ眠リニ入ツタ。広島ノ南ヨリ／端書ガ来タ。伯父伯母両名ニハ氣候ニアテ／ラレテ少シク不快デアツタガ今ハ快方ニ越イタ／ト書イテアル。

### 1903.2.10(火)

10. Tuesday. 三時過ギ迄デ残ツテ木炭／画ヲヤツテ帰ツタ所ガ今ガタ渡辺サント云フ人／ガ来タト云フ 多分省三君デアツタロウ。ソレカラ／又タ鉄造君カラモ明朝行クカラトノ端書ガツイテ居タ。

### 1903.2.11(水)

11. Wednesday. 紀元節。朝カラ暖カク天気／ハ甚ダヨイ。午前鉄造君ガ来ル筈デ待ツテ居タ／十時頃ニナツテヤツテ来タ 色々話シテ居タラ／十二頃ニナツテ陣内君モヤツテ来タ 鉄造君ハ／三時頃ニナツテ帰リ陣内ト三時半頃出テ理／髮ニ越キ風呂ニモ入テ来ル。十二時頃迄デ／佛語ヲ調べテ伏戸ニ入レ。

### 1903.2.12(木)

12. Thursday. 學校カラ出テ動物園ニ／出力ケテ馬ヲ寫生セント思ツテ厩ノ裏口カラ／ヤツテ鉛筆デ

一筆二筆ヤツタ所へ動物／園ノ係員ガヤツテ来テ永々トお小言ヲ／云ハレ、ソレデハ止シマシヨウト逃ゲテ帰ツタ。ガ／実ニ惜イ事ヲシタ 切角 馬ヲ寫生セント前週ヨリ／思イ立ツテ居タモノヲ。他デハ一寸馬ヲ寫生／スル事ハ出来ナイ。ガ仕方モ無イノデ帰ツテ／來タ。ガド一モ動物ヲヤリタイノデ根岸／ニ行テ牛ノ牧場ヲ廻ツテ見タガ大方小／屋ノ内ニ居ルノデ之レヲシカタ無シニ帰リ此／度コソハト猫ヲクヽツテヤリ出シタガ動キヅメ／ニ動イテ居ルノデ之レモ出来無イ 遂ニ一日／失敗ニ終ツタ。夜ニ入ツテ米国ノ兄上ト／忠海ノ弟ニ手紙ヲ書イテ眠リニ入ツタ。

### 1903.2.13(金)

13. Friday. 昨夜カラ雨ガ降リ出シタ／ガ今朝起キテ見レバ雪ニナツテ居ル。此ノ間カラ／能ク降ルノデモアキテ来タ。而シ傘ヲ持タヌ僕／ニハ雨ヨリ余程有難イ。黒田氏ガ十一時來／ラレタ。持テ往タ水彩画ヲ見テモラツタ。玉葱、蜜柑、／及ビ物置ノ三枚。玉葱ヤ蜜柑ノバツクノ色ガ／イケナイト云ハレタ。食堂ニ往テ食ツテ居ルト日本画／ノ塩崎<sup>10</sup>ト云フノガ君ハ画報社ニ圖案ヲ出シタカト／問フカラソウダト答ヘルト、四等ヲトツタナト云フ。／デ食ヲ終ヘテ東文堂デ新報ヲ買テ見ルト實際／四等ノ所ニ名ガ書イテアル。何ニヤラ可笑シクテ忽ラヌ。／四等デモ取レサヘスレバヨイト帰ツテ来ル。近所ニ寫／生ニ出カケタガヨイ所ガ見当ラズ帰ツテ来ル。七時／頃カラ寢間ニ入ツテ英文等ヲ讀ム。

### 1903.2.14(土)

14. Saturday. 風ハ吹イテ居タガ天氣ハ甚ダ／好イ 九時ニ學校ニ出タガ今日ハ木炭画モ仕上／テ何モスル事ガ無イノデストープヲトリ廻シテ皆ナ／ワイワイ雑談ヲ話シタ。此度ノ博覧会ノ出品ヲ／見ニ往タ。豫備ノ西洋画ノ方デハ平井君卜服／部君<sup>11</sup>トノガアツタ相ダ。不幸ニシテ僕ハ見無カツタ。十二／時前帰ル。今日陣内君ガ出校シナカツタノデ帰途／立チ寄テ見ルト彼ハ今日ハ日曜日ダト思テ居タトノ／事。僕ハ病氣ドモデハ無イカト思ツタガマヨカツタ／シカシ隨分のんきダナート大笑ヒ。共ニ帰ツテ来タ／飯ヲ終ツテ牛ヲ寫生ニ往タガ中々寫セナイ ツマラヌ事／ヲシ帰リ宿ノ前ノ木ヲヤツタ。夕食ヲ食ツテ湯島／ノ省三君ヲ訪フ。丁度留守中。散歩シテ再ビ／往テ見タガダメ。仕方ナシニ帰ル。十二時頃迄／本ヲ讀ンデ眠ル。

### 1903.2.15(日)

15. Sunday. 朝飯ヲ済マシテ八時半頃／ニ出タ。一番町ノ教会<sup>12</sup>ニ出テ十一時頃カラ牛込ニ／往ク 途中デパンヲ買ツテ八幡神社ニ上ツ／テ食ツタ。メヅラシク日曜デ天氣 シカモ何トナク／春メキテ来タノデ人ガ多ク散歩シテ居ル。一時頃／迄 夏目ニ居テ帰り飯田町ノ眞一君ヲ訪フ／此所デ遂ニ夕飯モ食ツテ帰ル 神田本郷辺／ノ本屋ヲ冷カス。本郷デ學生自活法ト云フ／本ヲ買ツテ帰ル。帰ツテマタ夕飯ヲ食ツタ 十二時／頃ニ眠ル。

### 1903.2.17(火)

17. Tuesday. 二時頃學校ヲ終ヘテ直チニ／寫生ノ為メ出カク 天氣ガ曇ツテ面白クナイ。一時／間バカリシテ宿ノ前ノ木ヲヤリツハアル所ヘ陣内／君ガヤツテ来タ 夜ノ九時頃迄談シテ帰ル ソレカラ／圖案等考ヘ十一時頃床ニ入ル

### 1903.2.18(水)

18. Wednesday 八時三十分登校ス 一時／帰リ昨日ノ所ニ出カク 今日モ天氣悪シク加之／風強ケレバ 一時間バカリニシテ帰ル。夕食ヲ／済マシテ久シブリニ風呂ニ往ク。佛語等見テ／九時三十分床ニ入ル。内海ニ端書ヲ出ス。

### 1903.2.19(木)

19. Thursday. 七時ニ目覺ム。朝食ヲ済マシテマダ時／間ガアレバ佛語ヲ讀ンデ居タ所ヘ渡辺鉄造君ガ／ヤツテ来タ。早ヤクカラ如何シタノダト問フト、今日ハ休ミダト云フ。／何故ダト云ヘバ小松宮ガ御薨去ニナツタカラダト云フ。／少シシテカラ新聞紙ハ小松宮殿下薨去トシテ黒線／ヲ引キ、小松宮殿下彰仁親王には先頃より御／脳病に罹からせられしが竟に昨十八日午前三／時と云ふに溘焉として薨去あらせ國ひぬ 御／齡五十八歳に在しきト報ジタ。ソレナラ僕ノ學校モ／多分休ミデアロウガ 鬼ニ角ク出テ見ヨウト九時三十分頃／外ニ出テ行キシモ日暮里デ同校ノ生徒ニアツテ問フタラ／休ミトノ事デ帰ツテ來タ。渡辺ハ紀念祭ノ為メニ音楽隊／ヲスルノダガ學校デハ謹慎シテ居ナキヤナラナイカラ此所ヘ／ヤツテ來タ 手風琴ヲモツテ來テ昼食ノ後チマデモ居タ／一時三十分頃彼ハ帰ル 僕ハ寫生ノ為メニ野ニ往ク／雪ヲ含ンダ雲モ南ニ去ツタアトハ日ハ快ク輝イテ／つくば山ノ雪ハ美シク光ツテ青空ニ浮ブ雪ハ実ニ／立派デアル。ガ北風ハ強クシテ繪具箱ヲ拂ヒ／落サントスル事モ何度カシレナイ。三時頃ニ切り上ゲテ／帰ル。留守中ニ日本橋ノ柴崎君ガ來タ相ダ。／暫時シテ五島君ガヤツテ來タ。後チ陣内君ヲ訪ヒ、／九時三十分ニ帰リみぜらぶるヲ讀ンデ十二時眠／リニ入ル。

### 1903.2.20(金)

20. Friday. 例ノ如ク學校カラ帰ツテ寫生ニ／出カケタ。今日陣内君モ來タ。日ハ晴レ渡ツテ早／ヤ何トナク春ノ色ガホノ見ヘ出シタ 四時迄ヤツ／テ帰ツタ。

### 1903.2.21(土)

21. Saturday 十二時頃過ギ帰ツテ寫生／ニ出ル。僕ハ一通り出来上ツタ。今日ハ二十一／日ト云フノデおばーさんたちガ打チツレテ／大師等ニ参テノ帰リカ畠ノ中ヲ列ヲ造テ往／テ居ル 今日モ天氣ハヨカツタガ日暮レニナツテ／曇ツテ來タ 夕食ヲ終ヘテ陣内君ヲ誘ヒソレカラ／共ニ出テ五島君ノ内ニ來タ 八時迄居テ帰／ル 本郷ヲ廻リパン買ツテ食ヒ食ヒ歸ル／田端ニ帰ツテ來テカラポツくト雨ニナツタ。美術新報社／カラ圖書切符ヲ起ス。

### 1903.2.22(日)

22. Sunday. 昨夜雨デハアルマイカト心配／シタガ、不必要デアツタ。岡田先生ノ内ニ行ク／ツモリデ六時三十分ニ目ガ覺メタ。ソレカラ冷イ／水デ顔ドモ洗ヒ昨夜買ツテ来テ置イタ／パンヲトリ出シテ砂糖ヤ味噌ヲツケテ食ヒ終ツ／テ七時ト云フニ出タ。途ニ陣内君ヲ誘ヒ出ル／雲一片ナイ蒼空ニ暖カナ日光ガ輝ヤイテ／其ノ光リヲ左ノ顔ニウケテ例ノ如ク丸ノ内ヲ／横切ツテ先生ノ内ニツイタハ九時三十分過ギ。五島／君モ早ヤ来テ居ル。水繪ヲ四五枚見テモラツテ親切ナ／評ヲ下シテ戴キ、又夕談話シテ十一時二十分頃先生ノ／宅ヲ出ル。三之橋デ二人ト別カレ僕ハ品川ヘ出力ケタ。／之レハ父上カラ云ツケラレタ雑誌ノ代ヲ拂フ為メニ。／十二時ニナツテモ昼食ヲタベナイノデ腹ガ細クナツタノデ／大福餅ニ飛ビ込ンデあべ川二ハイトしるこ壱椀／ヲ飲ミ下シテ北品川ヲ探ガシ廻リ漸ヤクノ事デ／見出シタガ代ハ此所デハ受取ラスト云フノデ切角來／タノモ水泡ニ帰シタ。品川アタリデskechドモト思ツテ／来タガ勞レテルカラソレドコロデハナイ。マタ寫眞帖ノ／事デ~~西~~井町ヘ往タガ之レヲ容量ヲ得ナイ。ボトク／ト帰リツヽ雑誌ノ代ヲ拂フ可ク佐柄木町トカ／ヲ探ガシタガ之レヲ見当ラナイデ帰ル 一日歩ミヅメデ／得ル所ハ皆無。馬車ニ乗ロウカトく思ヒツヽ遂ニ上野マデ／ヤツテ来テ停車場ニ入ル。時計ハ四時過ギ。半ト／云フノヲ待ツテ乗ツテ帰り棒ノ様ニナツタ足ヲ安／メタ。ソレカラタ飯ヲ思ヒ切りツメ込ンデホツトイキヲ／ツイタ。九時ニ眠リニツク。

### 1903.2.23(月)

23. Monday. 朝ノ三時頃デアツタ。宿ノ婆サンガ／大キナ声デ怒鳴ツテ居ルノデ遂ニ目ガ覺メタ。／能ク聞ケバ何ンデモ盜賊ガ入ツタトノ事デアル。／ト口思モツテ耳ヲ澄マスト常ニ枕元ニ置イテ眠ル／時計ノ音ガ声ガ聞ヘナイ。手ヲ延ベテ探テモ当ラナイカラ、／ランプヲツケタガ見当ラナイ。デハヤラレタノデアロー。ソレカラ／蒲團ノ上ニ於テアツタ着物ガ障子ノ所ニモツテ往テ／アル。デ宿ニモ着物等ガ出シテアツタガ別ニ何モ持ツ／テハ往カナカツタ。盜マレタノハ僕一人デアツタ。ソレカラ／學校カラ帰ツテ物ヲ買ハント金布ヲ探ガシタガ無イ／昨夜机ノ上ニ置テ居タガ、ツイデニ持テ往タラシイ／而シ金ハ二十幾錢デ金布ハ破レ切ツテ居タノダ。／昨夜カラ今日ニカケテ風ガ実ニ烈シク吹ク。デ寫生／ニモ出ラレズ内ニ居タ。二時頃陣内君ガ之レモ／寫生ニ出力ケタガ此ノ風デハト僕ノ所ニヤツテ来タ／四時頃五島君ガヤツテ来タ。時計ガ無クナツタノデ／時間モ分カラズ良イ加減ナ時ニ眠ル可ク床ニ／入ツタ。

### 1903.2.24(火)

24. Tuesday. 日光ガ斜ニ障子ヲ射テ居ルノ／デ起キ出デ食モ済マシテ學校ニ往ク途中三崎／町ノ郵便所ニ寄リテ金ヲ預ク。内デモツテ居ルノハ／危イカラ口デ少シデモ持テ往テ置イタノデアル。二時／頃帰ツテ山羊ヲ寫生ニ往キ三時頃帰ル 後チ／陣内君来ル。夕食ヲ終ヘテ神田ノ新報社ニ／圖案ヲ持テ往キ切~~通~~ノ渡辺省三君ヲ訪フ／九時三十分頃マデ話シテ上野カラ十時ノ汽車／デ帰ル。暫~~ア~~ミゼラブルヲ見テ寝ル。

### 1903.2.25(水)

25. Wednesday. 教場へ来週ハ僕等ノ方ノ／競技デ一週間郊外寫生ノ掲示ガ出タ。案外ナ／面白イ事ガ出テ来タ。十一時頃カラ此度ノ豫備科／ト撰科一年トガ組立ツ可キ会ノ事ニツキテ相談ヲシタ／会ノ名ハ無名会トカ云ツテ居タ。學校カラ帰ツテ寫生／ニ出ル。今日ノ天氣ノ春メイタ事、ポカク暖カク羽織モ／ヌギ度イヨウデ。夕食ヲ食ツテお湯二行キ陣内君／ノ所デ九時迄談シテ帰ル。

### 1903.2.26(木)

26. Thursday 今日ハ小松宮殿下ノ葬式ナノ／デ之レヲ送ル為メニ七時三十分ニ學校ニ集マツタ。余リ／昨日ハ天氣ガ好カツタノデ今日ハ朝カラ一面曇ツテ／降リ出シソウデアル。整列シテ江戸川ノ大まがり／ニト向ツタ。ゾロクト出ル見物人ハ町ヲ埋メル様／デアツタ。十一時前ニナツテ棺ハ各皇族ノ徒步ニテ送ラレ／ツヽ静々ト進ンダ 武官文官ノ美シクカザツタノガ数知／レズ進ンデ海軍陸軍ノ樂隊ヤ兵士モ多クツドイタ。／別カレタノハ十一時三十分。分口大砲ハ前カラドン／クト淋シゲニ響イテ居ル。人波ニモマレツヽ歸リ／着イタノハ十二時半カ一時カデアツタロウ。午後ハ／室内寫生ヲシテ夕食後散歩ニ出タ。夜ハ例ノ／如クミゼラブルヲ読ンデ寝タ。

### 1903.2.27(金)

27. Friday. 一時半頃學校カラ帰ル 後チ／室内寫生ヲヤツテ居タ所ヘ外カラ南君／ト呼／ブ者ガアル。山本君デアツタ。寫生ニ近所ヘ来タガ曇／ツタノデ止メテ来タト云ヒツヽ室ニ入ツタ。暫時シテ同ジク／撰科ノ村上君モヤツテ来タ 一時間バカリデ帰ツタ／夕食シテ散歩ニト小石川ノ方ヘ出カケタ。夜ハ例ノ／ノ如シ。

### 1903.3.1(日)

March. / 1. Sunday. 起キ出タノハ七時頃デモアツタロウ。天一面／曇ツテ今ニモ降リ相ナ模様デアル。味噌汁ヲスヽツテ／教会ニト出タ 一番町ニ着イタノハ十時頃デアツタ。十一時／頃カラ帰ル。途中高等學校ノ紀念祭ヲ同校デ見テ／來タ 三時過ギ宿ニ着クヤ否ヤ五島君ガヤツテ來テ次デ／陣内君ガ来タ。今日ハ未ダ昼飯モ食ハナイノデ腹ノ／減ツタ事甚ダシ。デタ飯ニハ二度分ノツモリデカキ込ンダ。／日暮方ヨリポツクト降リ出シタ。ガ止ンダリ降ツタリデアル／散歩ニト陣内君ト出テ其ノ宅ニ行ツタガ之レカラ梅／月ニ往コウト陣内君ガ云ヒ出シタノデ拒ンダガ遂ニ／往ク事ニシタ 八時過ギニ帰ツテ來タ。

### 1903.3.2(月)

2. Monday. 今日カラ一週間僕等ノ競技ノ／郊外寫生ノ為メニ当テラレタノデ學校ニモ行カズトモ／イヽノデアル。八時過ギニ起キ出デ朝日ノ中ヲ／散歩シタ。帰ツテ少シシテカラ内海カラ小包ガ届イ／タ 又タ廣島ノ南カラモ介ヲ焼イデ送ツテヨコサレタ。／五島君ガヤツテ來テ辨当ヲ食ツテ往タ。午後／傍ノ六アミダニ出カケテ鐘樓ヲ鉛筆デトツテ帰ル。／夕食ヲ済マシテ買物ニ行コウト思ツテ陣内

君ヲ／誘タガ行カヌト云フ。独リデ神田ニ出タ 帰ツ／タノハ十時前デアル。

### 1903.3.3(火)

3. Tuesday. 十時頃學校へ佛語及ビ体操／ヲヤリニ出ル。二時頃帰ツタ。六阿みだニ往／テ昨日ノヲ色ニトリカカツタガ少シモ面白ク無イノデ／少シバカリデ遂ニ止シタ。二三日ハドーモ繪モソウ／画イタク無クナツタ。而シ競技モアル事ダカラ明日／カラハ海岸ヘドモ出力ケヨウト思ツテ居ル。夕食／シテ例ノ如ク裏ノ方ニ散歩ニ出ル。春ノ日ノ／暮レ残リテ森ハ眞赤ニスキ通サレ赤ノ上ノ／美シキブルツシヤンブリユーノ所ニハ輝ヤク明星ガ、／猶ホコバルトノ部分ニハ五日バカリノ月ガイト／静カニ懸カツテ居ル。歌等ウタツテ帰ツテ／暖カナ昼ノ日ニ当テタ蒲團ニモグリ込ンデ手紙ヤ／日記ヲ書キ本ヲ読ンデ眠リニ入ツタ。

### 1903.3.5(木)

5. Thursday 朝 室内寫生シテ十時頃ニナツ／タカラ學校ニ佛語体操ノ為メ出力ケヨウト／思ツテ居夕所ヘ五島君ガ六あみだヲ寫生／シテヤツテ来テ共ニ出タ。陣内君ヲ誘フ。陣内君／カラ貸シテ置イ夕金一円ヲ返シテ呉レタ。体操ヲ／一時半頃ニ済マシテカラ直キニ石川島ヘ寫生ニ／向フ。両國マデ歩ンデ此所デ三銭ヲ出シテ／永代迄ノ切符ヲ買ヒ乗ツタ。例ノ濁ツタ水／ニ眞白イかもめガ浮イタリ飛ンダリシテ居ルノヲ／窓ノ中カラ眺メツヽ下タ。上ツテ石川島ニ渡ル可ク／巡查ニ問フタ。ツイ傍ニ渡船ガアルトノ事デ其レニ／越ク。此ノ渡船ハ市役所カラノデ無賃ダ。デ暫待／ツテ来タノヘ乗ル。(中略) 島ノ西側ニ往テ岸ニ腰ヲ下ロシテ汽／船等ヲ寫生シ出シタ。石炭ヤ荷ヲ積ンダ船ガ／上ツタリ下タリ時ニハ汽船ガヤカマシク笛ヲ鳴ラシ／テ入港スルノガ中々賑カダ。日ガ雲ニ隠レ／空ガ赤クナツタ頃再び渡船デ渡リ永／代カラ川蒸氣ニノツテ両国迄。ソレカラボトク／來夕道ヲ踏ンダ。途中デ腹ガ減ツタノデおでん／ノ立食ヲヤツタ。宿ニ帰ツタハ八時頃。ソレカラ急イ／デ夜食ヲカキ込ンダ。宿ノ婆サン遅クナツタノデ／ブーブーシテ居ル。少シバカリ本ヲ讀ンデ眠ル。

### 1903.3.6(金)

6. Friday. 起キ出テ見ルト空一面曇テ加之モ／風ガ寒ムク吹イテ居ル。之レデハ午後カラ寫生／モダメト失望スル。朝田中君ト国峯君ニト／手紙ヲ書イテ居夕所ヘ陣内君ガヤツテ来タ／十一時頃帰ル 昼食シテ僕ガコンドハ陣内君ノ／所ニ出力ケタ。四時迄話ス。帰ツテタ食ヲシ／本ヤ雑誌ヲ讀ンデ眠ル。

### 1903.3.7(土)

7. Saturday. 朝起キ出デヽ早速天気ハト／見ルト日本晴ノ朗カニハアルガ強イ風ト云フツキモ／ノガアル。ガモ少シシタラ和グデアロウト兎ニ角ク勇ン／ダ 午前中ハ例ノ如クニ大声デ歌等歌ツテ／過ゴシテ昼飯ヲ食フヤ豈ヤ出タ。ガ風ハヤツパリ／林ニ大声ヲアゲテ吹キマクツテ居ル。野ニ出ルト／陣内君ガ寫生シテ居ルノニ遇ツタ。例ノ両国／迄、之レカラ汽船、新佃島ニ渡ツタノガ二時半／ソレカラボツボツトトリカヽツタガ、北向ニ岸ニ／坐ツタ僕ハ河面ヲスペツテ来タ寒イ風ニ手モ／感覺ヲ

失ツテ鼻水ガ紙ノ上ニ落チタノモ幾ツブノカ。前ノ汽船ガ三時ノ鐘ヲ打ツタ後チ殆ンドノ一時間近クヤツタ 少シ早イガト思ツタガ帰ル事ニシタ／五厘ノ渡銭ヲ佛ツテ靈岸島ニ渡ツテ之レカラ／徒步デ京橋ノ北ニ出デ鉄道馬車ノ傍ヲ／ボトクトヤツテ神田ニ来タ。畫報社デ先ノ／賞與ノ切符二十五銭ヲ添ヘテ画聖ラツハヘル／ト巴里ノ美術學生ヲ受取ツテ帰リツイタノハ／七時頃デアツタ。夕食ヲ腹一パイツメ込ンデ／美術學生ヲ読ミ出シタガ中々面白イノデ／フキ出シテハ読ミツヽ遂ニ殆ンド一冊ヲ終／ツタ。其レカラ直キニ眠ル事ニシタ

### 1903.3.8(日)

8. Sunday. イツモナラ岡田先生ノ宅カ／教会ニ出力ケルノダガ今日ハ音楽學校ノ演奏会／ガアルノデ若シカ聴ク事ガ出来ハスマイカト行ク事ハ／止メテ午前中ハ本ヲ讀ンダリ新聞ヲ見タリシテ／費シ飯ヲ食ツテ十二時半頃カラ出力ケテ見タ。音楽／學校ニ出力ケテ見タガ招待セラレタ者ダケダト云フ事ヲ／聞イテ一方ナラズ失望シタ。ガ仕方モ無イノデ學校／ノ學士会ノ講演ナト聞コウカトモ思ツタガ之レモ／別ニ面白イト云フ程デモナイヨウダカラ、一ソノコト／渡辺省三君ドモ訪フト湯島ニ往ク。一時間バカリシ／テ二人デ鉄造君ヲ攻撃シヨウト高等學校／ニ行ク 之レカラ鉄造君ヲモ引キパリ出シテ町ヲプラツキ／其レカラ梅月ヘ往コウトノ發儀デ直キ越ク。此所デ／菓子腹一パイツメ込ミ面白ク可笑シク話シタ。之レ／カラ出テ帰ロウト思ツタ所ガ鉄造君ガ學校／ヘ飯ヲ食ヒニ來イト云フカラ、ソレナラト三人デ食堂ヘゾロ／くト入ツテ此所デモ腹ヲクラス。復夕散歩ダ／天野君<sup>13</sup>ヲ修道館ノ裏庭カラ引パリ出シ／忍ズニ出力ケタ。此所等カラ勝手氣まゝナ熱／ヲ吐イテ四人デ怒鳴リツヽ又夕空ノ赤ク／美シク水ニウツテ居テ鴨ガ白イ、イヤ銀ノ線／ヲ引キツヽアツチヤコツチヘ行クノヲ見テ一周シタ。／之レカラ何所ヘ來クカ、ト云フノデ忽チ渡辺省三君ノ宿／ガ近カイノデ此ノ所ヲ再ビ攻メル事ニシタ。此所デモ／怒鳴ツタ 笑ツタリ話シタリ又タスケツチヲヤツタ／リシテ實ニオモシロク九時半頃ニナルノモ知ラズニ／サワイダ。オソイカラト云フノデ出タ 二人トハ切通シデ／別カレ僕八十時ノ汽車デ田端迄デ。實ニ／今日ノ半日ハ近頃ニ無ク僕ニハ愉快ニ暮シタ。／充分先ノ取り返シハツイタ。帰ツテ米国ニ送ル／新聞紙ヲ揃ヘ日誌ヲシルシテ床ニ入ツタ／モ一十二時ヲ過ギルカ知ラン。

### 1903.3.11(水)

11. Wednesday. 九時ニ丁度學校ニ出ル。／今週ハ競技ノ木炭デ皆ナ中々熱心ニ／ヤツテ居ル。十二時ガ打ツテ帰ル。ソレカラ此ノ間／カキカケニシテ置イタ井戸ノ油ヲヤリ出シタ／中々面白相ニナツテ来タ所ヘ雨ガポツク／トヤリ出シタノデ引キ込ム。夕食ヲ終ヘテ／明日ハ佛語ガアルノデソレヲ調べテ置イタ／床ニ入ツタ八十時半頃デアツタ。

### 1903.3.13(金)

13. Friday. 學校カラ帰ツタ頃急ニ雨ガ降リ／出シタガ直キニ止ンダ様ダカラ寫生ニト團子阪ノ／方ヘ溝ノ傍ニ往タ 一二時間バカリヤツタ時ニ又タ／雨ハ南ノ方カラ降ツテ来タノデ急ニシマツテ帰ル

事ニシタ／溝ニ沿ツテ帰ル途 東ノ空ニ実ニ美シク虹ガ／現ハレテ居ル。夕食ヲ終ヘタ時陣内君ガ来タ／共ニ野ヘ散歩ニト出ル。帰ル。雨ガ再ビシキリニ／降ツテ来タ 風モ吹ク様ダ。陣内君ハ尻ヲ端／折テハダシテ馳ケテ帰ツタ。五島君ヨリ借りリタ／洋画手引草ヲ読ミツクス。

### 1903.3.14(土)

14. Saturday. 今朝ハ早ク起キ出デゝ學／校ニ出ル 今日デ競技ノ木炭画ニ霧ヲ吹ク／授業中 學校ノ裏ノ方ニ出ル 梅ハ満開シテソヨ吹ク／風ニ吹雪ヲシテ居ル。面白クサワイデ枯草ノ上／ニ臥スト春ノ暖カナ日ハポカくト脊ヲ当テゝ／心地ノヨイ事云ワレナイ。帰ツテ昨日ノツゞキヲ／寫生シニ行ク 他ニモ二三人ノ寫生者ヲ見ル。夕食ヲ／済マシテ出ル 省三君ヲ訪フタガ居ナイデ神田／ニ往ク 丁度省三君ト遇ツタノデ共ニ帰ル／八時三十分頃マデ居テそば等食ヒ共ニ出テ／梅月ヲ攻撃ス 十時頃ニ帰ツタ。

### 1903.3.21(土)

21. Saturday. 昨日マデハ雨ガ降テ困ラシタガ／今朝起キテ見ルト明ラカナ透タ空氣ヲ春ノ／大陽ガ斜メニ通シテ綠ノ木ヲ美クシク光ラシテ／居ル。天気回復カト氣ガソワくト學校ニ出タ／黒田先生 今日ヤツテ來タ イツモノヨウニ畫架ノ／中ヲグルく廻ツテ例ノ如ク “長原君之レヲツケ／テ於テ吳レ” ト一二人ト共ニ僕ノモツケタ。十二時過グ／ル頃帰ツテ來タ。ガ天氣ハ朝ヨロコンダカイモ無ク／再ビ疊リ初メテ風モ中々ヒドク吹イテ居タ。昼飯／ヲ食ツテ新聞紙ヲ讀ンデ居ル所ヘ陣内君ハ／前ノ井戸ヲカクト云テヤツテ來タ。僕モ兎ニ角ク出／テ見ヨウト油ノ箱ヲカタニカケテ出タ。王子ノ牧場ヘ／行クツモリダ。行タ所ガ折角ノ牛ガ出シテ無イ／デ帰ル。山ニ登ツテ陸奥ノ屋敷ヲ桃ノ花ヲ透カシ／テカキ初メ疊タ空ニモタノ色ガホノ見ユル頃帰ル。／飯ヲ食ツテ陣内君ヲ訪フ。先生今日學校デ黒田／サンニ冷評サレタノデ一方ナラズ失望ノ体ダ。曰ク／“僕ハ今日ハ不愉快デ堪ラナイ。”“金デモアレデ大ヒニ食／ツテ鬱ブンヲ晴ラスノタガ” 之レハ鬱ブン費位ハ／備ヘテ於イテモ宜イガナ。月ニ五十錢位ハ” ナドダ／此ンナ事ヲ云テ終リニハ大笑ヲヤツテ帰ツタ。miserable／ヲ讀ンデ眠ル為メニ臥シタ。

### 1903.3.22(日)

22. Sunday. 朝フト目ヲ覺マストボツト雨ノ／葉ヲ打ツ音烈シイ 再ビ目ガ覺メタ時ニハ其ノ音モ／無カツタ。起キテ飯等食ツテカラ教会ニ往ク可ク／出タ 疊リデハアルガ雨ハ降ラナイ 寒サモ近頃ニナイ／程感ゼラレル。例ノヨウニ混雜シテ居ル九段ヲ／上ツテ一番町教会ニ出タ時ハ未ダ説教モ始マラズ／ニ居タ 終テ植村先生ノ宅デパンノ辨当ヲ食ツテ／青年会ニ列シテ二時頃帰ル。途ニ飯田町ノ眞一／君ヲ訪フタ所ガ眞一君ハ此ノ一ヶ月ハ本郷ノ森川／町ニ居ルトノ事ダ。眞一君ノイツモナガラノ心ニハ／驚イタ 之レデ宿ヲカヘル事何回力知ラン。不忍地／畔デハ自轉車ノ競争デニギヤカ。朝ノ天氣モ今／ハ全ク晴レテ見物人モ一パイデアル。四時頃／帰ル 直ニ夕食ヲ済マシテ箱ヲカタニ寫生ニ出ル／空ヲスケツチシテ來ル。夜ハ出ズ 暫時ノ後ニ／臥戸ニ入ツテ本等読ム。

### 1903.3.23(月)

23. Monday. 學校ノ門ニ入ツタ時ガ丁度／八時ノ鐘ガ打ツ時デアツタ 教室デハ未ダ長／原サンガ来ナイノデ皆ナストーブヲ囲ンデ雑談／ヲシテ居タ。先生ガ来タノデ石膏モ置イテ画キ出シタ／十二時ニ帰ル 途中デ理髮ス。陣内君ハヤツテ来テ／井戸ヲヤツタ 天氣ガ非常ニヨイノデポカくト暖カク／内ニ居ルノガ嫌デ堪ラナイ 裏ノ原デ學校ノ／小供ガ歌ヲ歌ツテ居ルノガ実ニ樂シク聞コエル／出テ雲ヲカク。漸々雲ガ増シテ天氣ガ怪シク／ナツテ来タ。夕食ヲ終ヘテ湯ニ行キ帰ル 早ヤ／日ガ余程長クナツタト見ヘテ太陽ハ未ダ森ヲ／ハナレテ高イ所ニアル デ ソノオボロナノヲ水彩ニ／取ル為メニ庭ニ下ツタ。阪ノ下ニハ沢山ノ／婆サンヤ爺サンガひがんナノデ太師等ヘ參詣ノ帰リデ／アロウ ガヤく笑ツタリ談シタリシテ登テ往ク。陣内／君ガ来ル。今カラ木炭紙ヲ買イテヨウト云フノデ／出タ。風ガ吹キ出シタ 寒イガ南風ダ。神田ノ／小川町ノ飯田ト云フ内ヲ漸ヤク探シ出シテ買フ。文／房堂ニ寄リテ木炭ヲ買フ。本郷アタリニ来タ時／雨ガ時々ポツト顔ニアタル ヌレマイト早ヤ足ニ歩ム。／十時前ニ帰ツテ本ヲ読ンデ暫時シテ寝ル。

### 1903.3.24(火)

24 Tuesday. 朝寝ス。一時間バカリ學校ヲ／遅刻ス。今日ハマタ雨ナノデホトク困ル。文庫／ニ居テ二時頃ニ帰ル。繪端書ノ圖案ニ午後／ヲ全ク費シタ。夜ニ入ツテカラ間モ無ク臥戸ニ入ル。

### 1903.3.25(水)

25. Wednesday. 起キテ顔洗イニ出テ見レバ／昨日ノ天氣ハ何所ヘヤラ日ハ晴レヤカニ一本ノ木／ノ幹ノ中ホドニ輝イテ居ル 寒ムカツタガ見レバ霜デ／白ロク地ガ布カレテ居ル。食ヲ済マシテ出ル 今朝ハ／早ヤカツタノデ學校ニ来テ見レバマダ八時ニ八十／分間位ハアル。長原先生カラ “來週ハ一週間人体ノ／木炭画ノ競技ヲヤル事ニシマシタ。ソレデ出来ノヨイ人ハ／或ハ一年飛ビ上グルカモ知レナイ 之レハ今年ノミデ／アロウ。兎ニ角ク皆サンハヨイ時ニ出クワシタノダカラ シツカリ／勉強シタラヨイデショウ” ト云ハレタ 中ニハ來週ハ／櫻ガ咲クノデ遊バレルト思ツテ居タガ之レデハ耐ラナイ／トコボスのんき者モ居ル。十一時頃カラ油繪教／室ヘ見ニ出力ケテ帰リ直ニ學校ヲ出タ 之レカラ／万世橋ノ傍ノ画報社迄 繪端書ノ圖案／ヲ以テ往キ帰ル。水彩ヲヤツテ居ル所ヘ時／永君ガヤツテ来タ 二時間バカリ居テ帰ル 四時／頃ニ五島君ガヤツテ来タ。夕食ヲ終ヘテ端／書ヲカキ寢間ニ入ツテ佛語英語ヲ見テ／眠ル。

### 1903.3.26(木)

26. Thursday. 今日モ天氣ハ余程好イ様／ダ 八時前ニ學校ニ行ク。佛語ハ休ミデア／ツタ。一時半頃帰ツテ直キニ水彩ノ繪具ヲ／以テ飛ビ出シタ。日ハウラ＼カニ眞黄ナ蘭ノ花ニ／当テ雲雀モ例ノ快活ニサヘヅツテ矢ヲ射ツタ／様ニ麦畑ニ落チルト云フヨウニ心地ガ甚ダ／ヨイ。雲ノ小スケッチ二枚シテ来ル。夕食ヲ／四時頃ニ食ツタ所ニ五島君ガテレビンヲ／呉レトヤツテ来ル。共ニ夕景ノ寫生ニ出タ。目ヲ／イルヨウナ太陽ハ眞赤ナ空ヲ通シテ紫ノ雲ノ／中ニト沈ム。春ト雖ド吹ク北風ハ手ノ覺ヲ

／失ハシ鼻ノ先ニハ知ラズ水ガプラ下ツテ居ル。／箱ヲシマツテ立テ顧ルト宵ノ明星ハ可愛ユク／カスカニ光ヲ放ツテ居ル。陣内君ヲ訪フ。寝テ／居タ。八時ニ帰ツテ来ル。

### 1903.3.27(金)

27. Friday. 學校デ十時頃カラ寺崎君<sup>14</sup>ト陣内君ト共ニ／博物館ニ出カケル。油繪ヲ見ルツモリデアツタガ此頃ハ／メテアルトノ事デ見ズニ出ル 時間ガアルノデ動物園ニ／入ル 新ラシク米国カラ來タト云フ“カンドル”ヤ駝鳥ヲ見ル／今日モ天氣ガヨイノデ見物人ハ非常ニ多い。赤毛ノ大將モ中々多い。十二時前二學校ニ帰ル／歸テ見ルト先日ノ競技ノ点数ガ出テ居ル。平井君／ガ九十五点デ一番橋本君<sup>15</sup>ガ九十。五島君ト僕トガ／八十八。ソレカラ斯波君<sup>16</sup>ヤ服部君等ガ八十五、等ト／十八人デ六十三点マデハアル。五島君ガヨイ点ヲ取／ツタノハ皆ナ意外デ自分デモ隕幸ダト云テ居ル。(中略)四時半頃カラタ景ヲヤリニ行ク。日ノ暮レル／マデ居テ帰リ風呂ニ行ク。中々寒ムイ。miserables／六ページバカリ読ンデ寝ル事トシタ。

### 1903.3.28(土)

28. Saturday. 此度、昨年即チ三十五年ニ／入學シタ者デ西洋画ノ方デーツ会ヲ造タ 無名／会ハ其レダ。其ノ第一会ノ小展覧会ヲ今日ノ午／後カラ開ク事ニシタ。初メハ校友会クラブヲ／借ルツモリデアツタガ柔道ノ大会ガアツタノデ／木炭画ノ教室デ開ク様ニナツタ。十一時頃カラ／画架等ヲ大騒ギデシマイ出シタノデ一同外ヘト／出タ 十二時ニナツテ入ツタ。入タ所ヘ石膏ヘ椿ノ／花ヲ添ヘタノヲスヘテ傍ヘ同ジク石膏ノ少年／へ誰レカノ上衣ヲ着セテ居タノモ面白イ。此度ノ／画題ハ空デアル。隨分油口ヘ水彩等ヲ／沢山出シタ。デ一同ガソロツテカラ片端カラ／皆ナデ用捨ナク評ヲシタガ中々盛ニアツタ。／而シ題ガ吾々ノ様ナ始新者ニハ無ツカシ過／ギタカ之レト云フ様ナ奴モ無カツタ。参考品／モ数点出テ居タ。暫時シテ帰ル。散歩ス／夕食シテマタタ景ノ油繪ヲカキニ行ク 五島君モ／居タ。陣内君ガヤツテ来タ 日ガ暮レルノデ共ニ／路ニ出ル 僕ハ省三君ヲ訪ホウト思ツテジキニ／箱ハ陣内君ノ所ヘ預ケテ行ク。省三君ノ所ヘ／行クト丁度鉄造君モ来テ居タ。九時頃マデ／話シテ居ル時警鐘ガ鳴ルノデ飛出シテ湯島／ヘ。深川トノ事。中々盛ニ焼ケテ暗夜ノ中ニ／実ニスゴク立派ダ。引張ラレテ傍ノ牛肉店ニ／上り、出ル。スグ隣リノそばやヘ再ビ上ル 腹／一パイ食ツタ。時ニ十一時前ナノデ、汽車モ無／イカラ歩イテ帰ロウト思テ居タガ省三君ガ強イテ／留テ行ケト云フノデソレニシタ。十二時頃ニナツテ／蒲団ニモグリ込ム。

### 1903.3.29(日)

29. Sunday. 目ガ覺メタハ六時頃。ソレデモブラく／シテ起キ出タノハ八時前デアツタロウ。少シテ鉄造／君ガ来タ。豚デ朝飲ヲ馳走ニナル。今日ハ日／蝕ト云フノダガ曇テ雨モポツク。ソレデ無ケレバ／何所カヘ散歩ニト昨夜ノ約束デアツタ。九時／頃ニナテカラ、曇リトハ雖モ甚ダ暗クナツタ。雨モ／アガツタ様ナノデ十二時前三人共出ル 湯島ノ梅／月デ菓子ヲ買ツテ上野ニ行ク 浅草ヲナガメル／食ツタ。上野ヲ下ツテ大サハギヲスルスル田端ヘ／来タ。僕ノ所デ暫時サワイデ再ビ出ル。一番

町／教会へ洋傘ヲトリニ行クツモリデ往テ見タガ戸ガ／シマツテ加之モ夜ハ説教ハ無イノデシカタ無シニ帰ル。／今日父上カラ金子四十円ノ換替ガ来タ 何時モ／沢山ノ金ヲ送ツテモラウノデ謝スル言葉モナイ／夜日記ヲカイテカラ手紙ヲ書ク。

#### 1903.3.30(月)

30. Monday. 學校カラ帰ツテ團子阪ノ先キノ／廢園ヘ陣内君ト出力ケタ。昨日 前ヲ通ツテ始メテ／知タノデアル。実ニ美イ所ダ 元ハ手入モ届イテ立派／デアツタロウガ今デハ圓ム垣モ破レテ景色モ／全ク野生ノ自然ニ近クナツテ居ルノデ却テ趣キ／アル。池ノ向ノ方ニモ沢山スケツチヲヤツテ居ルノヲ／見タ 四時半頃迄ヤツテ一人デ帰ル。夕食シテ／夕景ヲ寫生ニ趣ケ 五島君モ陣内君モ来タ。

#### 1903.3.31(火)

31. Tuesday 昨日カラ僕等豫備ノ者ダケ／ノ競技トシテ人体ヲヤリ出シタ。デモシ甚ダヨ／ク出来レバ一級飛バシテ上ゲルトノ事デアルカラ／皆ナ野心ヲ以テ一分ノ隙ヲモ口サズ勉／強シテ居ル。昨夜雨ガ降リ出シテ午前／中ハ曇リデアツタガ二時頃帰ル時カラ再ビ／降リ出シタ。櫻ガ咲クト云フカラ學校ノ窓カ／ラ見ルト二本バカリ白ロク見ヘル 之レカラ咲キ出ス／デアロウ。夕飯ヲ済マシテ散歩シ直チニ寝間ニ／モグリ込ンデ本等読ム 眠ツタノハ七時カ八時／頃デアツタロウ

#### 1903.4.1(水)

April. / 1. Wednesday. ゆふベハ能ク降ツタガ朝／ニナツテ霧トナツタ。遂ニ雨ニモナラズ正午前カラ／太陽モ見ヘ出シタ 今朝来ル時 辨当ヲ忘レテ来タ／ノデ途中パンヲ買ツテ寫生スル為メ團子阪ノ／所ヘ行ク。緑ノ草ヘ腰ヲ下ロシテ食ツテカラ／画ニ取りカヽツタ。暫時ノ後チ一人之レモ水彩／ヲヤリニ來タ。後チニ其レヲ見ニ往ク 中々旨イ。談／シテ居ル中 其ノ人ハ僕ノ學校ノ本科一年ノ江南／君<sup>17</sup>ノ弟デアルト云フ事ガ知レタ。デソレカラ種々談／シ帰ル時ニモ共ニ阪マデ来タ。帰テ見ルト鉄／造君ガ自轉車デ来テ丁度帰ラントスル所デ／アツタ。ソレデ裏ノ原ニ出テソレヲ乗り廻シタ。／夕食シテ本ヲ讀ミ寝床ニ入ツタ。

#### 1903.4.4(土)

4. Saturday. 八時ニ登校ス。急イデ木炭画／ヲヤツツケ漸ヤク仕上げハシタ。學校前ノ庭デ／日ニ当リツヽ辨当食ツタ ソレカラ公園ニ出タ。櫻モ／皆ナ淡ク赤ク開キ出シタノデ人ハゾロクト／ヤツテ来タ 商品陳列所ノ前デハばかりはやし／ヲヤツテ居タ 榎本君<sup>18</sup>等スケツチヤツテ居ル。僕モ／木ニスガツテ鉛筆ヲモツタ。プラくトアチコチ散歩シ／テ學校ニ帰り直チニ團子阪ノ傍ノ池ニ出力ケタ／一時間バカリヤツタ時ニ江南君ガヤツテ来タ 後チ／陣内君ガ来タ。僕ハ五時頃迄ヤツテ来ル。田／端近所デ小畠 五島及ビ陣内君ガ居／タ。飯食ツテお湯ニ。寝テ本等読ム。

### 1903.4.5(日)

5. Sunday. 七時頃カラ岡田先生ノ宅ニ出懸ケル。陣内君ヲ訪フ 天氣ノ好クホカクト暖カクノ丸ノ内ヲ通ツテ先生ノ内ニ着イタハ丁度十時ソレカラ自分等ノヲ見テモライ又タ先生ノ寫生等モ見テ十一時過ギニ帰途ニツク 日曜デアルカラお花見デアロー沢山ノ人ガ往キツモドリツシテ居ル。丸ノ内デアマリ腹ガ減ツタノデ大福ヲカツテ草原ニコロンデ食ツタ。お茶ノ水カラ新花町ニ出テ陣内君トハ別カレ渡辺君ヲ訪フタガ省三君ハ居ナイ。寧道君ガ昨夜來テ居タノデ遇ツテ種々話シテ、三時頃出ル上野ヘト上ツタ。出テコトク此ノ人ハ、クチャくスル程上ツタリ下ツタリシテ居ル 花ハ白ク淡紅ニゾーツト咲キ揃ツテ路往ク人モ皆ナ浮調子若草ニ~~■~~コロガシテ居ルモノモ沢山ダガ ビールヲ立チ飲ミノ先生モ少ナクハ無イ。酒樽ヲプラサゲテ踊ツテ居ルノモ此ノ場合中々愉快ダ 學校ノ前ノ方デ寫生帖ヲ出シタ。道かん山ニモ中々ノ人出。原ニ~~折~~ノサバ口テ居タノモ真昼頃ハ盛デアツタノガ知レル。帰ツテ直チニ二度分ト思ツテ腹一パイニツメ込ンダ。後チ陣内君ヲ訪ヒ八時半頃帰ル。月ハ雲ニ隠クサレテワヅカニ薄ク光ツテ居ル。ソレデ花見口ノ桜モハツキリトハ見ル事ガ出来ナカツタ。/~~歐~~シテ畫聖ラフエルヲ読ム。

### 1903.4.10(金)

10. Friday. 今週ハ學校ニ出ルノハ四日間デ今日カラ春ノ休暇トナルノダ。デ學校ニ居ル時モ眞面目ニ勉強シタノハ少ナカツタ 前ノ公園デ日ニ増シ花モ盛リニナツテ来ルシ人モ出テ来ルト云フ次第デドーシテモ出ズニハ居ラレナイ。昨日突然ニ大口ヲスケツチヲヤルト云フ事ニナツテ昨日ハ雨ガ降テ此ノ事モオボツカナク思ツタガ今朝起キテ出レバヌグツタ様ナ上天氣 驚イテ仕度ヲシタノデアツタ。時刻ハ八時半ト云フノデアツタガ少シハオクレタ陣内君ヲ誘ツタガ行カズ。學校ニ往テ見ルト門前ノ木ノ下ニ三脚ヲズラリト列ベテ居タ昨日天氣ガ悪ルカツタノデ集マツタ者ハ少ナカツタ五島、寺崎、橋本、山本、平井、服部、榎本、中村<sup>19</sup>、永田及ビ僕ノ十人デ後チニ小畑、市川、兒島<sup>20</sup>ノ三人が加ハツタ。竹屋ノ渡シヲ渡ツテガタク油繪箱ヲ音サセテ群ヲヌウテ鐘ヶ淵ノ方マデ行キ先ヅ其ノ所デ辨当ヲ食ツタリシテ別カレ思イ~~ク~~ニスケツチニトリカツタ中ニハ眞面目ニヤツタ人モアツタガ僕等ハ只ガ馳セ廻ツテ遊ンダ 四時頃皆ナ思イ~~ク~~群ヲシ別カレタ僕等ハ五島山本小畑ノ諸君ト四人デ小松島カラ吾妻マデ汽船デソレカラ上野マデ歩イテ此所デ僕ハ別カレテ帰ツタ。帰テ見ルト柴崎逸郎氏ガ屋ニ來タトノ事デ之レカラ出力ケヨウト夕飯ヲオヘテ直チニ汽車ニ乗ツテ又タ馬車デ日本橋迄。今晚ハ留マツタラドータト云ツタノヲ九時頃帰ル 汽車ノツモリデアツタガ半時間程早ヤカツタノデアルク。一日ノアルキドーシデ勞レ切ツテ帰ル直キ眠ル。

### 1903.4.12(日)

12. Sunday. 昨夜ハ早ヤクカラ寝タノデ夜中ニ目ガ覺メタ ソレデモ今朝迄ハ十二時間以上ハ眠テ居ルデアロウ 起キタ時ハ日ハ高カツタ。昨夜ハ雨ヤ風又タ雷モ鳴ツテ居タガ今朝ハ雨ハ止ンデ居ル 風ハ強イ一番町ノ教会ニ出ル。二時頃マデ先生ノ宅デ青年間ニ加ハツテ居タ。帰途眞一

／君ヲ訪フ。帰ツタノガタ食前。

### 1903.4.13(月)

13. Monday. 朝天氣ガ好イノデ箱ヲ負~~マ~~テ／團子阪ニ走ル溝ヲ寫生ニ越ク 小畠君モ来 又タ／山本君モ来タ。午后ハ太田ヶ原ノ池二行ク

### 1903.4.14(火)

14. Tuesday. 昨朝ノ続キヲ寫生スル筈デアツタガ／曇天デアツタカラ水画具ヲ以テ溝ヲ上ニ沿口タ／陣内君ニ遇ツタ。畔ニ傾イテ立ツテ居ル柳モ早ヤ／モヘ立ツヨウナ新緑ヲスキ出シタ。映ツル水ノ／美シイ事、大根ヤ肥たごヲ洗ツタ水トハ思ハレ／ナイ一枚一寫生ヲヤツテ十一時頃ニ帰ル。

### 1903.4.15(水)

15. Wednesday. 此ノ間カラ三宅先生ヲ訪問／シヨウデハナイカト話シテ居リ遂ニ今日ニ日ヲキメタ。／好天氣デアレト起キ出テ見ルト悲シヤ雲ハタレテ／雨モ滴々木ノ葉ヲ打ツテ居ル。而シ雨ガ降／テモトノ約束ナノデ七時前ニ出タ。陣内君ヲ誘ヒ／ソレカラ小畠君ヲ誘ツタ。先生マダ眠テ居ルノヲ／起コシテ八時半頃ニ出ル。天氣ハ降ツタ上ツタリ／シテ居ル。飯田町ノ停車場ヲ十時過ギニ／発車シテ花見ノ客ノ混雜ニカタ口ヲ縮メル／而シソレデモ寫生帖ヲ出シテシキリニヤル。新宿／デ下リテ榎本君ニ教ハツタ通リニ往キ遂ニ見／出ス。丁度先生ハ寫生ニ出テ居ラレル。然シ雨ガ降／レバ帰テコヨウトノ事デ、デハ十一時頃ニ再ビお訪ヒ／申シマスト出テ路ヲプラくシテ居ルト向フカラ／三脚ヤ寫生用ノ傘ヤ箱等ヲモツテ先生帰ツテ来タ。／（嘗テ高等學校ノ画学会デ先口ヲ見タ事ガアルノデ）／再ビ先生ノ家ニ往テ天口ニ通サレ話シヲ聞キ、／又タ先生ノ画ヲ見タ 中々ノ大作ヲヤツテ居ル。外／國人ノ画等ヲ見セラレタ後チニ僕ノ持テ来タノ出シテ／批評ヲ乞フタ。先生ガ曰フニハ“ヨク深ミガ顕ハレテ／居リマス。”“色モ中々良イデス”“ガ調子ガ少シクヨクナイ”／トソレカラ色々ト親切ニ惡イ所ヲ教ヘテモラツタ。後／チ暫時談話シテ十二時二十分前ニ宅ヲ辞シテ再ビ／停車場ニモドツテ十二時二十分カノ汽車デ帰テ来タ（後略）

### 1903.4.16(木)

16. Thursday. 六時に目覺ム。天氣ガ悪イノデ／寫生ニ出ラレズ董ヲ取テ来テ寫生ス。午前陣内／君ガ来タ。田中熊造君カラ上京シタノ報知／ガ来ル。午后頭ガフラくスルノデ陣内君ヲ訪／ヒ二時ニ帰ル。夕食シテ後雨モ降ラナクナツ／タノデタ日ノ森ヲ寫生ニ越ク。（後略）

### 1903.4.18(土)

18. Saturday. 春雨モ夕残無ク晴レタノデ寫生／ニ出タ 陣内小畠君等モヤツテ来タ。綠ノ草ニ霜ヲ／帶ビテ日ノ光リニ輝ヤイデ居ルノハ実ニ何トモ云ハレヌ／美觀デアル。十一時頃ニ帰テ来タ（中略）／長屋君ガ、“今夜卒業生ノ会ガアル”ト云フ事ヲ聞／イテ帰ル。今デハ歩ムノモ余程楽ニナツテ来タ

様ダ／夕食シテ夕景ヲ寫生ニ ソレカラ上野ノ花月亭トヤラヘ／出タ。最早ヤ座敷ニズラツト列ンデ誰ヤラガ英／語演説ヲシヤベツテ居タ。新ラシク上京シタモノモ／多ク見ヘルガ知タ者ハ石黒君ダノ渡辺君ヤ三戸／山科君位ノモノダ。酒ヲノマン僕ハすし等ヲグサグサ／食ツテ鉄造君ト談シテ居タ。後程ニ下村氏トカ／ゞ來タ。皆口酒ニ酔パラツテサワグノヲ縁ニ腰カケテ／聞テ居タガ少シモ面白クナイ。サワグ時ニハサバグ方／ガヨイガ僕ハドーモ酒ノ為メニサワガサレルノハ快イ／トハ思ハン 十時ノ汽車デ帰ル筈デアツタガ留メラレテ／遂二十一時過ギニナツタ。デ汽車モナイノデ寧道君／ノ所へ宿ル事トシタ。省君ヤ寧君ト二時過ギマデ／談シテ眠ツタ

#### 1903.4.19(日)

19. Sunday. 目が覺メタノガ五時。飯モ食ハズ／帰ツタ 九時頃ニ再ビ出テ大學ノ前デ鉄造／君ニアツタノデ之レカラ田中熊造君ヲ訪ホウト共ニ牛込／ニ往タガ宿所ノ書附ヲ持テ来ナカツタノデ大ニ困ツタ／漸ヤク名ダケ覺ヘテ姓モ番地モ忘レテ居ルマヽ辺／一軒ヅヽ探ガシテ見ヨウト廻ツタガ遂ニ見出ス事ガ／出来ナカツタ。デ帰ル 十二時ガ近カイノデそば屋デ／腹ヲ大キクシテヤツテ来 ソレカラ小石川ノ植物園／ニ往タ。新芽ノ美イ事。池ノ端デ可愛イ小供ヲ／相手ニ遊ソンドノハ面白カツタ。帰ツテ夕食マデニ／少シク時ガアルノデ僕ノ下宿シテ居ル家ヲ水彩ニ／スルツモリデ鉛筆デ取ル。(後略)

#### 1903.4.20(月)

20. Monday. 七時三十分ニ學校ニ往ク 教／室ガ拡ゲラレストーブガ除カレテアルノデヒロぐ＼トシテ居ル。十時頃橋本君ト無声会、女子美術、／日本美術院ノ会等ニ出テ見タ。帰ツテ前ヘヲ／寫生。夕ハ夕景ヲシ上ゲテ帰ツタ。夜ニ入ツテ／米国ヘノ端書ヲ書キ、新聞ヲ包ミ、ソレカラ／佛語等調べテ十一時ニ眠リニツイタ。

#### 1903.4.24(金)

24. Friday. 朝等ハ甚ダ寒ムク思ハレタ。／六時三十分ニ起キテ八時前學校ニト出タ。帰ツ／テ此ノ間カラノ自分ノ宿ヲヤツタ。画イテ居ル所ヘ／中村先生ガヤツテ来タ。夕食シテ散歩。ソレカラ／河井氏ヘ手紙ヲ書イテ新聞等読ンデ眠ル。

#### 1903.4.25(土)

25. Saturday. 六時ニ目覺ム 今日モ好イ天氣／ト見エテ障子ニ日影ガマバシイ。今日ハ本／月ノ最終ノ土曜日ナノデ例ノ如ク無名会ノ／小展覽会ヲ開クノデソノ準備等シテ學校ニ／出タ。一時間バカリ木炭画ヲ画イテ後チ榎／本君ト何力面白イ考ヘモト裏ノ方ニ出カケタ／緑ノ中ヲ歩イテ居テ フト花環ヲ造クタナラト／云ヒ出シ居合ハス小畠君モ盡カシテ呉レテ／大キナ柏ノ環ニ山吹等ヲ添ヘテ造ツタ。教／室ニ帰ツテ直チニ端カライーゼルヲカタヅケ／辨当ヲ食テカラ掃除シテ列ベ出シ／前ノ花環ヲミレーノ額ノ上ニノセテ入テ／来タ所ヘ正面ニ置イタ。十二時ニ開会シタ。／自分ハ委員ノ一人デ

ドーカヨク集マツテ呉レハ／バ良イガト思テ心配シタガ案外ニ面白／イ奴モ出、数モ多カツタノデヨ  
カツタ 一同ヨツテ／例ノ批評ニナツタ。ソレカラ良イ奴ヲ保管／スル様ニ決定シタ。自分ハ水画ト油  
画合ハ／セテ水ノ画題三枚出シタガ皆ナ良イトノ評ヲ／受ケタ。後チニ児島君デアツタカ今日ノ月桂  
冠ハ／南君ニ授ケヨウデハナイカト云ヒツテ前ノ花環／ヲ頭ニ懸ケタ。自分デハソ一モヨイトモ思ハ  
ナイガ／ドー云フハヅミデアツタカ、呉レト云フノデ／服部君ニ油画 永田君に水画ヲ一枚ヅヤッ  
タ。／一体ニ今日展覧会モ評判ガ良カツタノデ僕等委／員モ心モチガ良カツタ。会員以外ノ人ヤ又タ／  
學習院ノ者等モ見ニヤツテ来テ居タ。シマツテ一同／帰ツタノハ一時三十分頃デアツタ。／帰ツテカラ  
マタ寫生ノツドキヲヤツテドーヤラ仕上げタ。／鉄造君ガ来タ。共ニタ食シテ省三君ヲ訪フタガ／居  
ナカツタノデ牛込ノ田中熊造君ヲ訪フ。九／時頃マデ種々ト久々ニテ話シテ帰ツタ。十／時三十分デ  
アツタ。空模様ガ至極好クナイ／ヨウニナツテ来タ。多分明日ハ雨カ。

#### 1903.11.3(火)

十一月三日。火曜日 快晴。／実ニ久シク日記ヲ書ク事ヲ怠テ居タガ昨日（十一日）フノト校友会月  
報デ和田氏ノ日記ヲ読ンデヒドク／面白ク思ヒソレデ今日カラ書ク事ニシタ。デ最早ヤ／先日デアル  
三日ノ日カラ書ク事トシタ。／三日ハ美術祭ヲ催スト云フ日デ其ノ前二週間バカリ／ハ其ノ準備デ皆  
ナ働イテ居タガ、ガ然シ僕等ノ／方デハ準備ト云フ事モアマリ無カツタ。朝七時前ニ／宿ヲ出テ鉄道  
驛デ學校ニ急イダ。ポンチ画／ノ展覧会ヲ開ク準備ヲ先ヅシテ少シプラくシテ／居ルト早ヤ見物人ガ  
門カラゾロく學校ニ入り込／ミ出シタ。早ヤ九時ニナツタモノト見ヘル。校長／ガ各科ノ神ニ礼ヲシ  
タ相ダガ僕ハ知ラズニ済／ンデシマツタ。ポンチ絵ハ弓術場ノ東側デ丁度其／ノ向フニ無名会ノ絵は  
がき賣場ヲ開イタ。之レモ／少シ手ツダツタ。其ノ内見物人ハ狭イ庭ニヒシく／ツメカケテ舞台デハ  
早ヤ喜劇ヲヤリ出シタ。僕等／西洋画科全体デ午后天衆行列ヲヤツタ。／今日ノ中デ自分ガ最モ面白  
ク思ツタノハ巴理／美術學生、オリンピヤ、活人彫刻題死、ソレカラ／フロレンス行列ト埃及トデア  
ツタ。植村ノ娘三／人ガ来タ。天長節ト云フノニ天氣ガポカ／ヨイノデ來賓ノ多カツタ事 実ニ意  
外デ賣店等／ノ混雜ハ非トイモノデアツタ。色々ノ用事モ済マシテ／帰ツタノハ早ヤ日暮レテカラ  
デアツタ。帰ツテカラ／ハ直チニ眠ル事ニシタ。

#### 1903.11.5(木)

五日。木曜日 晴。／今週ハ郊外寫生ナノデ天氣モヨイカラ丸ノ内／ヘ寫生ニ行タ。

#### 1903.11.6(金)

六日 金曜日 晴。／今日モ。

#### 1903.11.7(土)

七日 土曜日 晴。／今日モ朝カラ出カケテ萬世橋カラ船デ／両国マデ 之レカラ又タ船デ永代迄下リ  
築地／デ船ヲ寫生シテ帰ツタ。

### 1903.11.12(木)

十二日 木曜日。快晴。／起キタノガ六時ヲカキコンデ大急ギデ／學校ニ行タ。但シ之レハ昨日マリー<sup>21</sup>ト約束／ガアルカラダ。一未ダ云テ無イガマリーハ先月ノ／未頃ニ自分等ノ教場ニヤツテ來テ熱心ニ／木炭ヲ握テ居ル色ノ黒イ活潑ナ小女ナノ／ダー學校ニツイタノハ八時二十分程前。マリーハ／未ダヤツテ來テ居ナカツタ。ソドロ寒イノデニ階ノ／窓カラノゾイテ暖イ太陽ヲ浴ビナガラ美シク紅葉／シタ櫻ノ木ヲミツメテ居タ時ニ常ノ様ニマリーハ／自轉車ヲ両手デオサヘテヤツテ來タ。僕ハ直チニ飛ビ／下リテ玄関ニ出タ。握手シタ。今朝ハ寢坊ヲシタト／マリーハシキリニ断ハツタ。文庫ニ行タガ未ダナノデニ／人デ裏ノ森ヲ散歩シテ無邪氣ナ話ヲツバケテ／三十分モアチコシテ教場ニ帰ツタ。後ニ再ビ／文庫デ新ラシク來タ本等ヲ三四人シテ見タ。／夕飯ヲ終ヘテジキニ繪具箱ヲ拡ゲテ九段／ノ方柴ノ富士ノ夕景ヲ画キ初メタ。実ニ美シ／ク清ラカナノハ此頃ノ景色デアル。九段ノ燈／籠ニ灯ガチカくシ出シタ頃 手ヲオク可ク余義ナク／サレテ散歩ニト出タ。筆記モノヤ英語ヲ読／ンデ眠タ。今日デ水彩デ石ノ小屋ノ前ニ馬／ガ居ル繪ガ出来タ。

### 1903.11.14(土)

十四日。土曜日。快晴。／初メテ霜ガお茶ノ水ニ眞白口ク置カレテアツタノヲ見タ。／三時過ギニ逸郎サンガ訪問シテ呉レテ前ニ僕ガ／圖案ヲシタ旗ヲ見セル為メニ持テ來タ。逸郎サンガ／帰ツテカラ大急ギデタ飯ヲ食ツテ約束ガアルノデ／マリーヲ訪問シタ。重タイ額ヲヒツサゲテ六時前／ニ門ヲタヘイタ。丁度今晚ハ英語ノ会トカガアルノデシキリ／ニ手ヲ打ツテ居ルノガ聞ヘル。客間ニ通サレタ。マリー／ノ弟ガヤツテ來テ又タ妹等モゾロくヤツテ來タ。お母サ／ント云フノニ相サツシ又タ父サンノイーストレーキモヤツテ來テ／大声デ Oh! beautiful! beautiful!…ト／云ヒツバケテ叫ンダ 暫時シテ会へ出タ。誰レカ英語／デ談話ヲシテ居タ。弟モ二人快カツニ話シ／マリーモ話シタ。ガマリー／ノハチツトモ分カラナカツタ。イーストレーキ／ガ次ニ話シタガ非常ニヨク分カツテ面白口カツタ。後ニ／尺八ダノ手風琴等ヲヤツテカラ茶ヲノミ乍ラ義太夫ヲ／聞イタ。八時二十五分ニ汽車ガ出ルト云フノデ持テ／來タ繪ヲツバシダ。マリーニハ夏木立ノ絵ヲヤルコトニ／シテ居タガ、亦タ、おやじサンガ小サイ池ノ絵ヲ呉レ／ト云フノデ遂ニヤツタ。帰ル時ニ礼ヲ云ツテ居タ。マリー／ダノ弟ダノ又タ他ノ人ダノニ別レヲツゲテ門ヲ出タ／丁度汽車ガ出ルノデ、飯田町マデ。実ニ今晚ハ／愉快デアツタ。十時頃ニ伏戸ニ入ル。

### 1903.11.15(日)

十五日 日曜日。快晴。／起キテカラ水彩デ九段ヲ寫生シタ。十時ニ一番／町教会ニ行ク。昨夜十充ニ眼ラレナカツタ／ノデ今日ハヒドク眠氣ヲ催スカラ午後ニコライ／ヘ一寸行キ来テ眠ル事ニシタ。／夜コルドンエージヲ八ページ讀ンデ十時ニ／眠ル。

### 1903.11.16(月)

十六日 月曜日 晴。／此頃位天氣ノヨク続ク事モ稀レデアル。今日カラ九／時ニ學校ガ初マル事ト

ナツタ。男ノモデル顔ヲヤリ／出シタ。午后一時頃カラ滝之川デ柳君<sup>22</sup>トカガ米国／ヘ行ク送別会ヲ兼ネテ懇親会ガ催サレルノデアルガ／僕ハ学科ノ都合デ行カナカツタ。用器画ヲ引ク。／七時頃児玉君<sup>23</sup>ガ国カラ送テ来タト云フ美シイ／淋ゴヲ以テ訪問シテ呉レ十時迄話シテ／帰ツタ。golden ageヲ讀ンデ眠ル。

### 1903.11.18(水)

十八日。水曜日。朝雨 午后晴。／學校カラ帰テ見タラ内カラ換替(四十八円) ヤ小包デ／藁、シヤツ等ガ届イテ居タ。夜ハ美術史ヲ筆記シ／年代表ヲ作ルノデ一時迄起テ居タ。昼十二時頃／動物園ニ出懸ケテ馬ヲ寫生ス。

### 1903.11.20(金)

二十日 金曜日 晴。／此頃ハ不思儀二天氣ガ続ク。先日頃美シク上／野ヲ飾ザツタ、楓ヤ櫻ノ葉ハ漸ヤク散ツテ／只ダ イテウ樹ノミガ其ノ黃金色ヲ常盤木ヲ／透カシテ丈ヶ高ク見セル。／三時過グル頃帰ツテ今日カラニコライ堂ヲ寫生ニ／行ク ワットマンノ四切。遅カツタノデ輪格ノミヲ／取ツテ帰ル。夜 明日油絵ヲ画ク為メニ／口等ヲ買テ帰ル。

### 1903.11.21(土)

二十一日。土曜日 晴。／心持ノヨイ朝デアツタ。起キテカラ直キ下宿ノ前ヘ／飛ビ出シ犬ノスケツチヲシテ帰ル。學校デモ今／日ハ土曜日ノ事デ文庫等デ暮シテ勉強モシナ／カツタ。昼食シテカラ學校ヨリ隅田ノ下流ニ船ノ／寫生ニ往ク。往来近カクデヤツタノデ見物人ノ／多カツタノニハ ホトク困却シタ。暮レ易ヒ日ガ／落チテ空ヤ水ノ色ガ漸々美シクナツタ頃、自／分デモ何トナクヨク出来タト思ツタ油繪ノ寫生／ヲ得タ。箱ヲ閉ヂテ立チ上夕時 秋深力キ／透キ通ルヨウナ寒サヲゾツト感ジタ。上潮ト／見ヘテ流レモ見ヘズ逆テ來ル船ガ幾隻モ。／帰リガケ アマリゾクスルノデそば屋ニカケ込ンダ。／先日僕ガ讀賣ヘ投書シテ水彩画ヲ教授スル／ト云ツタラ今日一人願ヒ度イト答ヘガアツタ。寢間ノ／中デ本ヲ讀ンデ眠リニ入ル。

### 1903.11.23(月)

二十三日。月曜日 曇。／祭日デ休ミデアツタガ非常ニ寒ムク今ニモ雨／ガ降テ來ソウナ天氣デ惜シク思ツタ。朝ノ／間モ話シタリ等シテ費シタガ、今日カラ Astory of／ golden age ヲ小年ノ讀物ニスルツモリデ／譯シ出シタ。午后ニコライヘ一寸寫生ニ往／テ來タ。夜モ golden age ヲ讀ンダリ譯／シタリシテ十一時過ギニ眠ル。雨ハ遂ニ降ラナカツタ。

### 1903.11.25(水)

二十五日。水曜日。曇。／學校ニ於テ此シナ事ヲ考ヘタ。ソレハ体操／ノ時間カラデアツタガ、体操ノ時ニ彫刻科／ノ奴等ガ不眞面目ニサワグカラデアツタ。自分／ハドーモアノ下品ナ者等ト一所ニナ

ツテ居ル事／ガ嫌デアル。ト云フト自分ハ如何ニモ尊大ヅツ／テ居ル様デアルガ。ソウデハ無イノデ眞面目ノ場／合ニハ充分眞面目ニヤリタイカラダ。ソレカラ自分ハ／引イテ我ガ美術學校ノ生徒ハ恰度職／工カナンドノ様ニ思ハレタ。ソレカラ考ヘテ見／ルト西洋画科デモ今デハ決シテ立派ナ／美術家ハ出来ナイ。唯ダ多クノ謂ハユル／畫工ヲ造ルノダ。見給ヘ 総テノ場合ニ於／テ皆ナ畫工トナルシタクヲシテ居ル。ソレハ／唯ダ手先キバツカリ動カシテ頭ニハ何ニモ／入レヨウトハ思テ居ナイト思ハレル。…／畫工…自分ハ之レヲ聞クトゾツタル。／何ト云フ理由力、自分デ分カラナイ。唯ダ／ソレハ賤イ業ト思ハレルノデアル。解剖／ノ時間ニ此ノ考ヘハ増々加ハツタ。誰レデ／アツタカ此ノ時間ニ久米先生ノ講義ニハ耳モ／カサナイ。モトヨリ筆記ヲシナイデ、其ノ動イテ居ル鉛筆／ハ他生ヲスケツチシテ居ルノデアル。嗚呼ドーシテ之レ／デ眞面目ナ美術家トナル事ガ出来ヨウカ。／畫工。畫工。自分ノ最モ賤シトスル畫工デ／甘セネバナラナイ。尊ブ可キハ理想ノ高尚デ／アル。如何ニ手ガ確カデアツテモ頭ガカラツボ／デハダメ。トテモ意味アル繪ハ畫ク事ハ出来／ル筈ガ無イ。シカシ腕ノ確カナ奴ハ頭ガ／空虚。頭ガアル奴ハ手ガ從ハヌノガ常デアロウ。／自分ハドーカシテ其ノ両方ヲ得タイモノダ。一枚／ノ画モ意味アルモノガ画キタイ。ガコウ思ツテ／モ自分ハ未ダホンノ此ノ美術ノ口歴ニ飛ビ／込ンダバツカリデ 心バツカリハヤツテモ トテモ／其ノ百万分ノ一モ現ハス事ハ出来無イ。シカシ／之レハ研究時代ダカラシカタガナイ。他日ハ必ズ／必ズ我ガ思フ事ヲ貫コウ。イヤ断ジテ貫ク。／三時半ニ學科ガ終ツテ上野カラ電車ニ飛／ビ乗ツタ－今日カラ上野品川間ノ電車開／通シ三錢均一ガ行ハレタ－万世デオリテガタ／馬車ニ乗ツテ商業學校ノ前マデ来テ下りタ 但／シ今カラ先日読賣ノ紹介欄デ頼マレタ杉山ト／云フ人ヲ訪フ為メニ。／夕食後即ト共ニ上野迄散歩シテ帰ル。

### 1903.11.26(木)

二十六日。木曜日 朝雨午后晴。／學校カラ一時半ニ帰ル。帰途種々ノ考ヘガ起／ツタ。ソレハ途中デ一人ノ筋骨タクマシ相ナソシテ／髪ハノビ ゴマ白ノクチヒゲハ ムシヤムシヤシテ居ル／乞食ヲ見テ之レヲ画題ニシタラト。之レハ此ノ／間同ジク一癖アリ相ナ乞食ヲ池ノ端デ見タ時／ニ起コツタ考ヘデアツタガ。若シ先日ノ乞食ト／今日見タ乞食ヲシテ或ル事ニツケテ争ヒノ起／コツタ時、即チ一人ハ銳イ眼光ヲ放チテ／他ノ奴ヲネメツケテ居ル場合、争ヒハ何ンデ／モヨイ 例ヘバ一個ノ銅貨ヲ争ツテ居ル／ノデモヨイ。之レヲシテ適宜ノ大サノ画面ニ納／メタラ定メシ立派ナモノデアロウト。之レカラ／考ヘハ嘗テ讀ンダゴルキーノシエルカツシユ／ニ移リ、シエルカツシユガ ノソリノソリ滝ノ傍ヲ／歩ンデ居ルノガ見ヘル様。思イハ更ニ飛ンデ／徳富蘆花生ノ上ニ及ンダ。之レハドーシタ／ワケデ此ノ所ヘ飛ンダカ知ラナイ。ダヽ遇然／デアツタロウ。健次郎氏ニ遇イ度イト云フ事／ハ決シテ此頃起コツタ事デハ無シ 既ニ遠ク／ノロデアル。ガ今日ハ殊ニソウ考ヘテ若シ／斯ノ如キ明治今日ノ文學一流ノ人ニ／知已ヲ持ツタナラ如何ニ幸ヒデアロウカト。／ドーカシテ知已トナリ度イ。シカシ之レモ別ニ難イ事デハ／無イ。今ニ其ノ機會ハアルデアロウ。無ケレバコシラヘル／バツカリダ。ニ時過ギニ帰ル。昨日約束シタ／杉山君ガ來テ居タ。四時前迄 水彩画ノ事ニツ／イテ話ス。彼レハ吳ニ内ヲ持ツトノ事ダ。四時カラ／ニコライ堂ニ寫生ニ趣ムキ五時過ギニ帰ル。／今日亦夕讀賣デとみ子

ト云フ人ガ水彩ヲ教ヘテ／呉レト僕ニ云ツテ居ル。

### 1903.11.27(金)

二十七日 金曜日。午后雨ニナル。／午食後 東洋美術史ノ講義アル前ニ動／物園デ白熊ト象ヲ寫生ス。象ハ実ニ／面白い。タシカニ情ガアルト見ヘテ長キ鼻ヲ／延ベテハ何ニカ意味アル様ナ風ヲスル。

### 1903.11.28(土)

二十八日 土曜日。晴レタ。／正午頃ニ黒田先生ガヤツテ来テ郊外寫生／ノ批評ヲシタ。先生ノ批評ヲ聞イテ居ルニ／ドモ自分ニハ全然感服ハ為シ兼ヌル。先／生ハ只ダ手ギワニ重キヲオイテ居ル。デアルカラ／イカニモ輕ルク パツパツトヤツタ様ナ絵／ガ氣ニ入ルノデアル 決シテ苦心シタモノハ取ラ／スラシイ。之レハ自分ハドーシテモイケナイト思フ 之レ／デハ研究等ハ出来ナイ。ダカラ先生ノヨイト云フ／様ナ絵ヲ画コウト思ヘバ輕率ナ重ミノ／無イモノバツカリガ出来ルデアロウ。ダカラドレモ／之レモ意味ノ無イ カンバンノ様ナ絵バカリガ／多ク出来ルノデアル。此ノ弊ハ學校ヲ通ジテ／皆ナ同ジダ。否ナ我国ノ油絵ハ皆ナ／之レデアル。自然ノ景色ヲ見テモ只ダ其ノ／色ヤ形ヲ寫スバツカリデ其ノ間ニ如何ナル／意味ガコモツテ居ルカ、如何ナル神秘／ガモレテ居ルカト云フ事ニハマルデ無頓着デ／アルノダ。…其レナラ自分ガ郊外寫生ノ成績／トシテ出シタ四五枚ノ絵ニドレダケノ／自然ノ意味ガ現ハレテ居ルカト云フニ／自分ノモ決シテ現ハレテハ居ナイノダ。アハ、／其レデハ矢張リ同ジ事ダ。人ノ事等ヲ／云フ可キ権利ハ無イ。イヤ待テ 決シ／テソウデ無イ。他ノ者等ハ其ンナ事ニハ少シ／モ注意シテハ居ナイ。其ンナ心モ無イノダ。／ガ 自分ダケハ確力ニ其ノ心ガアル。其ノ心／ダケテ充分ダ。此所ガチガツテ居ル。之／レニツイテ思イ起コスガ今秋ノ白馬会／ニ出ダ沢山ノ絵ノ内デ意味アルモノ／ガ何枚アツタロウカ。恐ラクバ殆ンド皆／無ト云ツテモヨイ位イ。只ダ和田英作／氏ノ思郷ノミガ絵ヨリシテ一ツノ意味ガ／現ハレ出テ居ル。他ハ一切無意味ダ。一一云／ハレモセヌガ目ニツイタモノヲ云フナラ、添乳(北蓮造)、／ナントツマラナイモノダロー 何所ニ画トシテノ價値ガ／アロウ。一ツノスケツチニ過ギナイ。此ノ位ノ画ヲ画ク／ニハ少ナクトモ父母ガ其ノ愛スル嬰児ニ溢ルゝ情／ヲソヽイデ居ル所ガナケレバナラナイ。畫室(湯淺)。／之レハ初メカラ畫題ニ意味ガ無イノデアルカラソレデヨイ。／花ノ香。(岡田氏)。二人ノ裸体女ガ立テ居ルニ過ギ／ナイ。秋。春。(黒田氏)。各バツクガ題ノ／如キモノデ裸体女ガ立テ居ル。少シモ分カラ／無イ。三十三年の役(安藤)。スケツチ風ノコン／ポジション。戦争ト云フ殺氣ハ少シモ無イ。諧／音(藤島)。之レモ少シモ意味ハナイ。半裸／ノ女ガ樂器ヲ圓シテ居ルノミ。相皮ノ感ノミ／デアル。此ノ他景色モ同ジテ只ダスケツチデ／アル。画ク時 既ニ物其ノ物ノミヲ寫ソウトシテ／其ノ心ヲ寫ソウトハ思ハナカツタノデアルカラ、仕方ガ／無イ。之等ニ比ブレバ和田氏ノ模寫セシ／ミレノ落穂ひろひ、又タ誰ガ作ノ海ノ景／色等、実ニ雲泥ノ差デアル。落穂ひろひ／ノ前ニ立タ時ハ実ニ一種ノ氣ニ打タレル。其ノ静カニ進ンデ来ル田舎女ハ如何ニ自然ノ子ナル農人ノ意ヲ現ハシテ居ルデアロウ。又タ／海ノ絵ヲ見ル時ニハ如何ニ自然ノ大ナル力ガ／現ハレテ居ルデアロウ。打チ寄スル波ニハ神ノ／無限ノ力ガ現ハレテ居ル。嗚呼 無意味ノ／ペラペラ絵ハ誰レデモ画ク事が出来ル。之／レヲナスノハ職工ニ過

ギナイ。難イノハ意味／アル繪ダ。之レガ画カレテコソ美術家デ／アル。後生ニ傳フ可キ名ガ得ラレルノデアル。／夕食後 渡辺鉄造君ガヤツテ来タ／帰ル時 縁ニ出テ見ルト十日バカリノ月ハ／高イ空ニ清ク輝ヤイテ、空氣ハ如何ニモ／透明ニ九段ノ方ノ燈ハ手ニ取ル様。／九時ニ寢間ニモグリ込ンデ美術史ヲ／読ンデ眠ル。今日午后 無名会ノ展覧／会ガ開カレル筈デアツタガ帰リタカツタノデ／見ナカツタ。

#### 1903.11.29(日)

二十九日 日曜日 快晴。／七時ニ起キテ外ヲ見レバ天氣ハ晴レ渡~~テ~~／居ルノデ大悦ビデ用意シテ握飯ヲモツテ／寫生ニ行ク 電車デ品川迄往ツタガ／別 画クモノモナイノデスケツチシテ再ビ引／キ返ス。辨当ヲ食フ為メニ山ノ方ニ往ク。／電車デ京橋迄、ソレカラ何時モノ永代／橋ノソバデ林ノ様ナ帆柱ヲ寫生ス／夕陽ヲ待ツ迄、買ツタ萬朝ヲ讀ミ乍ラ大福／ヲホ一張ツテ、時ニ汽笛ガ鳴ル時ニハ眼ヲ上／ゲテ見ル。天氣ガ良クポカく暖カイノデ馬鹿／ニ氣持ガ良イ。微風ヲ受ケテ幾十口ノ小船／ガ逆テ来ルカト思ヘバ其ノ間ヲ縫テ眞白イ蒸／氣ヲハイテハ出テ往ク汽船。近カクノ船ニハ／ヨリ面白ヒ光景ガ見ラレル。四五人ノ／眞黒ク日ニコゲタ船乗、其ノ持前ノドラ声／ヲ上ゲテ、シキリニ快活ニシヤベツテ居ル。傍ニハ／女房力。飯ヲタクト見ヘテ コバルト色ノ煙ガ／静カニ上テ西ニ去ル。帰ツテ来タハ五時／過ギデアツタ。

#### 1903.12.1(火)

十二月一日。火曜日。雨。／學校ニ行ク時ニ非常ニ曇テ居タガハタシ／テ午后ニナツテボツク降り出し帰ル時ニハ／篠ツク降リトナツタ。／今日ハ科外ノ英語モアルノデ残タ。講義／室ノストーブノ周囲ニ腰カケヲナラベテヤツ／タノハ甚ダ愉快デアツタ。室ノ内ガ早ヤ／ソロソロ暗クナツテ来タ頃ニ終テ帰ル／岩村先生、~~平~~井君ト共ニ電車ニ飛ビ込／ム／夜ハ筆記ダノ佛語英語ヲ復習シタ。／ソレデ寢間ニ入ツタノハ十一時過ギデアル。

#### 1903.12.2(水)

二日。水曜日。はれ。／起キテ見ルト昨日ノ雨ハアトカタモナク／美シキ空ニハ一片ノ雲モ見出ス事ガ／出来ナイ。富士ハ赤ク快キ朝日／ヲ受ケテ下ノ方ノ山モ新ラシク雪ヲ戴イ／タ 多分昨ノ雨ガソレデアツタロウ。學／校カラ帰ツタノハ早ヤ日没ノ頃デ／アツタ。夕食ヲ終ヘテ丸ノ内ヘ散／歩ス。高キ空ニハ月ガ清カニ静カニ／吹ク北風ハ身ニシミ込ム様。／帰ツテ美學ト解剖ノ筆記ヲ／十二時前迄ヤツテ眠ル。今夜眞一君／ハ本郷ノ下宿屋ヘ移ツタ。

#### 1903.12.3(木)

三日。木曜日。はれ。／午后 杉山ガ来タ。帰リシ後ニニコライヘ／寫生ニ行ク。風ハ漸ヤク寒ムクナリ手ノ／端ガヤハキカナイ。／學校デマリーニ ゴールデンエージヲ貸／テヤル。

### 1903.12.4(金)

四日。金曜日。快晴。／三時半二東洋美術史ガ済ムト直キニ／學校ヲ飛ビ出シテ電車ニ乗ツタ。今カラ／前・日曜日ニ画キ終ラナカツタ河口ニ／行クツモリデアル。例ノ如ク岸ノ傍ニ／腰ヲスヘタ。美シキ入日ナノデ空ノ色ノ／変化ガ実ニ面白い。北風ハ寒ムク／脊ヲ打ツテ来、指ノ端ハ感覺ヲ失フ／ソレデモ傍ニハ見テ居ル者ガアル。之レト／競走ノツモリデ勉メテ居ルト遂ニ見／物人モ寒ムサニ去テシマツタ。水夫ガ／岸カラ永ク尾ヲヒイテ船ノ名ヲ呼ビ／暫クニシテ遠ヨリ遙カニ答ヘル。丈高／キ帆船ハ船ト船トノ間ヲ小サキ汽／船ニ引カレテ静々ト入テ来ル 四辺の景／色ガ何トナク静カデ大キイ。フト振リ／返テ後ヲ見タ。アーメシイ。銀色ヲ／シタ圖抜テ大キイ満月ハ赤ク夕陽／ヲ受ケテ反射シタル船ノ帆柱ニ懸ツ／テ輝テ居ル。スケチブツクヲ拵ゲタガ／何トシテ画カレ様。自然ノ力ノ大ニ／シテ美シイノハ今更ノ様ニ感ゼラル。／再ビ元ノ様ニ下流ヲ眺メルト口／数ノ帆柱ハボンヤリシテ水ノ色モ／赤ク輝ヤキ点々ト舷燈ノマタヽキガ／見ラレタ。画ヲシマツテ立上ツテ帰ル／月ノ光リノ流ルヽ水面ヲ活潑ナル／小蒸汽船ハ不遠慮ニツキ破ル／跡ニ残ル波ハ何ト云フ美イ色ダロ／ウ 静カニ拵ガツテヤツテ来ルト泊／テ居ル大船ニブツカル。傳馬船ハ／無邪氣ニ波ノ上ヲ飛ビ廻ル様ニ／動ク。大船ハ恰モ之レヲ知ラヌ／様ニビクトモセヌ／帰リツイタハ五時半頃 夕食ヲスマシテ／本ヲ読デ居ルト勞カレニ何時カウト／ウトシ絶ヘズ面白い口トロジーヲ／頭ニクリ返ス。

### 1903.12.6(日)

六日。日曜日 快晴。／早ヤク目ガ覺メタ。午前二一番町ノ／教会ニ出ル。先日イーストレーキノ内デ／アツタ渡辺氏ニアツタ。／午后 牛ドモ寫生セント思ツテ飯田町ノ／停車所ニ行ク。丁度大學生ノ何トカ云フ／人ニアツタ 其レカラ中學校ノ時ニ二三度／話シタ事ノアル武尾氏之レモ今マ大學。／ソレニモアツタ 一所ニ乗ツテシナノ町へ降／リテカラ別カレタ。レールノ傍ヘ腰ヲ下／ロシテ白ヤ赤ノ牛ヲ暫シ寫生シテ帰ル。／此頃ニ珍ラシク暖カデマルデ春ノ様。／何ノ林カ早ヤ葉ハ全ク落チテ其ノ正直／ナ、何トモ云ヘナイヨイ形ノ梢ハ蒼イ空／ニ高ク野ノ草モ黃ロクウルワシイ。自／分ハ時々、モーグズくシテ居タラ皆ナノ／モノニ手ヲツケラレテ画ク所モ無クナリハ／シナイカト云フヨウナ事ヲ思フガ、自／然ト云フモノハ ソンナ小ポケナモノデハナイ／見ルモノ各ニ皆ナ繪デアル 一スジノ／水ノ流レハ空気ト光線トデ何枚／ノ異ナ繪ニデモナルデアロウ。黒イ林モ／其ノ通リダ。シカモ自分ハ動物ニ向テ／研究ノ筆ヲ染メントシテ居ルノデアル。／西洋画ガ日本ニ來テカラ僅カシカ／タヽナイトハ云フモノヽ 誰レトシテ之レニ／注目シタモノモナイ。此ノ広イ領地／ニ進ミ入ルノ趣味ハ口トドノ様デ／アロウ。今日ハ久シブリデ郊外ニ／出デタノデ何ヲ見テモ目新ラシクヨ／ロコバシイ。特ニ入ラントスタ陽ノ／斜ニ其ノ光線ヲ地ニナゲウチ凡テノ／モノガ ヤヽボンヤリ黃色ニ見ユル所ニ面白／イ服装ノベツトウガ裸馬ヲヒイテ ユルク前ノ／阪ヲ降リテ往クノガ実ニヨカツタ。帰リニハ／汽車ニモ乗ラズ、プラクト徒步ニシタ。コ／＼ラハマルデ東京トハ思ハレナイヨウニ田舎ラシイ。／多クノ小供ガ遊ンデ居ル。何時見テモ／小供位キレイナモノハナイ。星ノ様ナ／目、リンゴノ様ニ赤クナツタ頬、笑フ時ノ／リンカク、自然ハドコマデモ美シキモノダ。

### 1903.12.10(木)

十日。木曜日。はれ。／九時過ギニ學校ニ出ル 今週ハナチユーノルモートヲヤツテ居ルノデアルガ水彩デテコズツテ居ル。午后二時 例ノ如クノ杉山ガ来タ。六時頃デアツタ 日曜日／ニ停車場デアツタ竹尾君ガヤツテ／来タ。種々ノ談話ヲツバケテ九時頃ニ／帰ル。ソレカラ筆記ヲシテ先日カラ訳シテ居ル オデシヤス物語ヲ書イテ眠リニ／入ツタノハ一時半過ギデアル。

### 1903.12.11(金)

十一日 金曜日 くもり／寒イ朝ノ空気ヲ通シテ學校ニ行クノ／ハ何トモ知レズ愉快ト思ハレル。ナチュール／モ殆ンド画キ上ゲタ。午食ヲ早ヤク済マシテ文／庫ニカケツケ master in art ノ内ノ Millet／ノ傳ヲ讀ンダ。何度讀ンデモミレノ傳ハ決シテ厭カナイ 而モ英語デハ一層趣味ヲ／深力クスル。帰テ新聞ノ切抜キヲ帖／ニ張ル。夜ハ佛語ヲ調ベタガ昨夜充／分眠リ得ナカツタ故カ ネムクテ堪ラズ九時／ニ床ヲノベタ。

### 1903.12.13(日)

十三日 日曜日 快晴。／目ヲ覺マシテ見ルト今日モ良イ天氣ノ様ダ／床ノ間ニハ自分ノ絵ノ画キ上ゲタノヤ未ダ／出来ナイノガ立テカケテアル。自分ノ今ノ考ヘハ／実ニ面白イモノデアル。恰モ美シキ香バシキ花／ヤ甘ソウニ赤クナツテナツテ居ル果物ノ園／ヘ突然トヤツテ来タ様。自分ノ前ニハ／我が腕ノ力ノ及ブ限り取ル事ノ出来ル／モノガ数限り無ク在ル。自分ノ前ニハ広／キ美シキ光明ノ野ガ横テ居ルヨウ。実／際ドモ此ウ思ハレル。他ノ者ハ無意味／ニ義務的ニ例へ趣味ヲ感ジテ画イテ居ル／ニシテモソレハ淺薄ナモノデアル 只ダ皮想／ニシカ過ギナイ スケツチデアル。此ンナツマラン／果少ナキ事ヲヤツテ居ル間ニ自分ハ自分ノ／思フ所ヲドシクヤツテヤロウト思テ居ル。／水彩画ハ自分ノ獨舞台デアル。何ニ／今マハモトヨリツマナヌモノデアルガ一実際／ハ現今デモ自分ノ感心スルモノハ多クナイ／三宅先生一人デアル。他ハ取ルニ足ラ／ナイモノダ 大下氏デモ五姓田氏デモ一／嗚呼思ヘバ働く可キ事多ク其ノ範／囲ハ広イ。動物、景色、コンポジション／ソレカラ肖像画。肖像画、水彩ノ肖／像画ハ之レヲ画キ得ルモノ我国ニ一人／モ無イトハ何トアワレナ事デハナイカ。自分ハ／之レニモ occupation ヲ拡ゲルツモリデ／アル。嗚呼愉快。働く。天ノ／自分ヲ恵ム事ノ何ント広大デハナイカ。／顔洗イニ行ク。冷水ハ皮膚ノ上ニ／蒸発シテ恰モ煙ノ様。(朝カク)。／三田迄電車。九時三十分頃岡田先生ノ／宅ニ着ク 五島君ガ來テ居タ。先生と話テ居／ルトキニ來訪者ガアツタ。婦人デ何所カノ女學／校画ノ先生カ何ニカデ驚ク可キ雄辨／ダマツタ先生ノメイ惑モ思イヤレタ。小／烟君モ來タ。後チマタ來訪者ガアツタ／時ニ辞シテ歸ル。天氣ガヨイノデボカ／クト暖カク比日谷ノ公園ニベース／ボールスル少年ノ愉快ラシサ。午后／二時ニ帰り昼食ス。一郎氏<sup>24</sup>來ル。／午后ハ出ズニ画ク。今日先生ノ宅／ニ持チ行キシハ海岸ノ口景ト九段、／未成ノニコライ堂ノ三水彩画デ／先生ハニコライガヨイト云ツタ。一体／ニ色ガ濁ル傾ムキガアルト注意サ／レタ。／夜ハ goldenage ノ譯シタノヲ清書シタ／小年雜誌ニ投書シテ見ルツモリ。(後略)

### 1903.12.16(水)

十六日 水曜日 (雨)。／最ト寒ムキ朝ナリ 北風ヲコウモリ傘ニ／受ケテ急イデ居ルト頭ノ直グ上デ沈／ダ而シ何トナク力ノアル音デ大時計ガ／九時ヲ打ツタ。今週ハ僕等ノ方ノ／競技デアル。寒ムイ、寒ムイト云フテハ／石炭ヲホリコンダノデ ストーブハ眞赤。／寺崎君ガ云フニハ今朝来夕汽車／ハ雪ヲ眞白ニ戴テ居タト云フ。何カ知／ラズ面白口ク思タ。マリート僕ノスケツチ／ヅツクヲ見ツヽ話ス。モ一 winter becation／ガ近カクナルネ。アーウレシヨ。休ミニ／ナツタラ僕ノ下宿ヘ遊ビ来ナイカト云フト／一人デハ何ンダカ行キ惡イト答ヘル／ソレナラ bratherト來給ヘ。ア一、イイ。十一／時頃二昼食ヲヤツテ暫時木炭ヲヤ／ツテ文庫ニ行ク。サロンヤ何カヲ見テ居ルト／岩村先生ガヤツテ來テ、何ノ為メニ見ルノカ、／参考ニデモスルツモリカ、コンナモノヲ見テハ／絵ヲ画イテ居ルノダモノ立派ナモノガ／出来ル筈ガナイ。先生ニバビルゾン／ノ画家ニツイテ何ンゾ文庫ニアリマスカト／問フト先生自ラ本ヲ出シテ呉レタ ソレ／ハ Encyclopeadia Britanica ト／history of French art ノ二冊／デアル。history of French art ノ／内ニ peasant painter ト云フノガアル／ガ此レニバビルゾンノモ含マレテ居ル。先日／ master in art デ Millet ノ傳ヲ讀ン／ダガ其レヨリハムツカシイ 少シバカリ讀ンデ時／間ガ無イノデ此ノ次ニハ寫シテ置コウト思ツ／テ返シタ。學校ノ帰途天気ハ晴レテ／下宿ニ帰夕時ハ昨日ノ如キ赤キ夕陽／ヲ見ル事ガ出来タ。French ヲ調べテ眠ル。

### 1903.12.25(金)

二十五日。金曜日 快晴。／遂ニクリスマスモ來タ。此頃ハ毎日天氣／ガ続クノガ何ニヨリ嬉シイ。午前ニ／陣内君ガ來タ。午食ヲシテカラ飯田町カラ／イーストレーキノ宅ニ出力ケタ。平井、大概<sup>25</sup>ガ／來タ。四時頃迄 小供等ト遊ンデ歸ル／夕食ヲ済マシテ一番町ノ教会ヘト／弟ト二人デ早速出力ケタ。六時デア／ツタガ早ヤ一ペイノ人。毎年クリスマス／ノ晩グライ一種ノ氣ニウタレル事ハ無イ。／其ノ小供ノ無邪氣ナルお話ヤ唱歌／ハ何トモ知レナイ涙ヲ催サスノデアル／室ノ暖カナ空氣ハ小供ノ顔ヲ眞赤ニ／シテ今ニモハヂケ相。何時モ静カナ／会堂モ今日ノミハ小供ノ嬉キノ／声ニ満チテ居ル。赤ヤ白ヤ黄ヤ青ノリボン／ハ美シク着カザツタル肩ノ上長ク垂レテ居ル／黒髪ノ上ニ蝶ガ遊ブカノ如クニ／ヒラヒラシ、星ノ如キ美シキ眼ハ燈ノ／反射ヲ受ケテ輝ガヤイテ居ル。人間ノ／小供位世ニ美シイモノガ、又ト他ニ／アロウカ。壇ノ上ニ立チ今ヤ歌ハン／トル時 オルガン音ニ合シテ先ヅお／客様ニ相サツスル時 流ルゝガ／如キ垂レ髪ハ前ニ落チテ ソガ／小サキ胸ヲ掩ハントスルト可愛ユキ／手ハ静カニ之レヲ後ニカイヤルノデ／アル。男ノ児ノ活潑ナル嬉サハ其ノ／舉動ニ現ハレテ居ル。嗚呼誰レガ／何ント云ツテモ小供位美シクツテ／可愛イモノハ決シテ無イ。ゑんま／ヤ羊飼ト天使ノ活人画、ソレカラ／種々ト面白キ無邪氣ナモノヲ／見タリ聞イタリシテ教会ヲ出タノハ／早ヤ十時ニ近カカツタ。大地ハコゞ／ツテ寒ムキ氣ハ澄ミ渡テ居ル。帰リ／クリスマスノ菓子ヲ食テ眠ツタ。

### 1903.12.27(日)

二十七日。日曜日。快晴。／今日カラ今年の終リマデ五日間バカリ寫生／旅行ヲヤロウト思テ先日カラ用意シテ／居タ。先ヅ印旛沼近傍ガ大体ノ／目的地デ通運丸ニ乗船スル事ニ／シタ。六時前ニ眼ハ

覺メタガ余リ早ヤ／過ギルノデ尚ホ寢間ニ伏シテ居ルト／目覺マシ時計ガケタヽマシク六時三／十分ヲ報ジタ。デ ハネ起キテ用／意シテ下宿ヲ出タ。印旛沼傍／ハ海岸トハチガツテ余程寒ムイダ／ロウト云フノデ、ス的ナ用意ヲシタ。／ソレハシヤツヲ二枚着テ其ノ上ニ／チヨツキモ夏冬二枚ヲキコミ／古外套ヲ引ツカケテ首巻ヲマキツケ ソレニ毛布ヲモ用意シ／タ。肩カラ例ノ頭陀袋ヲ斜ニ／カケテ画架ヲワキニハサミ画紙／ノ粹ヲヒツサゲテ勇マシク大地／ヲ踏ミ出シタ所、人ハ何ト見タロ／ウ。町ノ店ノガラス戸ニウツル／ヲ見レバ マルデマリガ歩イテ居／ルカノヨウ。急イデ電車ニカケコ／ミ日本橋デ降リテ市場ノ雜／トウヲ通シテ蛎壳町ノ出船所ニ／行ケ。マダ小一時間ノ隙ガアル。／漸ヤク時ガ来タノデ第四通運／丸ト云フノヘ乗り込ンダ。室ノ外／ヘ日アタリノヨイ所ヘ腰ヲカケテ／見落スマイト四方ヲ眺メル。昨日／ハ稍々心配シタガ今日ハ中々ノ／好天氣。風ハ強イ様ダガ暖／カイ。コレハ用意ノ程ガアラワレタノ／カモ知レナイ。今朝カラ未ダ寒イ／ト思夕事ハーツモ無イ。イヤ シヤツハ／少シク汗ニ濕タ程デアツタ。本所／カ深川カ久シク町ノ中ノ河ヲ通ツ／テ漸ヤク町ハヅレニ出タ時ハ余／程 時カタツテ居タ。中河モ越ヘ／江戸川ニ出ル。川ニ逆テ上ル／国府台ヲ右手ニ見ル。此ノア／タリ両岸ノ景色殆ンド一様／デ稍々アキテ室ニ入ル。午食ヲ／済マシテカラ余程ノ後ニ運河／ニ入ル。水ガ少ナクテ船ノ進ム事／遅ク人ノ歩ミト多ハチガワナイ。此／所等少シク異ナツタ景色ヲ見ル。ヨウヨウノ事デ利根川ニ出タガ／早ヤ日ハ沈ンデ空ハ赤色ニ美シ／ク河ノ辺ニ繁ル蘆ヲスカシテ居／ル。コヽデ船ガ淺瀬ヘ乗り上／ゲテ久シクナヤンダ。洋々タル流／レニ沿ツテ下ル時ニハ船ノ進ミ／モ余程早ヤク車口ノ音モ勇／マシイ。日ハ全ク暮レテ月ガ寒ム／ク輝ヤク。室ニコロンテ他ノ客ノ／愚論ヤ氣焰ヲ聞イタ。安食／ニツイタハ八時半。コヽデ大国／屋ト云フ堤ニ沿フタ宿ニ／入ル。

### 1903.12.28(月)

二十八日 月曜日 くもり。／目ガ覺メタ時ニハ夜モ明ケテ戸ノ隙／カラ障子ヘ光リガサシテ居ル。起キテ／近所ヲ散歩ス 利根ノ流レハ冷／タク流レ水田ノ水ハ皆ナ氷テ／居ル。食ヲスマシ辨当ヲモラヒ宿料／（四十一錢ト云ツタガ五十錢ヤツタ）ヲ拂／ツテ南ヘト進ンダ。早ヤ直キニ印／旛沼デアル。沼ニハ之レト思フ程／ノ景色ハ無イ。丁度三津口カラ／沖ヲ眺メル位ノ廣サノ湖ニハ案外／ニモニ本柱ノ船等ガ浮ンデ居ル。／沼ノ傍ハ廣キ洲デ美シイ色ノ枯草／ニ掩ハレ所々ノ水タマリハ氷ニハリツメラ／レテ居ル。堤ヲ沿フテ行クニ頭カラ／布ヲマキツテ目ト鼻ダケ出シテ居ルお／百姓ガ駄馬ニ乗テコツトコくヤツ／テ来ルノニ、或ハ赤毛布ノ成田参リニ／出クワシリ、追ツイタリシテまんざき驛／マデ来タ 丁度汽車ガ出ルノデ成田／マデ乗ツタ。成田ハ音ニ名高イ不動／サンノアル所デアルカラ殆ンド凡テノ／家ガ客シヨウバイノ様デアル。例／ノ客引ノ声ノオカシイ事 始メ停車場／カラ出タ時ニハ馬車カナンゾノ笛カ／ト思ツタ。牧場ノ事ヲ人ニ聞クト／之レカラ三里程デ遠山ト云フ所／ダトノ事。直チニ其ノ路ニツイタ。成／田ノ町ハ琴平ノ其レヲ小サクシタ／カノ様デアルト思ッタ。町ヲ／ハヅレテ山ノ方ニ登ル。此所等ノ／景色中々面白ロイ。ソレニ馬車／ガヤツテ来ル所、洋風デアル／遠山牧場ハ三里塚ト云フ所デアル／先ヅ宿屋ニ入ル。ソレカラ辨当食ツテ／牧場ノ役所ニ往テ来意ヲ告ゲルト／甚ダ親切ニヤツテ呉レ一人ノ別官／ヲツケテ案内シテ呉レタ。第一種第二種／等皆ナ

外国馬デアル。ソレカラ放牧ヲ／見ル為メニ出ル。広キ枯草ノ原ニ当才／ノ可愛ラシキ馬ガ幾十トナク遊ンデ居／ルサマ何トモ云ハレヌ。等シク草ヲ食／ヒツヽアツタノヲ頭ヲ上ゲ此方ヲ見ル／傍ニ寄ルト少シク逃ゲルガ再ビヨ／ツテ來、自分等ガ歩ルクト後カラ／コトコトヤツテ來ル可愛サ。ソレカラ／ニ才ノ方ヲ見テ歸ル。明日カラ寫生／ヲ初メルツモリ。牧丁二十錢銀貨ヲ／ヤツテ歸ヘラシ自分ハ宿ニ入ル。風／呂ニ入ツテ勞レヲ休マシタ食シテ／八時過ギ伏戸ニ入ル。

### 1903.12.29(火)

二十九日。火曜日。雨。／七時頃ニ起キテ見ルト天ハ曇テ今ニモ／降リソウ。云テ居ル内ニ ハヤ霧ノ様ナノ／ガ降リ出シタ。ヤー之レハガツカリダ。ガ／然シカマワント厩ニ出カケタ。早速／取り懸ル。午食ヲ食べニ帰テ再ビ行ク。／三時頃迄居テ歸ル。雨ハ漸ヤク／盛ニナツテ寒サモヒトイ。風呂ニ入／テ夕食ヲ済マシ火鉢ヲヒカヘテ新／聞紙ヲ読ンデ居ルト宿屋ニ／居ルトハ思ハレナイ様ナヨイ心地デ／アル。伏戸ニ入ル前ニ窓カラ仰デ／見ルト星ノ光リガ見ヘタ。ガ尚／ホ雨タレノ音モシテ居ル。

### 1903.12.30(水)

三十日 水曜日 快晴。／昨夜ハ絵ノ事ヲ考ヘタモノデアルカラ中／々眠ラレナカツタガ今朝モ余程早ヤク／目ガ覺メタ。ソレデ窓カラ空ヲノゾイテ／見ルニ嬉シクモ星ガキラクシテ／居ル。之レカラ夜ノ明ケル迄ノ待チ／遠ホサ。朝飯ヲ済マスヤ否ヤシタク／シテ飛ビ出シタ。(郵便局ニ寄リテ弟ヘ／端書ヲ出ス) カタク氷タ路ヲ歩ン／デ往ク。牧場ハ輝ヤク太陽ヲ／受ケテ其ノ黄色ニ枯レタ草ノ色／ノ美シキ事。遙カノ柏ノ森ハコン／モリト朝ノ空気ノ中ニ見ヘ／光線ヲ受ケテ面白口キ輪廓／ヲナシテ居ル。未ダ馬モ見当ラナイ。暫／時、近所ノ景色ヲ探ロウト画架ヲ／カツイデプラツイテ。一体ニ此所／等ノ景色ハ実ニ趣味アルモノデ／アル。廣キ路ハ人通り無ケレバ草一／面ニ繁ツテ其ノ中ニ 一スジ二條／ノ小径ガツイ居ル。廣キ方ニハ／ワダチノ跡ガ深カクツイテ其レニ／溜マリシ水ハ皆ナ氷テ居ル。／跡ノ傍ノ樹木ハ高ク梢ヲ拡／ゲテマキツク葛ノミガ深緑ノ美／シイモノデアル。牧場ニ帰リ画架ヲ／据ヘタ。小供ガヤツテ來タ。馬ハ未ダ／見ヘナイ。小供ガアシコニト云フノデ／フリ返ルト蹄ノ音 勇マシク五六頭／ノ馬ハ厩カラ出タモノカ勢込ンデ／ヤツテ來タ ダラく坂ヲ下ツテ見ヘズ／ナツタガ未ビアラワレタ時ハ向フ坂ヲ／上リツヽアツタ。而シテ小松原ノ内ニ／カクレタ。暫ラクスルト右手ノ牧場／ニモ イナヽキガ声スル。愉快デ／タマラナイ。其ノ方ヘト往テ見タ。幾十／ト云フ当才ノ馬ハ列ヲナシテヤツ／テクル。オクレタヤツニ疋バカリ自分ノ／方ヘヤツテ來テ暫時タチドマツテ／傍ニ口口テ群ノ方ヘ。画架ヲ／スヘルト、皆ナドソくトヤツテ／來テ自分ノ周囲ヲトリカコミ可愛／ラシ顔ヲツキ出シテ居ル。何ト／面白イデハナイカ。スケツチシテ／歸ル 二時過ギデアツタ食ヲ済／マシテ牛ノ牧場ヘト趣ムク。掛ノ／人ガ懇切ニ説明シテ見セテ／呉レタ。此所ニ入ルノハ皆ナ乳／牛トノ事デ外国種デアル。ホル／スタイン、エシヤ、及ビブラウンスイス／ノ三種ニ和牛ガ一疋居タ 之レ／ハ兵庫縣カラ東宮御結婚ノ祝／賀ニ獻納シタモノトノ事。今マハ／丁度 分娩期ト見ヘテ児牛ガ多／ク居タ 中ニモ生レテカラ僅カニ／三日シカナラナイ奴ノ可愛ラシサ。／之レデハ寫生セズニ歸ル事ハ出来／ナイ。明日カ明後日カヲ期シテ來ル／可ク約シテ歸ル。／夜散歩ス 月ハ冷ヤ

カニ牧場／ノ表ヲ輝シテ居ル。村ノ子ガ馬／ニ乗テポコく原ヲ通シテ買物／ニデモ来タノデアロウノニ遇ツタ 他ニハ／何モ動クモノモナイ。帰リ寢ニ／附ク。他客ガサワイデ眠ラレナカ／ツタ。美術概論ハ甚ダ我ガ／友トナツタ。

#### 1903.12.31(木)

三十一日。木曜日 くもり。午后晴。／今日モ馬ヲ寫生シニ行ク 白馬ヲ櫻ノ木／ニツナガシ日ノ光リヲ受ケテ寫生シタ。帰／ツテ例ノ如ク風呂ニ入り三十六年／ノ最後ノ夜ノ眠リニツイタ。

#### 1904.1.1(金)

明治三十七年。／一月一日 金曜日 快晴。／思ヘバ面白イ所デ正月ヲスル事デアル。／シカシ自分ハ今カラ何所デ毎年正月／ヲ向フルヤラ分カラナイ。故郷ニ於／テ新年ヲ迎ヘルト云フ事ハ多クハ／アルマイト思フ。起キ出テ面ヲ洗／ツテ待テ居ルト下女ガかん徳利／ト蜜柑ノ切ツタノ ソレト他ニ鯉ノ味／噌汁ヲ盆ニセテ來タ。暫時クシテ／雜煮ヲ食ツテ今日ハ約束ヲシテ／置イタ牛ノ方ニ出懸ケタ。黃色ニ枯／レタ草原ト晴レ渡タツタ濃キ蒼空ノ／間ニ光ヲ充分ニ受ケタ斑ノ牛ノ／遊ンデ居ル其ノ美シサ。天氣ハ／ヨカツタガ風ガ漸時吹キツノツ／タノデ画クノヲ止シテ歸ル事ニシタ／ソレカラ直チニ帰京シタクナツタカラ辨／当ヲ食シテ宿ニ帰リ金ヲ拂ツテ／成田ヘト向フ。汽車ハ四時五十五／分ニ出ル 約一時間ヲ待タナ／ケレバナラナイ。コヽデ日本画ノ三橋／君<sup>26</sup>ニ遇フ。切ニ一夜宿テ行ケト云ツ／タガ辞シタ。乗車シタ頃ハ早ヤ外ハ／ホノ暗ク、シバラクシテ月ガ松林ノ上／ヲ走テ居ルノヲ見タ。右手ノ窓／ヨリ山ト山トノ間ニ僅カバカリノ家／村ガアツテ其ノ先キニ印旛沼ガ／白口ク横テ居ルト見タガ心／ノ中ニ久シク忘レラレナイ景色デアル。／佐倉デ乗換フ。同ジ車室ヘ／兵ガ五人バカリヤツテ來タ 其ノ黒ク／テカク光テ居ル礼帽ハ頭ノ前部／ヲオホウテ ヒサシノ陰ガ林檎ノ／様ニ赤キ顔ヲ半分カクシテ居ル。／汽車ガ進ムニツレテ軍歌ヲウナルノ／ガ面白ク無邪氣デアル。／七時頃本所ヘ着ク ソレカラ両／国ヨリ自分ガ居ナカツタ内ニ開／通シタ街鉄ニ乗テ歸タ。帰テ／見ルト下女ガ暫時シテ來テ／シキリニ コトワリヲ云フ。何カト云ツテ／モ中々云ハナイ シバラクシテ盜賊／ガ去ル三十日ノ夜ニ入テ金ヲ二十九／円ソレカラ書物ヤ何カヲ以テ去タト／云フノデアル。後ニサガシテ見タラ夏服／ト懷中時計モ失ハレテ居タ。マー／何ンデモヨイ 眠ムタイト伏戸ニ入ル。

#### 1904.1.3(日)

三日 日曜日 晴。／七時過ギニ起キ九時頃ニ教会／ヘ集マル。夜 年始状ヲ四五枚／出シタ。早ヤク眠ル。

#### 1904.1.5(火)

五日 火曜日 晴。／一時頃カラ回礼ニモト出タ。麻布デ／柿崎氏ヲ始メテ訪フタ。昨年ノ夏／前ヨリ此地ニ來テ高田商会ヘ出／テ居ラレル由ハ広島ノ南カラ聞イ／テ居タガ隙ガ無イノデ今日ハ始メテ／主人ハ不在デ奥サンガ丁寧ニ／モネナシテ呉レラレタ。暫時居テ／辞ス。岡田先生ノ宅ニ往ク

先生／モ不在。ソレカラ芝ノ日高ヲ訪フ／筈デアツタガ何トナク氣ガスヽマナカ／ツタノデ他日ニ譲テ今日ハ遅ク／モアルシ電車ニ乗ツタ。日本橋／デ降リテ柴崎逸郎氏ヲ訪フ／之レモ不在。新年正月ノ事デ／アルカラ町ノ賑ヤカナ事 何ノ電／車モ一パイデ満員ノ札ガブラ／下テ居ナイモノハ稀デアル。白木屋、／三井等ノ見本ガ列ベテアル前ニ／人ダカリガ夥シイ。帰ツタ時ハ／日ガ暮レテ居タ。食ヲ済マシテ／新聞読ム。萬朝ハ号外ヲ／出シテ事態愈ヨ重大ヲ報ジタ／此ノ勢デハ日露戰争モ近日／ニ聞カレル事デアロウ。

#### 1904.1.8(金)

八日。金曜日。快晴。／今日ハ學校始メデアルノデ早ヤク起／キタ。此頃ハ中々ヨク天氣ガツヽク。／食ヲ済マシテ學校ニ出ル。門カン／ノ所ヘ年賀状ガ沢山来テ居ルノヲ／自分ノヲヨリワケタ。九時カラ式ガアル／筈。鐘モナツテシバラクシテ二階ニ／登ル 校長ハ欠席デアツタ。生徒モ／至テ少ナイ。御眞影ヲ先生カラ一一／參拝シテソレデ式ガ済ム。帰途／約束ガアルノデ千駄木ノ竹尾君／ヲ訪フ。往テ見ルト水彩画ヲ三／枚バカリ壁ニハリツケテ居ル。中々／無邪氣ダ。ソレカラ繪具箱ヤ水／筒モ新調シテスケツチブツクモ持／テ居ル 中ヲ見ルト昨日寫生シテ／來タト云フ何ヤラワカランモノガアル。／十二時ニ帰ル。午后逸郎サンガ／來タ。先日カラ下宿ノ事ニツイテ僕／ニ相談ヲモチカケル。自分ハアマリ氣ガ／進マナイノデコトワツタガ中々シブトク／談ジツケルノデ ウルサクナツテ來タ。丁／度 時永君ガ來タ 逸郎サンハ帰／テ時永君ダケ残リ日ガ暮レル／迄話ス。内カラ手紙ガ來タ／換替ガ再ビ三十円來タ。氣／ノ毒ノ感ガ深カイ。手紙ノ中ニ木／村久太郎氏ガ桑港ヨリ起コシタ／葉ガキガ入テアツタ。木村モ中中／英文字ガタシヤニナツタ。夜ハ／筆記シ又タ歴史ヲ讀ム。

#### 1904.1.9(土)

9. 土曜日 はれ。／學校ニ出ル。誰レモ休日ト思テカ／來ルモノモ稀デアル。約束ニヨリ／竹尾君ガ兄弟十時頃ヤツテ／來タ 海岸ノ方ニ散歩シ又タ竹／尾君ガスケツチヲヤルト云フ。越中／島ヲ過ギテ田舎ニ出 中川ノ堤マ／デ來タ。日暮レテ帰ル。

#### 1904.1.12(火)

十二日 火曜日。／マリー君ガ本ヲ返シテ呉レタ。若シ／僕ノ所ニアツタナラ先日ノドロノ時ニ持テ／行カレタデアロウガ幸ヒノ事デタスカツタ。／歴史ノ時間ニナツタガ試験ハナカ／ツタ。例ノ先生ノ面白キ談話デ愉／快デアツタ。丁度歴史ニ油絵ト云フ／モノガ出来タ事ニツイテノ理由ノ所デ／ツマリ物ヲアラワスニ油ヲ混ジテ自分ガ／思フ所ヲ画ク為メニ出来タモノデ決シ／テ目的ガ無イノデハ無イ ソレニ日本ノ洋画等／ハ油絵具ガツテ初メテ西洋画ヲ画コウト／口口マルデ本末ヲテントウシテ居ル。画ヲ画／クノデモウワノ空デ箱ヲブラ下ゲテアツチヘ／ブラくコチチヘブラブラ。何ヲスルノヤラ少シモ／分カラン。マー最モ良イ所ガ田ノ中ノ／方デ寫生シテ居ル所ヘ親類ノ者力何／ニカヽ來テ ヤ一寫生シテ居ルト云ハレル／位ガ最モテギワノヨイ得意ナ所デ／アルノダ。アレデ何ガ出来ルモノカ。／口外ノ英語ノ時モ遂ニ五時頃迄／皆ナデ話シテシマツタ。之レモ中々面白／イ。事柄

ハ万朝報ニ和田先生ノ悪ノ口（ソレハ先生ノ作ナルコダマハコランノ模ノ寫ダトカ云フノダソーダ）ガ書イテアルト云フ／事カラ之レハ學校ノ中ノ者ガ出シタノダ。／實ニ卑劣極マル事ダ。何ニ此頃ノ美術／家ト云ハレル者位シツトガ強クテ卑劣／極マルモノハ無イ等カラ日本画ノ優点／之レヲ保存スル事等。ソレカラ今ノ學校／ノ日本画家ノザマノ見ラレタモノデナイト／云フ先生ノ話シ マ一何ヤラカヤラ分カラシ／寫生シテ居ル所ヲ見ルトマルデ洋画／極ク極ク幼稚ナ所ヲヤツテ居ル様ナ者／ダ アレデハ切角ノ日本ノ優点ヲブチコワシ／テシマウノデ実ニ惜イ事デアル。ガ皆／ナ氣力ノアル奴ハ無イノデ、之レモウワノ空デヤツテ居ルノダカラ仕方ガ無イ。一／タイ最早ヤ皆ナノ頭ハ殆ンド洋／画ノ意想トナツテシマツタ。今ノ豫備／デ日本画志望ノ者モ皆ナソーデアル／漸々世ガ進歩スルノニツレテ之レハ／仕方モナイ。學校ノ生徒ヲ統計／シテ見ルト実ニ面白イ現象ガアル／ソレハ西洋画科ニ入ルモノハ東京ヨリ／ハ東北ノ人デハ無イ 殆ンド西南／ノ人デアル。同時ニ日本画ニハ東／ノ北ノ人ガ多イ。之レハ西南ノ人ハ／東北ノ人ニ比ベルト余程文化／ノ度ガ異ナルカラデアル。…之レハ実／際中々面白イ。／學校ヲ出タ時ハ薄暮デアツタ／岩村先生ハ僕ノ為メニワザワザ／自轉車ニモ乗ラズ万世橋迄／同道サレタ。途中面白イ談話／ヲ続ケタ。筆記シ十二時眠ル。

#### 1904.1.17(日)

十七日 日曜日。くもり。／昨日カラヤリカケテ居ル水彩＝ソレハ小松宮ノ元ノ屋／敷ノ破レカヽツタ門＝ヲ画ク為メニ早ヤク起キタ。六／時過ギニナツテ漸ヤク雨戸ノ隙カラ光リガサシ出シタ／ノデ出タ。門ノ側ニ座シテ居ルト顔ヲカスメル朝／風ハ馬鹿ニ寒ムイ。往来ノ側デアルカラ人ガ見ルデアロ／ウト思ツタガ－ソレハ心配ニ及バナカツタ。コノ寒ムイ／朝早ヤクカラ誰レガ立テ見ルモノカ。シカシ尚ホ活／澁ナル中學カノ少年、ソレヤ牛乳ビンヲ持タ男ヤ新／聞配達ハ暫時ク立テ見テ往ク。寒ムイノデ氣／ダケハ常ニ何ニト思テ居テモ腰ガブルフルヘルノハ／仕方ガ無イ。七時過ギ帰ル。午前ハ之レモ昨／日カラ初メタ油絵ノ自画像ヲヤル。人ヲ画ク事ノ／経験ガ少ナイノデ実ニ難イ。午后日比谷公園／ヘ散歩ス。日ハ雪ヲ含デ居ル 雲ニ陰レテ寒イ／風ハ常ニ北カラ南ニ走テ居ルガ ソレデモサスガハ／少年 体操機械ノホトリハ一群集マツテシキリ／ニ遊ンデ居ル。僕モ一所ニナツテユリ棒ニ乗タリ／廻施トウニブラ下ガツタリシタ。／夜ハ美術史ヲ見テ眠ル。

#### 1904.2.1(月)

二月一日 月曜日 はれ。／學校ヘ出ル前ニ父上カラ書留郵便ガ／来タ。封ノ中ニ米国ノ兄上カラ父上母上アテ／來タ手紙ガ入レテアツタ。見テ自分ハ感涙／ニムセンドノデアツタ。兄上ハ實ニ自分ヲ信ジ／テ居ラレル事ガ斯ノ如キデアルカ。自分ノ為ス／事ニ此レ程迄ニ力ヲソヽイデ注意シテ居ラレル／カ。薰造君ノ成功ハ私ノ成功ト思フトハ／何タル慈愛ノコモツタ言葉デアロウ。嗚呼／斯ノ如キ廉平兄ヲ持タ幸ハ實ニ神ニ／謝シテモトテモ及ボナイ。／今週ハナチュールモートデキぢヲ画ク。文／庫ニ色々ナモノガ陳列サレタ。中ニ一昨年／ノ白馬会ニ出タ外国人ノ画イタ水彩ガ／多ク出テ居タ 其ノ絵ノヨシ悪ハサテオイテ／其ノ緻密ナル事。實ニ其ノ根気ノ強キ事／ニハ驚イテシマウ。力ク如ク細カニ画ケテ／後ニ初メテ略ス事モ出来ルワケデアル。／ハジメカラパツクトヤツテハトテモ

／立派ナモノ出来マイ。深カク味フ可キ／事デアル。／月ハ夜ニナツテカラ寒ムキ凍タ東京ノ町ヲ／晴ラカニ輝シテ居タ。

### 1904.2.7(日)

七日。日曜日。くもり。／朝起キテ見ルト毎朝ノ様ニ霧ガ町ヲ掩フ／テ美シキ赤味ヲ帶ビテ居ル 其ノ中ニ霜デ／白ロイ屋根ガ四角ニ櫻ノ枝ヲ通シテ／見ヘルノガ中々キレイ。朝食ヲ済マシテ／昨日画キ上ゲタきじノ油絵ヲ以テ岡／田先生ヲ訪フ事ニシタ。電車ヲ芝デ下リテ三ノノ橋ヲ渡ツタ。先生ハ未ダ起キテ居ナイ。／少シ待テ居ルト二階カラ今起キテ下リテ来ル。／二階デ例ノ如ク待テ居タ。実ニ愉快／ナノハ先生ノ室デアル。額ヤ書物ハ所セマク／置カレ白ロイ寢床ハ如何ニモ心持ガ／好サ相。五島君ガ来タ。今カラ ラツファエ／ル、コランノ絵ヲ模寫スルト云フ。後ニモ／一人客ガ来タ。後デ聞ケバ日本画ヲ／画ク人ダトノ事。先生ハ僕ノ油絵ヲ見テ／未ダ水彩程馴レテ居ナイト云ワレタ。／ソレカラ水彩画ノ事、絵具ヤ水ヤニツイ／テ利益アル事ヲ聞イタ。今日ハ余程／長クナツタ。日比谷公園ヘ來タ時、新／聞ノ号外屋ガサワガシク鈴ヲナラシテ走テ／居ル。其レニハ宣戰ノ勵ガ二三日ノ内ニ／出ルデアロウト第一ニ書イテアツタ。動員／令ハ既ニ一昨夜デアツタカ昨朝デアツタカ／下ツタノデソレデ撰科一年ノ松井君モ／一寸來タガ直チニ帰ルト云フ。學校ノ／門マデ送テ握手シテ別カレタ。実ニ軍人／ナラザル軍人ナノデ氣ノ毒ノ感ニ打タレタ。／中村君モ來週ハ最早ヤ來ナイカモ知レヌ／ト云フ。デソレクニ別カレヲ告ゲタ。中村／君ハ壱昨年カラゾート一所デアル。松／井君ハ昨年ノ九月カラ來タノデアルガ／僕ハ少シノ間ニ久シキ親友ノ如ク思テ／居タノデ何トナク同情ノ念ガ深カク／湧イタノデアツタ。……歸ツタ時既ニ／二時。午後ハ曇テ來テイヤニ寒ムイ／内海ヘ手紙ヲ書イタ。夕食後本郷ヘ／往ク。歸テ筆記モノヲス。外ニハ雪ガ／チラクシテ居ル。隣室ニヒドクサワグノ／デ嫌ニナツタ。ソレデ下宿屋ノ世話モ／実ニ嫌ニナツテ來タ。我ガ家或ハ広島ノ／南ノ事ヲ深カク慕ハシク思ハレル。十一／時ノ鐘ハ上野カラカスカニ聞ユ。ヤカマ／シカツタ外号ノ声モ隣室ノ笑声モ今マ／ハ全ク静マツテ只ダ寒ムイ氣ガ身／ヲ掩フ様。

### 1904.3.6(日)

三月六日（日曜日）。くもり。／久シク書力無カツタガ然シ別ニ書キ附ケル程／ノ事モ無カツタ。先日カラ裸体ノcomposition／ヲ考ヘテ昨日木炭デデツサンヲ画キ今／朝カラ絵具ヲ塗ツタ。懸賞競技デ二十五／号ノカンバスデアル。昨日ハモデルガヤツテ／來タ。ソレハモデルバニ頼デ置イタノデアツ／タガ雨ガ降ル最中 車ニ乗テ來タ。四十銭／ノ車代ヲ拂ハサレタノハ ガツカリテデアツ。／ガツカリモ之レダケデハ無イ。來タモデルガ／実ニキタナイノデ手ヤ足ハ松ノ皮ノ様ニガチ／くシ ヤセテ長イノデ バニガ云ツ事ト少シモ／合テ居ナイ。寒イノデ火鉢ニ火ヲ起コ／シテ一時間バカリヤツテ遂ニ帰シテ／シマツタ。モーモルヲ用カワズニ画イテ／見ルツモリ。裸体ト云フ事ハ自分ニ／ハアマリ好マナイ所ナノデアル ソレデ裸／体デハアルガ小供ヲ画ク事ニシタノデアル。／裸体画ノヨイト云フ所モ僕ニハ分カラン。／アマリヨイトハ思ハシ。ミレノ祖母ノ手紙等／ヲ見ルトドーシテモ余リ高尚ナモノデアル／トハ思ハレナイ。ガ自分ガ漸々新ラシキ／智識ヲ得タ後ニハ今ノ自分ノ考ヘガマ

チガイ／デアルト知レルカモ知レヌガ、大体ニ於テマチ／ガイトハ思ハレヌノデアル。／此頃 マダサマデ暖カデハ無イガ然シ天氣／ノヨイ時ハ甚ダボカく 今日ノ如キ雨デモ／糠ノ如キモノデ吹ク風モ ポーツ暖カ／ク感ゼラル。昼食シテ日比谷へ散歩ス。／遊ンデ居ル人モ多カツタ。

#### 1904.4.2(土)

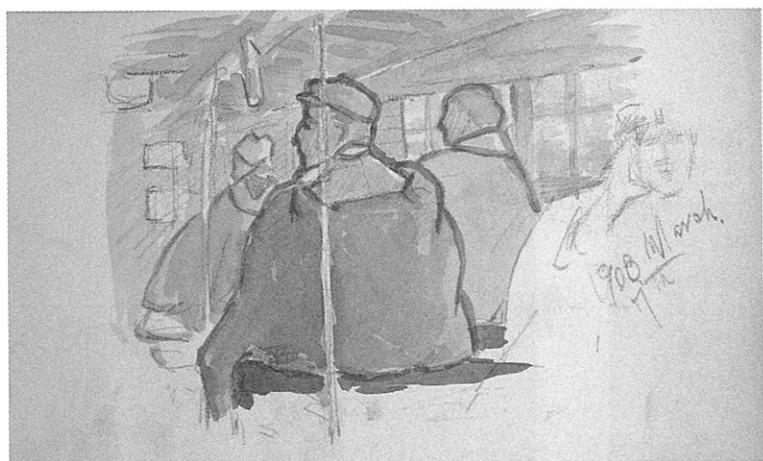
四月二日。土曜日 クモリ。／二週間前デアツタ 米国ノ廉平兄カラ手紙／ガ来タ。悦ビ勇ンデ學校ノ前ノ庭ノ芝生ヘ／コロンデ開イテ見タ。之レハ一月ノ末ニ送タ手／紙ノ返事デアツタ。ソレハ自分モ早ヤク米国ヘ／行キタイト書イテヤツタノデアル ソレデ返事ニ／ハ渡米シテヤツテ來タラヨカロウト書キ色々／ノ注意迄カイテアルノデ ウレシクテタマラナカツ／タデアル 其ノ夜 父上ヘ宛テ＼右ノ趣キヲ／書イテ送タ。其ノ返事ガ今日來タ。至極／簡単ナモノデアル。ソレハ手紙ノ儀ハ暫時／不同意ナリト云フノデアル。実ニアツケ無イ／モノデ父上モ最少シ熟考シテ被下レバ／ヨイニ單ニ之レダケデハ如何ニモ僕ハ小／供アツカイニセラレタ如ク感ジタ。ソレト尚／ホ他ニ“今デモ尚ホ医ノ方ヲヤラン事ヲ望ム”／トノ意ガ書イテアル。嗚呼実ニ不愉快／ニ耐ヘラレナイ。父上モ余リニ決心ガ出／來カヌル事ガ甚ダシトイ心ノ内ヘ浮ビ／出ルノデアル。ガ モトヨリ ソンナ事ヲロニ出シテ／云フ可キデハ無イ 只ダ紀念ニモト思テ書イ／テ自分ノミ見ル為メニスルノデアル。ヨク友人／等己ガ父ヘ對スル不平等ヲグチッポク／話スノヲ聞クガ僕ハ決シテソンナ事ハシナイ。／イヤ決シテ出来ナイノデ若シ此ンナ事ヲロニ／出シテ人ニフレアルク事ハ大ナル恥ト思テ居／ル。父上ガ米国行ヲ少シノ考ヘモセ／ラレズシテ直チニ不同意ト云テ起コサレ／タノハ一時ノ感情ノ為メデアロウ。何レ／面会ドモシテ ユツクリト話サナケレバナラナイ事／デアル。／今日來タ端書ハ実ニ自分ニ取ツテハ不／快ニ耐ヘラレナカツタ（他ノ事モ少シク面白ク無／ク感ジタ事ガ書イテアツタ）、ガ此頃ヤ＼モスレ／バ浮キ立チテ空トナラントスル自分ノ心ニ／打擊ヲ加ヘ、静マレくト云フカノ如ク／感ゼ口何ンデモ着実ニ勉強シナケレバ／ナラスト深力ク思タ。大能ノ神ハ実ニ／常ニ種々ノ法方ヲ以テ自分ヲ導キ曲ラ／ントスル所ヲ直ニ、下ラントスル所ヲ引キ／上ゲ給フノデ不思儀ト思ハレル。カ＼ル事ハ既ニ幾度モ感ジタ事デアル。／勉強！ 勉強！ 画！ 製作！ 之／レヨリ他ニ何レノ事業ガアロウカ。又タ何／ノ慰セキガアロウカ。自分ノ画ガ拙／ナ為メニ父上モ信ジテモ下サラナイ。コロオ／モソウデアツタデハ無イカ。ヤガテハデアル。ヤガテハデ／アル。

#### 【註】

- 1 宗像眞一。眞一の妹・カツは、後の南薰造夫人
- 2 渡辺鉄造 (1885-1980)。広島県(大阪府の説もあり)出身。中学時代の友人。帝國大学で政治を修め、1910年からイギリス、ドイツ、ベルギー等に留学し経済学を研究。帰国後、母校に経済学部を創設
- 3 河井俊か。中学時代、南は河井家をよく訪れ、俊の弟・張とも親しかった。俊の妹・鏡は、南廉平夫人
- 4 宮本正貫。南が卒業した広島中学校の校長。1901年より同職を務める。
- 5 渡辺省三 (1884-1970)。松山省三。広島市出身。官展や院展洋画部等で活躍。カフェ・プランタンの開業者

- 6 正宗得三郎（1883-1962）。岡山県出身。大正時代に渡仏。二科展や二紀展で活躍
- 7 平井武雄（1882-1943）。北海道出身。比留間賢八を中心とする美校のマンドリンの同好会で南と交友。美校卒業後に渡米。アメリカでは柳敬助らと交流。日本水彩画会等で活躍
- 8 永田二郎（1883-1971）。埼玉県出身。日本水彩画会等で活躍
- 9 南實。後に上京し、写真家として活動
- 10 塩崎一郎（1884-1974）か。
- 11 服部恵夫か。
- 12 富士見町教会の前身（1906年より富士見町教会）。当時、植村正久が牧師を務めていた。
- 13 天野進作か。
- 14 寺崎武男（1883-1967）。美校卒業後イタリアに留学、エッチングを学ぶ。日本創作版画協会展等で活躍
- 15 橋本邦三か。
- 16 斯波義辰
- 17 江南武雄か。
- 18 榎本彦（美彦）（1884-1912）。美校在学中、白馬会展に出品
- 19 中村梅吉か。
- 20 児島虎次郎（1881-1929）。岡山県出身。美校卒業後、渡欧。ベルギーに学ぶ。
- 21 マリー・イーストレーキ（1886-？）。美校を卒業した最初の女性。なお、イーストレーキ邸で植村正久を迎えて行われていた伝導集会が、後の富士見町教会の母胎となっている。
- 22 柳敬助（1881-1923）。千葉県出身。1903年渡米し、荻原守衛、戸張弧雁、高村光太郎、平井武雄らと交遊。文展、帝展等で活躍
- 23 児玉末男か。
- 24 宗像一郎か。
- 25 大槻式雄（二雄）。平井と同様、南とはマンドリンの同好会でも交友があった。
- 26 三橋信吉（1885-？）か。

（ふじさきあや／当館主任学芸員）



1 1903年3月7日



2



3 1903年4月4日



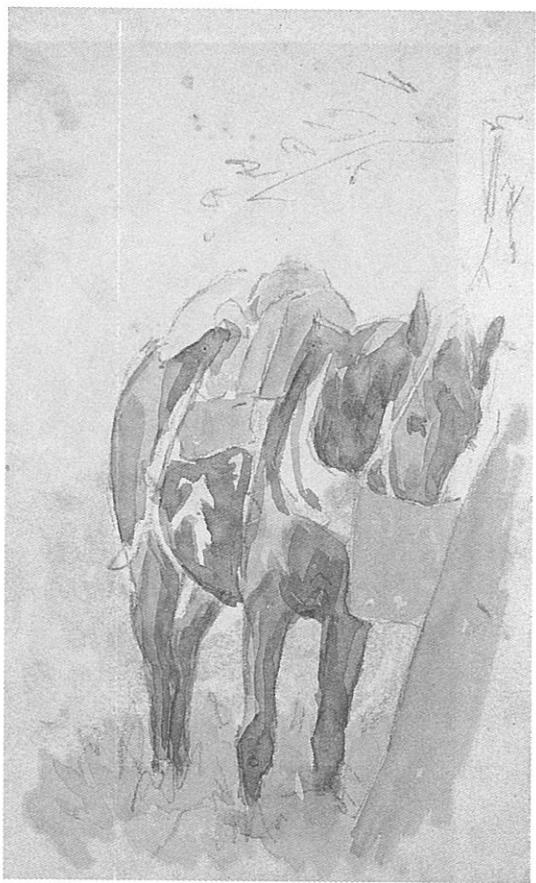
4 1903年4月15日



5



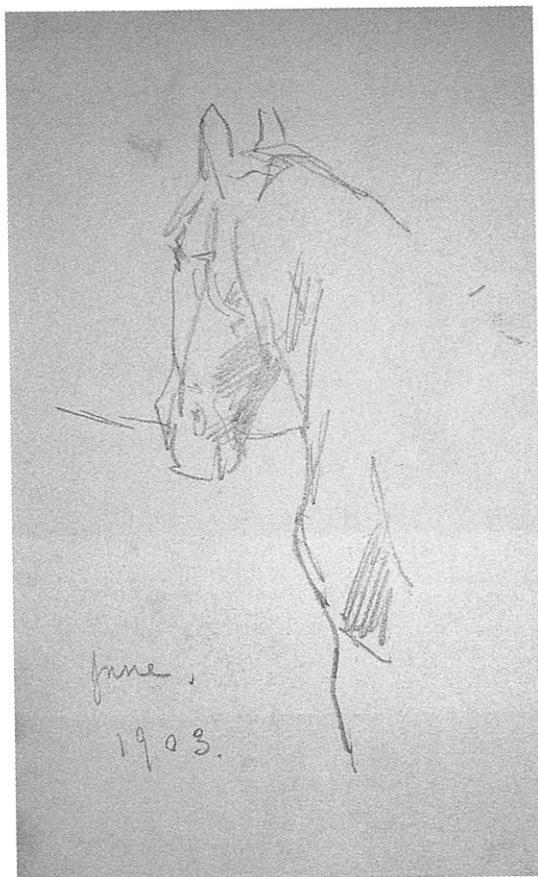
6



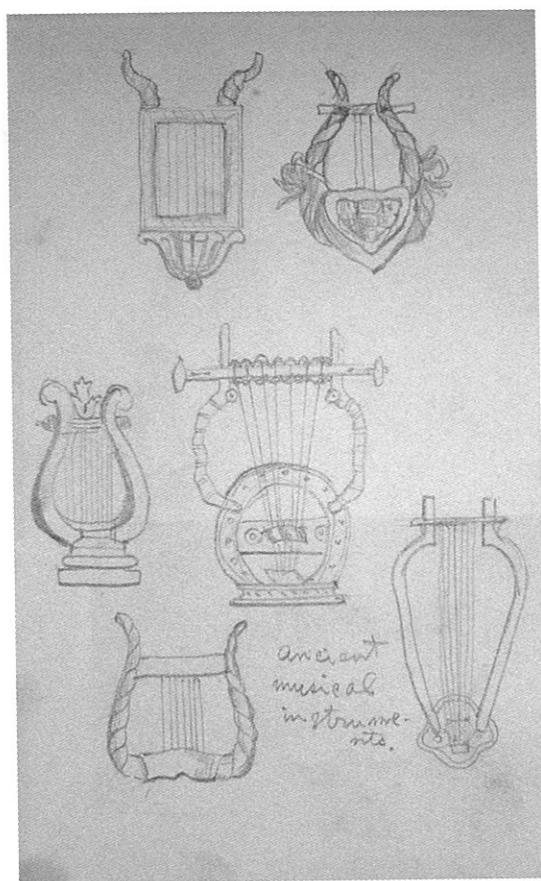
7



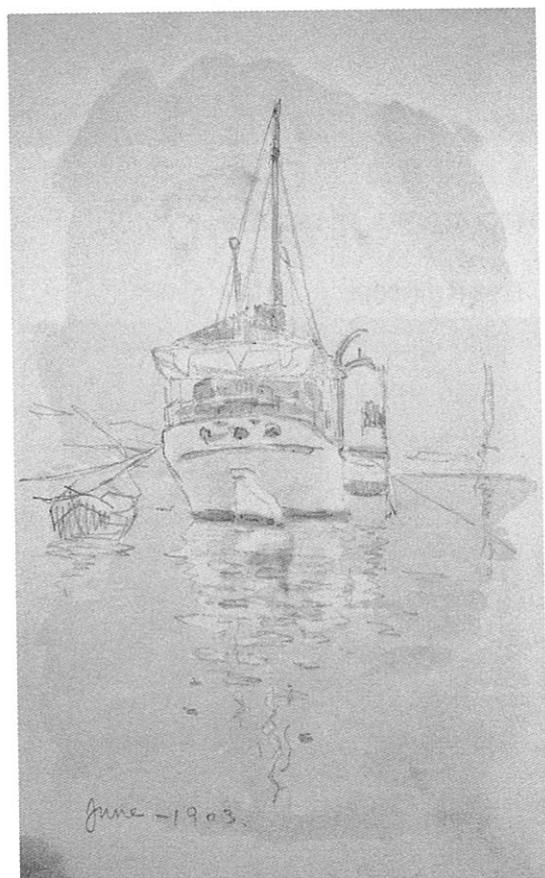
8



9 1903年6月



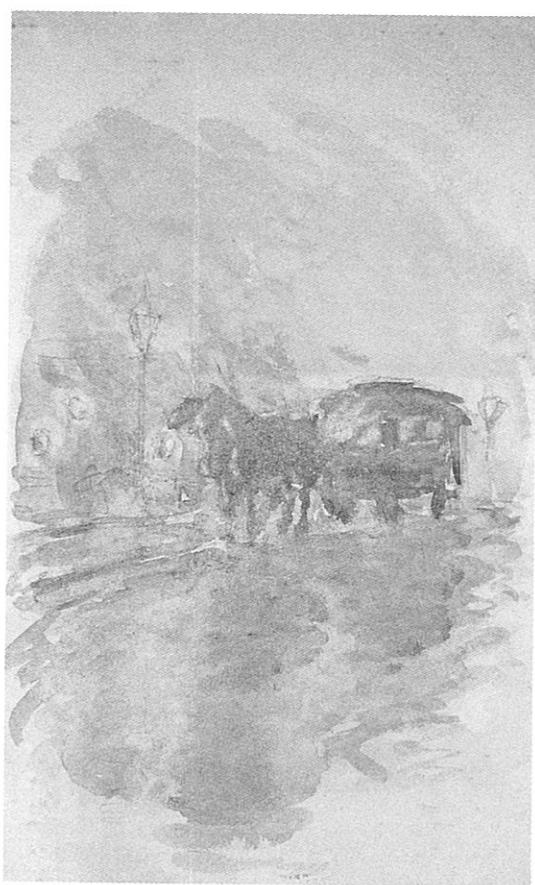
10



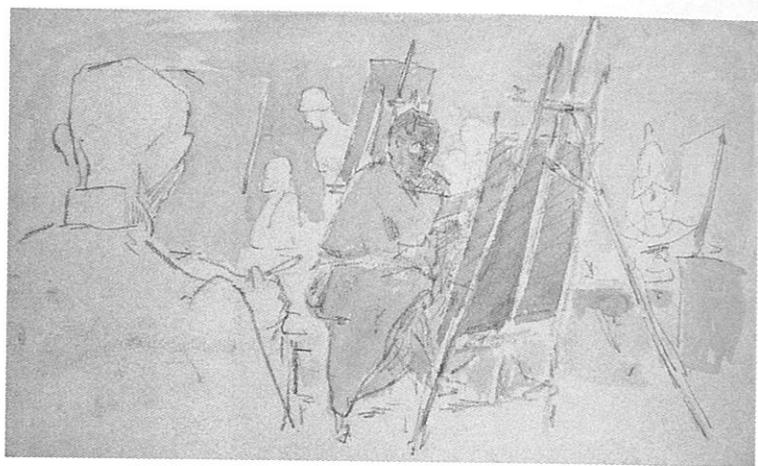
11 1903年6月



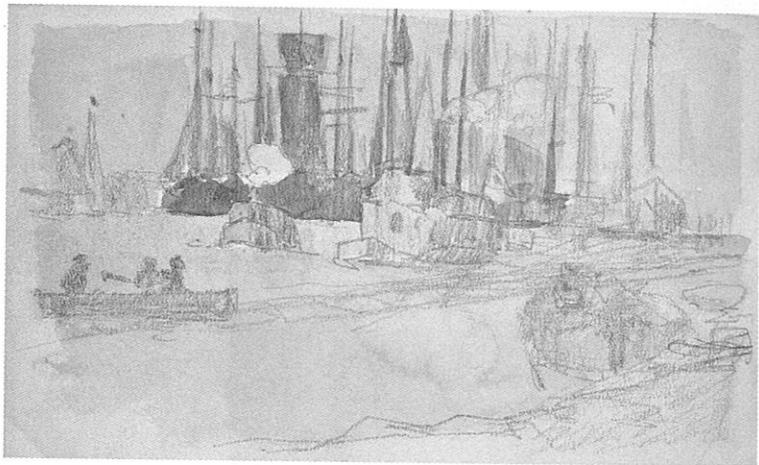
12



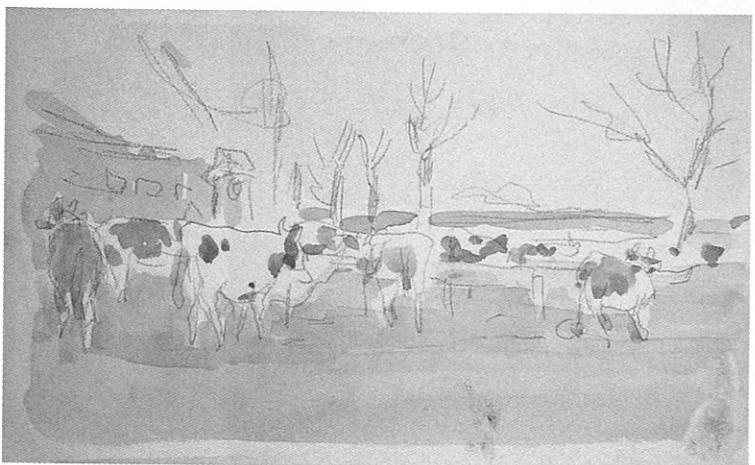
13



14



15



16

広島県立美術館 研究紀要 第12号  
BULLETIN OF HIROSHIMA PREFECTURAL ART MUSEUM No.12

発行日 2009年3月30日  
編集・発行 広島県立美術館  
Hiroshima Prefectural Art Museum  
〒730-0014 広島市中区上幟町2-22  
2-22 kaminobori-cho Naka-ku Hiroshima City 730-0014 JAPAN  
Tel.082-221-6246 Fax.082-223-1444  
印刷 大成印刷株式会社  
〒731-0138 広島市安佐南区祇園3丁目24-17  
Tel.082-875-3232